
四日市市
介護予防日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 圏域、年齢、性別	2
3. 調査結果	3
問1 あなたのご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	4
① 介護・介助の必要性	4
② 主な介護者	7
③ 経済状況	8
問2 からだを動かすことについて	9
(1) 運動・転倒の状況	9
◆運動器の機能低下リスクの判定	10
◆転倒リスクの判定	11
(2) 外出の状況	12
① 外出の頻度	12
◆閉じこもりのリスクの判定	12
② 外出を控えているか	14
③ 外出の際の移動手段や目的	16
(3) スマートフォンの利活用状況	19
問3 食べることについて	21
(1) 口腔	21
① 口内の健康状態	21
◆口腔機能の低下リスクの判定	21
② 歯の状況	23
(2) 栄養	26
① 体重の状況	26
◆栄養改善のリスクの判定	26
◆低栄養のリスクの判定	27
② 孤食の状況	29

問4 毎日の生活について	30
(1) 物忘れ	30
◆認知機能の低下リスクの判定	31
(2) IADL の状況	32
(3) 社会との関わり	33
(4) 趣味・生きがいについて	34
(5) 在宅介護支援センター、地域包括支援センターの周知状況	36
問5 地域での活動について	38
(1) 地域での活動への参加頻度や意向	38
問6 たすけあいについて	47
(1) 周囲との相互の関係	47
◆たすけあい合計点	51
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	52
(3) 友人・知人との関係性	53
問7 健康について	56
(1) 健康状態	56
① 主観的な健康感	56
② こころの健康	57
◆うつリスクの判定	59
(2) 飲酒・喫煙	60
(3) フレイルに対する認識	62
(4) 病気の状況	63
(5) 介護予防の取り組みについて	65
問8 在宅医療や認知症対策について	67
(1) 在宅医療や看取りについて	67
① 終末期の在宅生活継続について	67
② 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について	72
(2) 認知症にかかる地域の状況について	74
① 認知症の症状の有無	74
② 認知症の相談窓口の周知状況	75
③ 認知症に対してあればよいと思う支援	77
問9 これからの高齢者介護について	78
(1) 世帯類型	78
(2) 介護保険制度やサービス利用意向について	79
① 介護保険サービスの利用意向	79
② 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて	81
★ 各種判定結果	82

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査では、身近な内容で、高齢者の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等をより的確に把握することを目的としました。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年12月現在、四日市市内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)
実施期間	令和4年12月8日(木)～令和4年12月28日(水)
実施方法	郵送(WEB)調査

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
2,000件	1,496件	74.8%	1,472件	73.6%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

2. 回答者の属性

(1) 圏域、年齢、性別

単位：%

		母数 (n)	圏域											
			中部	富 洲 原	富 田	羽 津	常 磐	日 永	四 郷	内 部	塩 浜	小 山 田	川 島	神 前
全体		1,472	8.8	3.0	4.3	3.9	6.5	4.4	8.1	6.0	2.3	2.1	4.1	2.6
性別	男性	689	8.4	2.6	4.1	4.5	7.3	4.4	8.4	6.0	1.9	2.2	3.9	1.9
	女性	783	9.2	3.3	4.5	3.4	5.9	4.5	7.8	6.0	2.7	2.0	4.3	3.2
性・年齢	男性 前期高齢者	345	9.0	2.3	3.5	4.3	7.5	4.3	5.8	8.4	2.0	2.0	4.9	1.7
	後期高齢者	344	7.8	2.9	4.7	4.7	7.0	4.4	11.0	3.5	1.7	2.3	2.9	2.0
	女性 前期高齢者	399	7.5	2.0	3.5	4.0	4.8	5.0	8.5	6.5	2.3	2.3	4.3	3.5
	後期高齢者	384	10.9	4.7	5.5	2.9	7.0	3.9	7.0	5.5	3.1	1.8	4.4	2.9
圏域	北ブロック	454	-	9.7	13.9	12.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	中ブロック	494	26.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.3	7.7
	南ブロック	524	-	-	-	-	18.3	12.4	22.7	16.8	6.5	5.9	-	-
認定該当 状況	一般高齢者	1,335	8.7	3.0	4.3	4.1	6.5	4.4	8.2	6.1	2.5	1.7	4.3	2.6
	総合事業対象者	30	3.3	3.3	3.3	6.7	-	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7	-	-
	要支援1・2	107	12.1	2.8	3.7	0.9	8.4	4.7	8.4	5.6	-	5.6	3.7	2.8
家族構成	1人暮らし	274	13.1	4.4	3.6	3.6	6.6	5.1	11.3	3.6	3.3	1.1	4.4	2.9
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上)	617	8.3	2.9	4.9	3.7	7.8	3.2	7.9	7.0	1.6	1.1	4.5	2.6
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下)	65	9.2	1.5	3.1	3.1	4.6	3.1	9.2	10.8	1.5	-	7.7	1.5
	息子・娘との2世帯	246	7.7	2.0	2.4	4.9	6.5	4.1	7.3	6.1	2.0	4.5	2.0	2.8
	その他	238	6.7	2.9	4.6	4.2	4.2	7.1	5.0	5.5	2.9	2.9	4.6	2.5

単位：%

		母数 (n)	圏域											
			桜	三 重	県	八 郷	下 野	大 矢 知	河 原 田	水 沢	保 々	海 蔵	橋 北	楠
全体		1,472	5.9	7.1	2.5	5.3	2.8	5.2	1.6	1.0	1.9	4.5	2.5	3.6
性別	男性	689	5.1	7.0	2.9	6.1	2.6	5.8	1.5	0.9	2.0	4.1	2.8	3.9
	女性	783	6.6	7.2	2.2	4.6	2.9	4.6	1.7	1.1	1.8	4.9	2.3	3.3
性・年齢	男性 前期高齢者	345	5.8	4.9	4.1	4.9	2.0	5.8	1.7	0.9	1.7	4.9	2.9	4.3
	後期高齢者	344	4.4	9.0	1.7	7.3	3.2	5.8	1.2	0.9	2.3	3.2	2.6	3.5
	女性 前期高齢者	399	7.5	7.5	3.5	4.8	3.0	3.8	2.0	1.5	0.8	5.8	2.0	3.8
	後期高齢者	384	5.7	6.8	0.8	4.4	2.9	5.5	1.3	0.8	2.9	3.9	2.6	2.9
圏域	北ブロック	454	-	-	-	17.2	9.0	16.7	-	-	6.2	14.5	-	-
	中ブロック	494	17.6	21.1	7.5	-	-	-	-	-	-	-	7.5	-
	南ブロック	524	-	-	-	-	-	-	4.4	2.9	-	-	-	10.1
認定該当 状況	一般高齢者	1,335	6.2	7.1	2.5	5.5	2.3	5.2	1.6	1.0	1.8	4.6	2.5	3.2
	総合事業対象者	30	3.3	10.0	3.3	-	10.0	10.0	3.3	-	-	10.0	3.3	10.0
	要支援1・2	107	2.8	5.6	1.9	4.7	6.5	2.8	0.9	1.9	3.7	1.9	1.9	6.5
家族構成	1人暮らし	274	4.0	5.1	1.8	4.4	3.3	3.3	0.7	0.7	2.6	5.1	2.2	3.6
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上)	617	5.3	7.8	3.2	6.8	2.6	6.0	1.9	0.8	1.3	3.1	2.1	3.4
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下)	65	6.2	6.2	1.5	4.6	4.6	4.6	-	1.5	4.6	6.2	-	4.6
	息子・娘との2世帯	246	7.3	5.7	2.4	5.7	3.3	6.1	2.0	1.2	2.0	4.9	3.3	3.7
	その他	238	8.4	9.2	2.1	2.5	2.1	4.2	1.7	0.4	1.3	6.7	3.8	4.2

3. 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1-1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

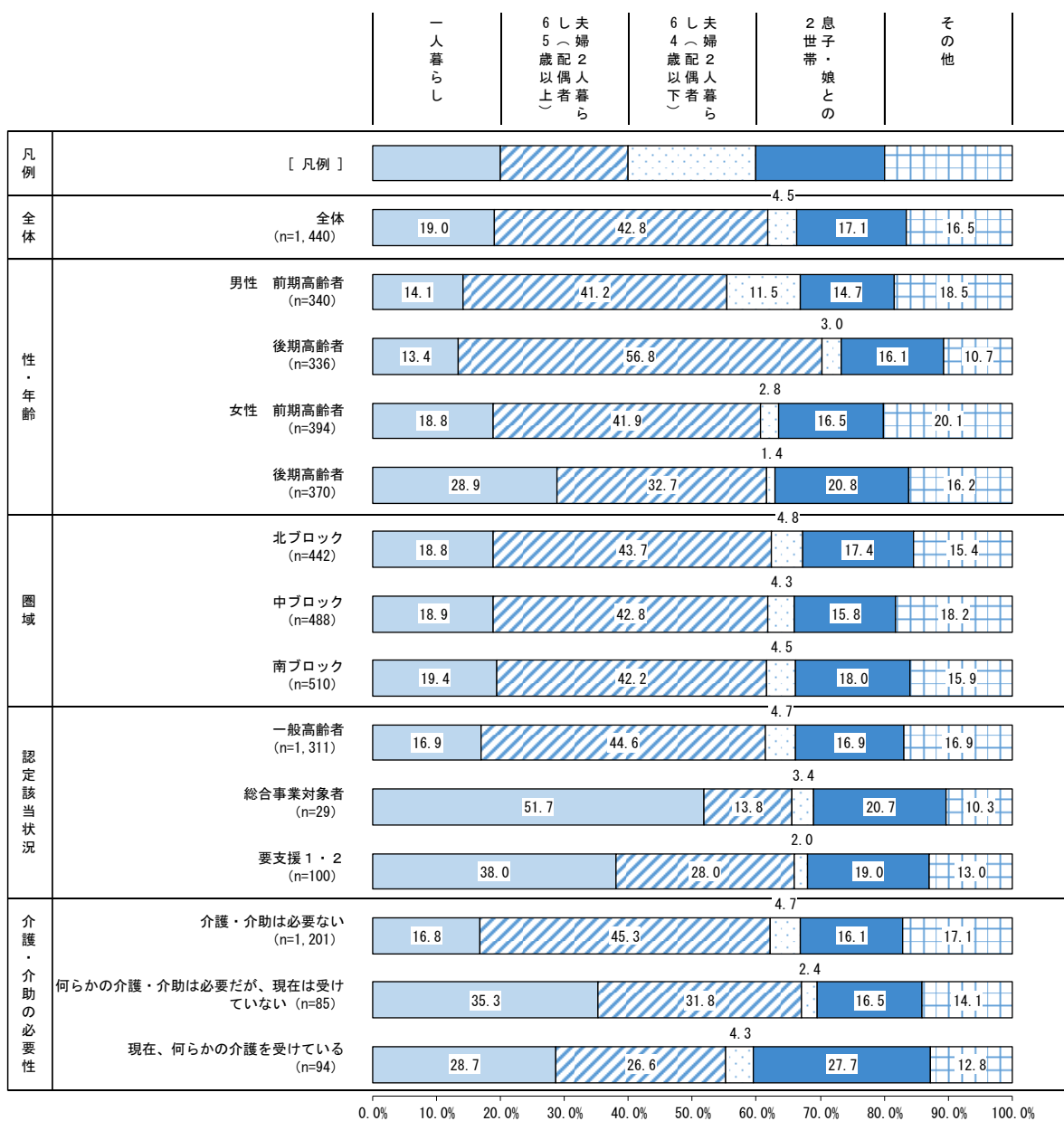
【全体】
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 42.8%で最も多く、次いで「一人暮らし」が 19.0%、「息子・娘との2世帯」が 17.1%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「一人暮らし」が多くなっています。
 ○ 「息子・娘との2世帯」は女性 後期高齢者が 20.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「一人暮らし」は一般高齢者が 16.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【介護・介助の必要性】
 ○ 「一人暮らし」は何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていないが 35.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】



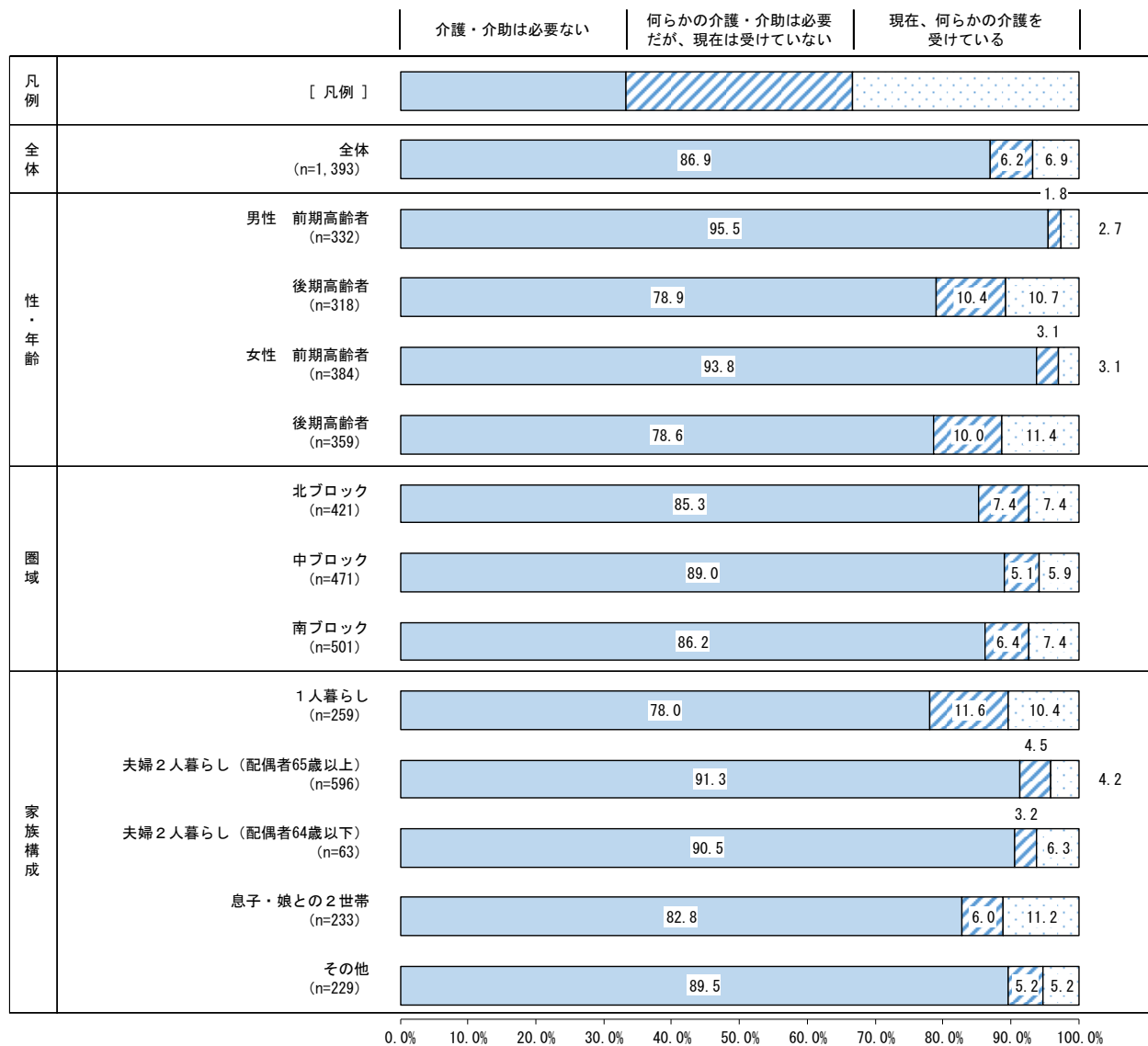
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が86.9%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が6.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.2%となっています。
【圏域】
○ 「介護・介助は必要ない」は中ブロックが89.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 「介護・介助は必要ない」は1人暮らしが78.0%、息子・娘との2世帯が82.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【介護・介助の必要性】

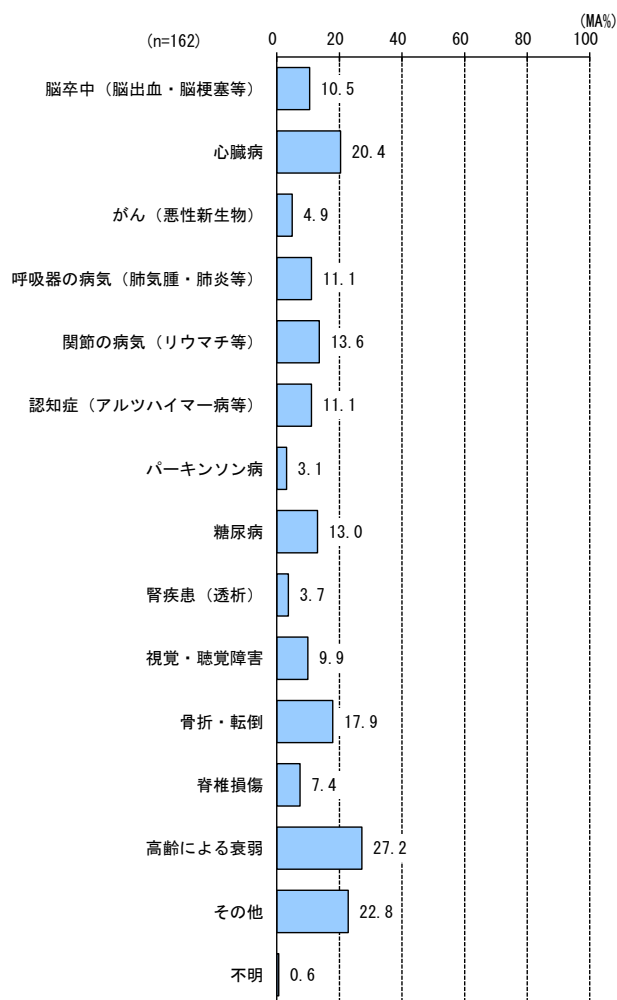


【問1-2で、「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選んだ人のみ回答】

●問1-2-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が27.2%で最も多く、次いで「その他」が22.8%、「心臓病」が20.4%となっています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「心臓病」が多くなっています。
 - 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「骨折・転倒」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」は総合事業対象者が25.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 要介護度が高いほど「認知症（アルツハイマー病等）」が少なくなる傾向がみられます。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			血脳 ・脳 梗塞 (等)	心 臓 病	物 が ん (悪 性 新 生 等)	呼 吸 器 の 病 気 (肺 気 腫 ・ 肺 気 炎 等)	ウ 関 節 の 病 気 (リ ウ マ チ 等)	認 知 症 (ア ル ツ ハイ マ ー 病 等)	パ ー キ ン ソ ン 病	糖 尿 病
全体		162	10.5	20.4	4.9	11.1	13.6	11.1	3.1	13.0
性・年齢	男性 前期高齢者	15	26.7	53.3	6.7	20.0	6.7	13.3	-	20.0
	後期高齢者	60	8.3	23.3	6.7	13.3	8.3	11.7	5.0	13.3
	女性 前期高齢者	21	14.3	14.3	4.8	4.8	14.3	14.3	4.8	19.0
	後期高齢者	66	7.6	12.1	3.0	9.1	19.7	9.1	1.5	9.1
圏域	北ブロック	56	7.1	16.1	3.6	8.9	8.9	14.3	1.8	16.1
	中ブロック	42	9.5	31.0	7.1	16.7	21.4	4.8	2.4	11.9
	南ブロック	64	14.1	17.2	4.7	9.4	12.5	12.5	4.7	10.9
認定該当 状況	一般高齢者	83	8.4	18.1	6.0	13.3	12.0	16.9	2.4	15.7
	総合事業対象者	12	25.0	16.7	-	8.3	16.7	8.3	-	8.3
	要支援1・2	67	10.4	23.9	4.5	9.0	14.9	4.5	4.5	10.4

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)						
			腎 疾 患 (透 析)	視 覚 ・ 聴 覚 障 害	骨 折 ・ 転 倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明
全体		162	3.7	9.9	17.9	7.4	27.2	22.8	0.6
性・年齢	男性 前期高齢者	15	-	-	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7
	後期高齢者	60	3.3	15.0	13.3	3.3	28.3	26.7	-
	女性 前期高齢者	21	4.8	4.8	14.3	9.5	9.5	33.3	-
	後期高齢者	66	4.5	9.1	25.8	9.1	34.8	16.7	-
圏域	北ブロック	56	-	12.5	19.6	10.7	21.4	32.1	1.8
	中ブロック	42	2.4	9.5	19.0	4.8	28.6	19.0	-
	南ブロック	64	7.8	7.8	15.6	6.3	31.3	17.2	-
認定該当 状況	一般高齢者	83	2.4	9.6	10.8	6.0	24.1	27.7	1.2
	総合事業対象者	12	-	16.7	16.7	-	-	25.0	-
	要支援1・2	67	6.0	9.0	26.9	10.4	35.8	16.4	-

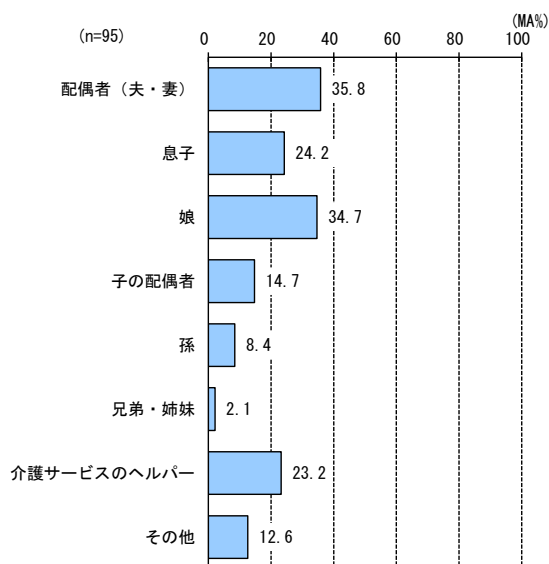
② 主な介護者

【問1-2で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選んだ人のみ回答】

●問1-2-② 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

【全体】
○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が 35.8%で最も多く、次いで「娘」が 34.7%、「息子」が 24.2%となっています。
【圏域】
○ 「配偶者（夫・妻）」は北ブロックが 43.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「介護サービスのヘルパー」は中ブロックが 35.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 「娘」は1人暮らしが 40.7%、息子・娘との2世帯が 46.2%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「介護サービスのヘルパー」は1人暮らしが 33.3%、その他が 36.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者 (MA)】



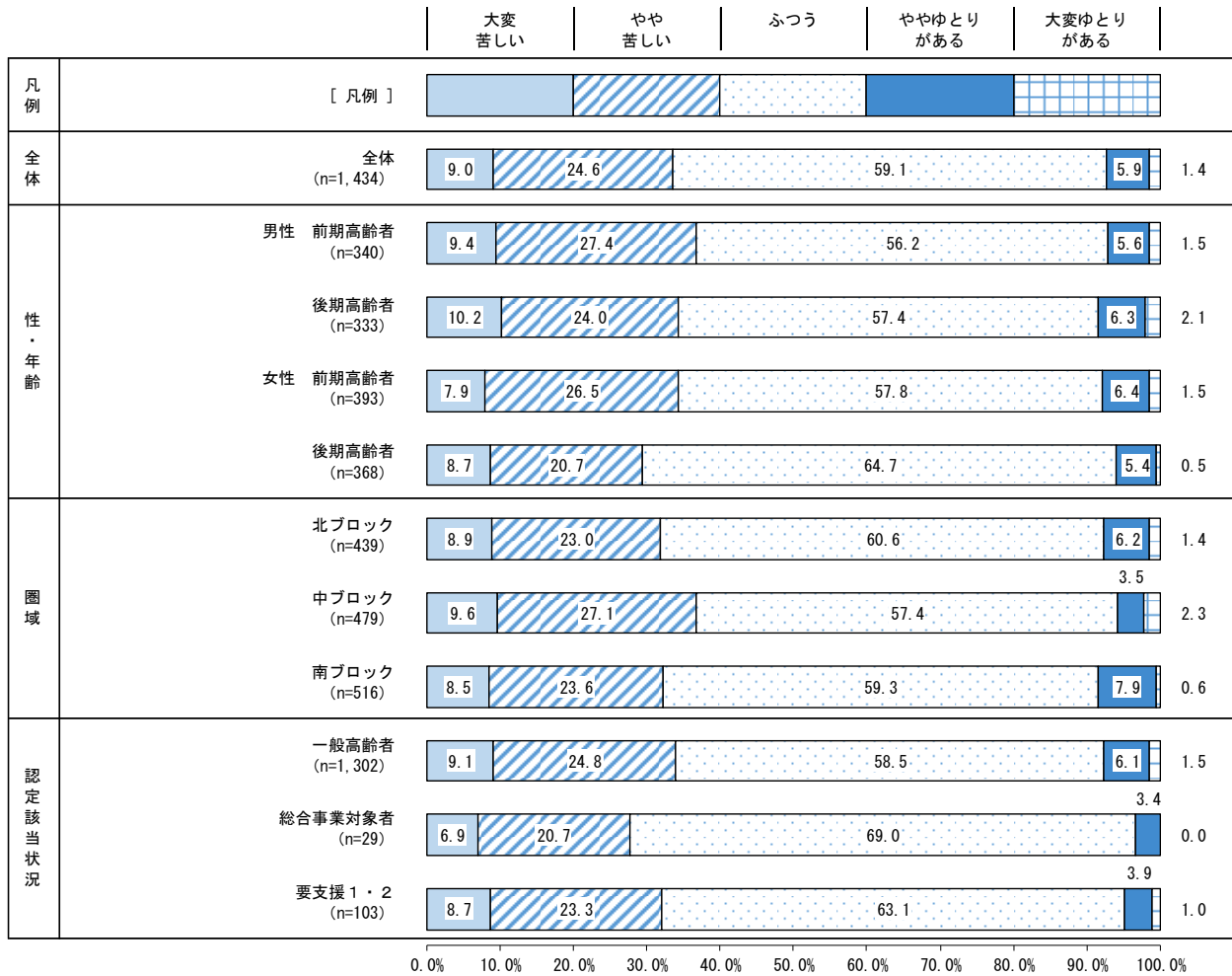
		母数 (n)	主な介護者 (MA)							その他
			(配偶者・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	
全体		95	35.8	24.2	34.7	14.7	8.4	2.1	23.2	12.6
性・年齢	男性 前期高齢者	8	37.5	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5	37.5
	後期高齢者	34	52.9	20.6	35.3	5.9	8.8	2.9	20.6	8.8
	女性 前期高齢者	12	58.3	8.3	16.7	-	8.3	-	16.7	16.7
	後期高齢者	41	14.6	36.6	43.9	26.8	7.3	2.4	29.3	9.8
圏域	北ブロック	30	43.3	30.0	36.7	13.3	6.7	3.3	10.0	16.7
	中ブロック	28	35.7	21.4	35.7	10.7	7.1	3.6	35.7	14.3
	南ブロック	37	29.7	21.6	32.4	18.9	10.8	-	24.3	8.1
認定該当状況	一般高齢者	38	52.6	18.4	34.2	10.5	13.2	5.3	2.6	15.8
	総合事業対象者	9	22.2	22.2	22.2	-	-	-	22.2	44.4
	要支援1・2	48	25.0	29.2	37.5	20.8	6.3	-	39.6	4.2
家族構成	1人暮らし	27	3.7	22.2	40.7	25.9	7.4	3.7	33.3	18.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	25	80.0	4.0	28.0	4.0	8.0	-	20.0	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	26	23.1	46.2	46.2	15.4	15.4	-	7.7	3.8
	その他	11	18.2	36.4	18.2	18.2	-	9.1	36.4	36.4

③ 経済状況

●問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 経済状況について、「ふつう」が59.1%で最も多く、次いで「やや苦しい」が24.6%、「大変苦しい」が9.0%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は33.6%となっています。

【経済状況】



単位：%

	母数 (n)	経済状況					“苦しい方”	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	がややゆとりがある	が大変ゆとりがある		
全体	1,434	9.0	24.6	59.1	5.9	1.4	33.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	340	9.4	27.4	56.2	5.6	1.5	36.8
	後期高齢者	333	10.2	24.0	57.4	6.3	2.1	34.2
	女性 前期高齢者	393	7.9	26.5	57.8	6.4	1.5	34.4
	後期高齢者	368	8.7	20.7	64.7	5.4	0.5	29.4
圏域	北ブロック	439	8.9	23.0	60.6	6.2	1.4	31.9
	中ブロック	479	9.6	27.1	57.4	3.5	2.3	36.7
	南ブロック	516	8.5	23.6	59.3	7.9	0.6	32.1
認定該当状況	一般高齢者	1,302	9.1	24.8	58.5	6.1	1.5	33.9
	総合事業対象者	29	6.9	20.7	69.0	3.4	-	27.6
	要支援1・2	103	8.7	23.3	63.1	3.9	1.0	32.0

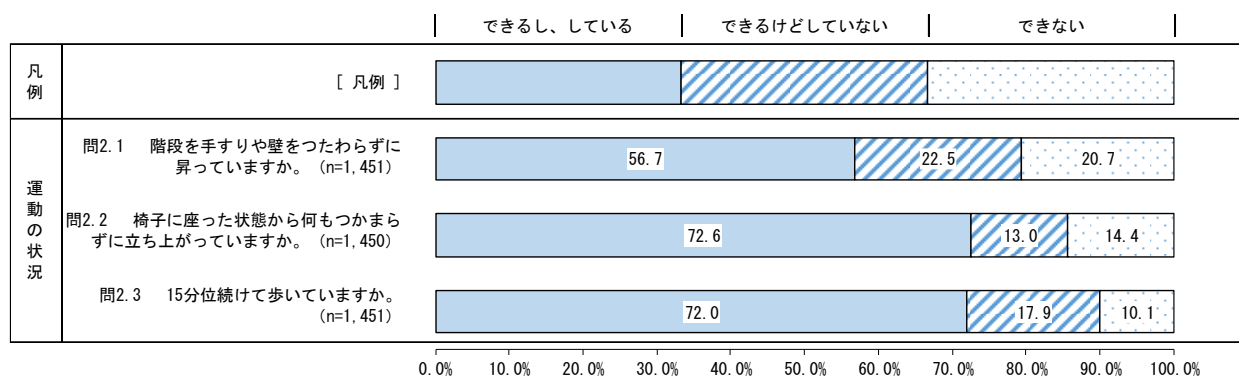
問2 からだを動かすことについて

(1) 運動・転倒の状況

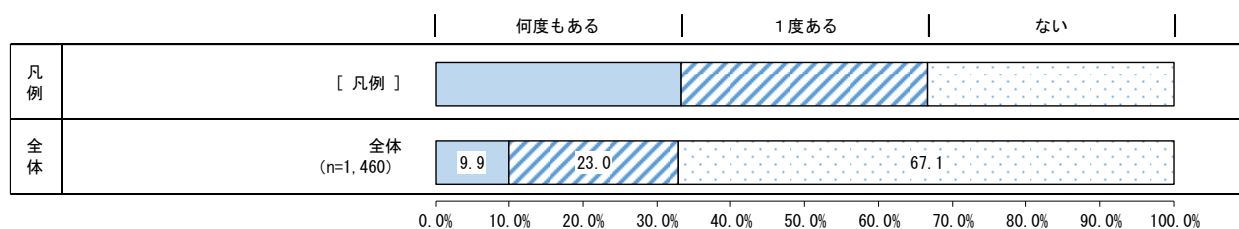
- 問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
- 問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
- 問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)
- 問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)
- 問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

<p>【問2-1 全体】 ○ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が56.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.5%、「できない」が20.7%となっています。</p> <p>【問2-4 全体】 ○ 転倒経験について、「ない」が67.1%で最も多く、次いで「1度ある」が23.0%、「何度もある」が9.9%となっています。</p> <p>【問2-5 全体】 ○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.4%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が27.1%、「不安ではない」が17.7%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は55.2%となっています。</p>
--

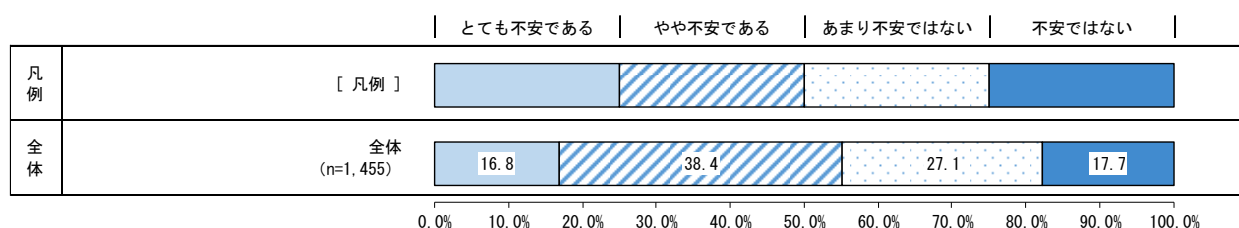
【問2-1～2-3】



【問2-4 転倒経験】



【問2-5 転倒に対する不安】

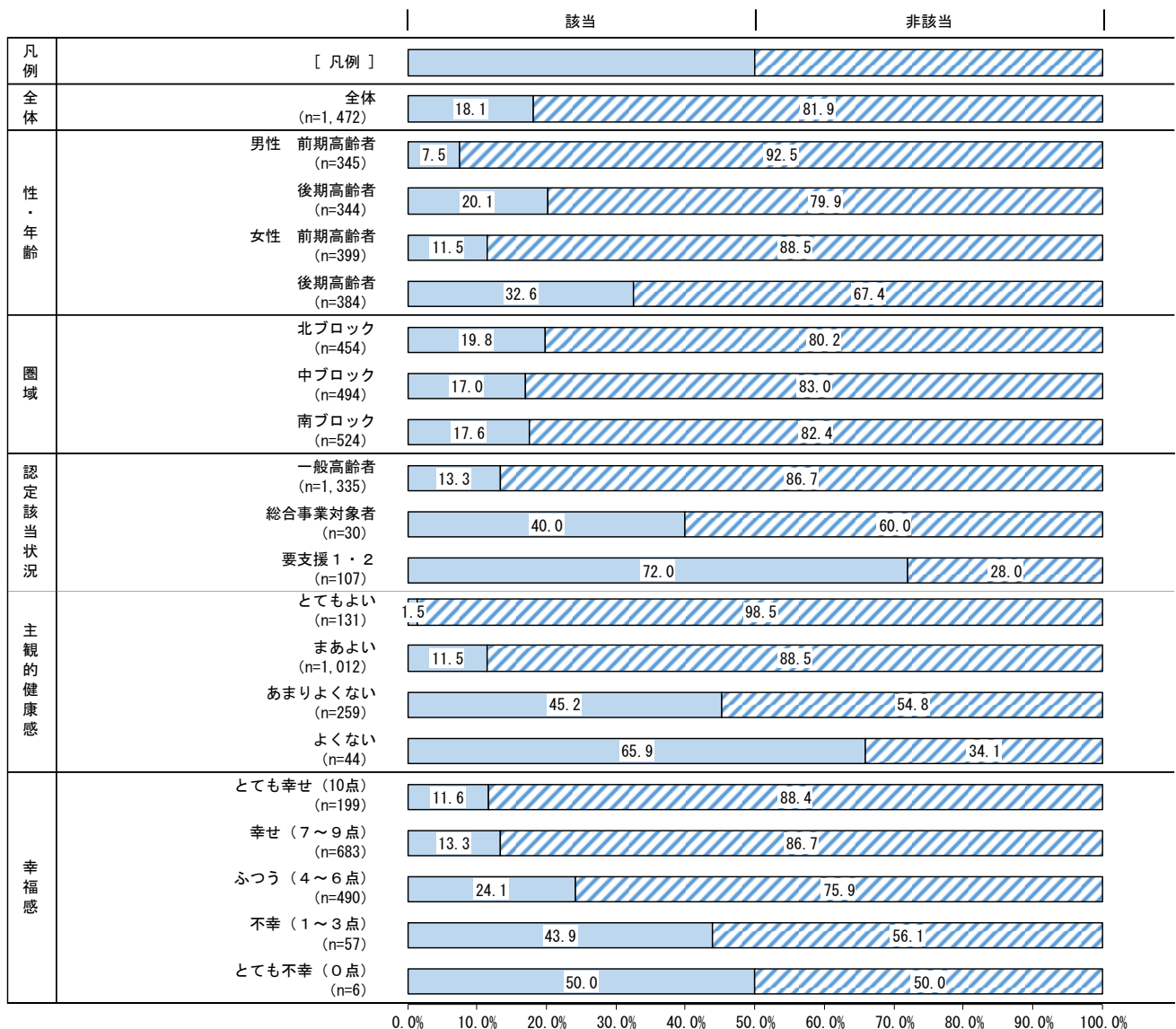


◆運動器の機能低下リスクの判定

●運動器の機能低下リスク

- 【全体】**
○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 18.1%、「非該当」が 81.9%となっています。
- 【性・年齢】**
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
- 【圏域】**
○ 「該当」は北ブロックが 19.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。
- 【主観的健康感】**
○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。
- 【幸福感】**
○ 幸福感が低いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【運動器の機能低下リスク】

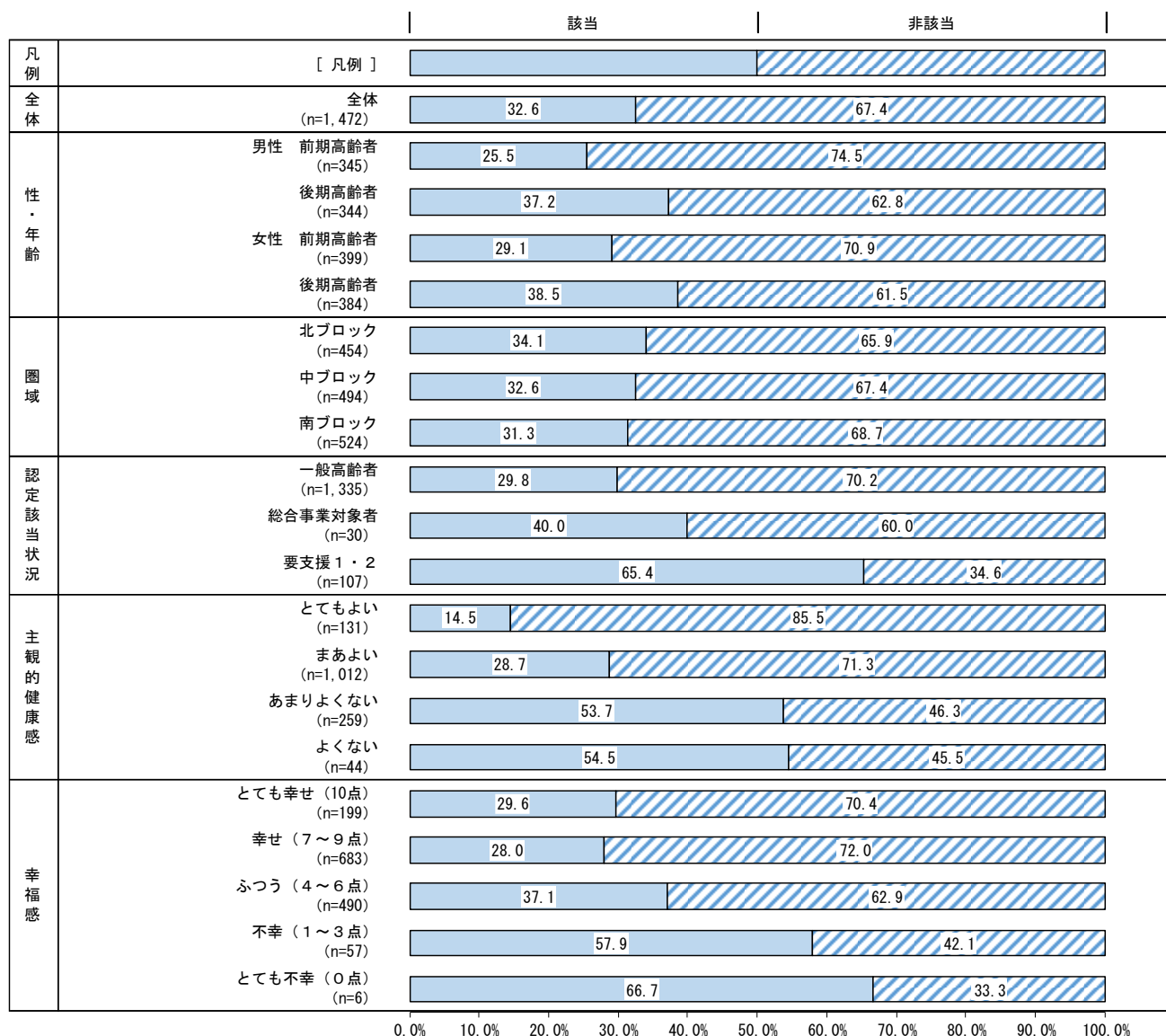


◆転倒リスクの判定

●転倒リスク

【全体】	○ 転倒リスクについて、「該当」が32.6%、「非該当」が67.4%となっています。
【圏域】	○ 「該当」は北ブロックが34.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。
【主観的健康感】	○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。
【幸福感】	○ 「該当」は不幸（1～3点）が57.9%、とても不幸（0点）が66.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【転倒リスク】



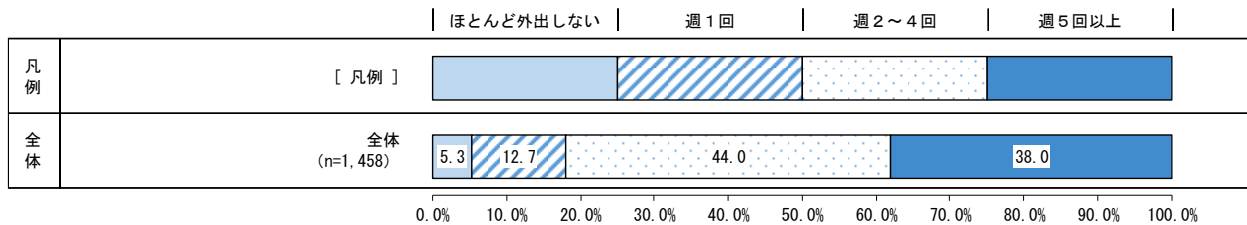
(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 外出頻度について、「週2～4回」が44.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が38.0%、「週1回」が12.7%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

●閉じこもりのリスク

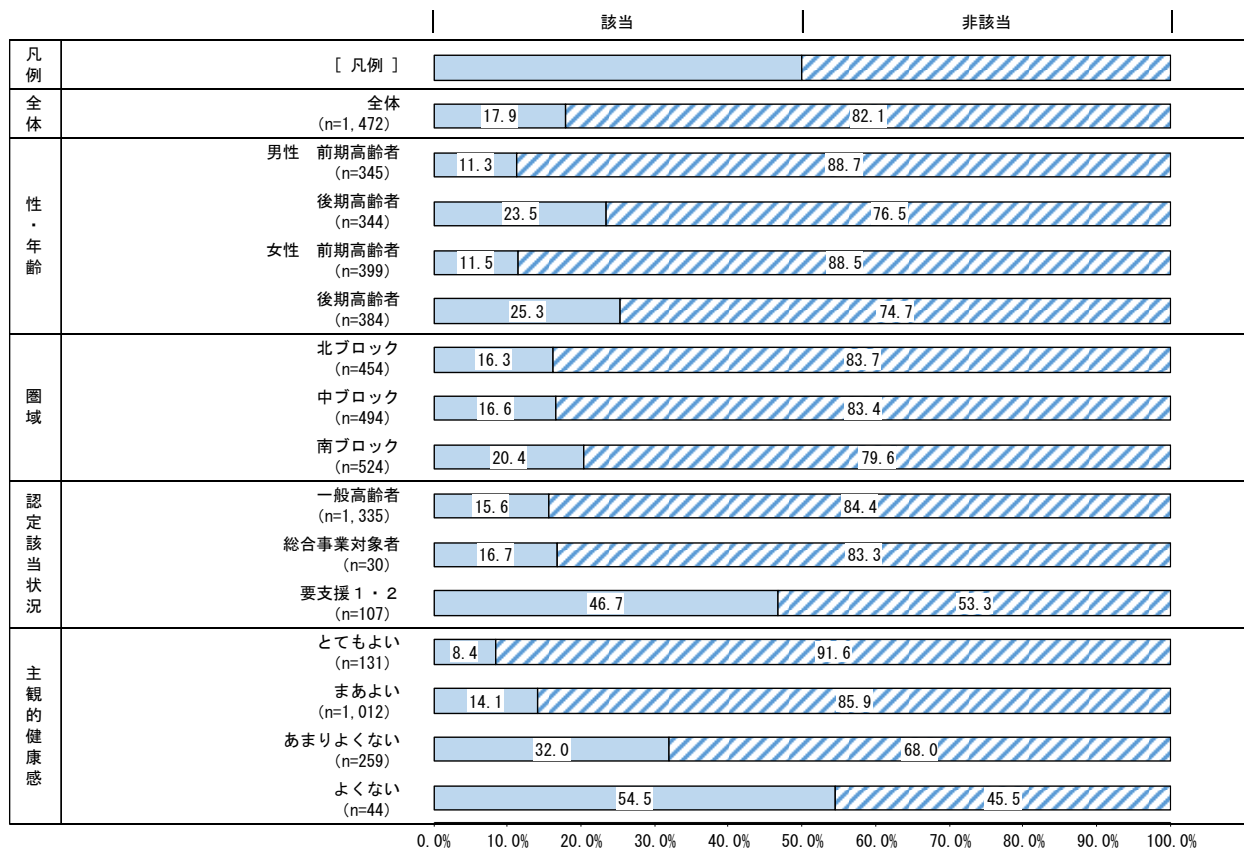
【全体】
○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が17.9%、「非該当」が82.1%となっています。

【圏域】
○ 「該当」は南ブロックが20.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】
○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

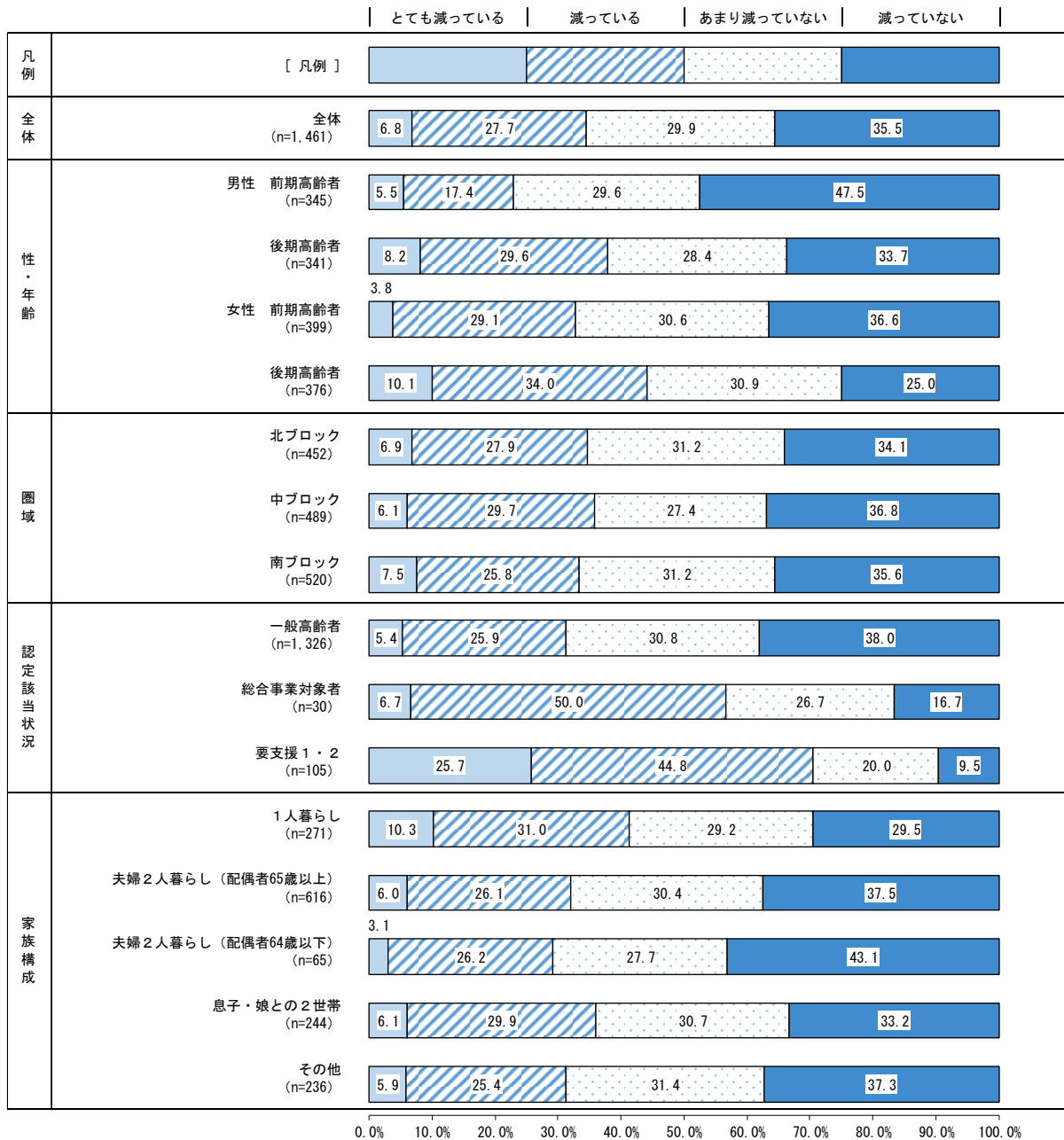
【閉じこもりのリスク】



●問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が35.5%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が29.9%、「減っている」が27.7%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は34.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「減っている」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「減っていない」は北ブロックが34.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要介護度が高いほど「とても減っている」が多くなる傾向がみられます。
- 【家族構成】**
 ○ 1人暮らしでは、「とても減っている」が10.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【昨年と比べて外出の回数】

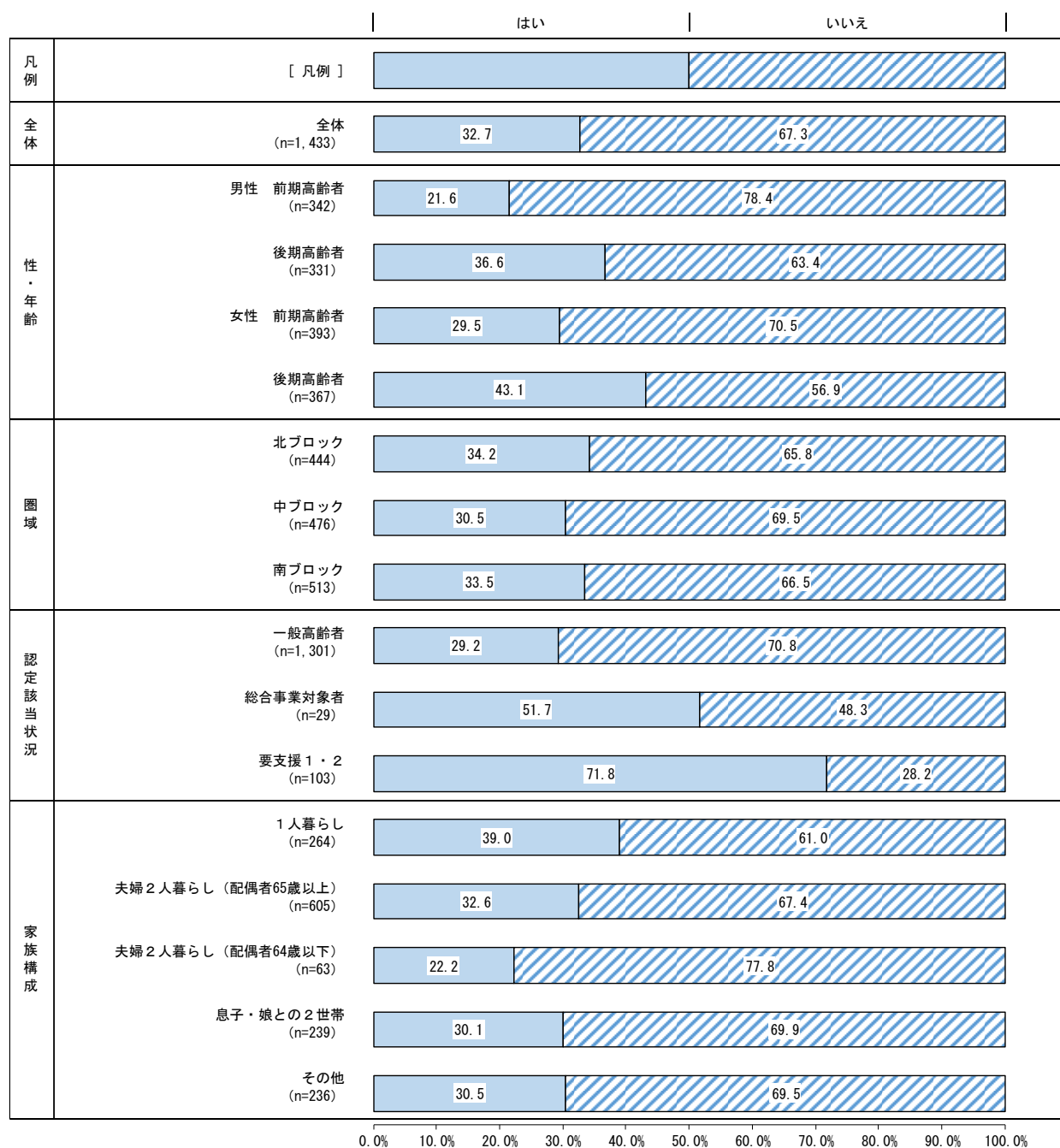


② 外出を控えているか

●問2-8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 外出を控えているかについて、「はい」が32.7%、「いいえ」が67.3%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は北ブロックが34.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。
【家族構成】
○ 「はい」は1人暮らしが39.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【外出を控えているか】

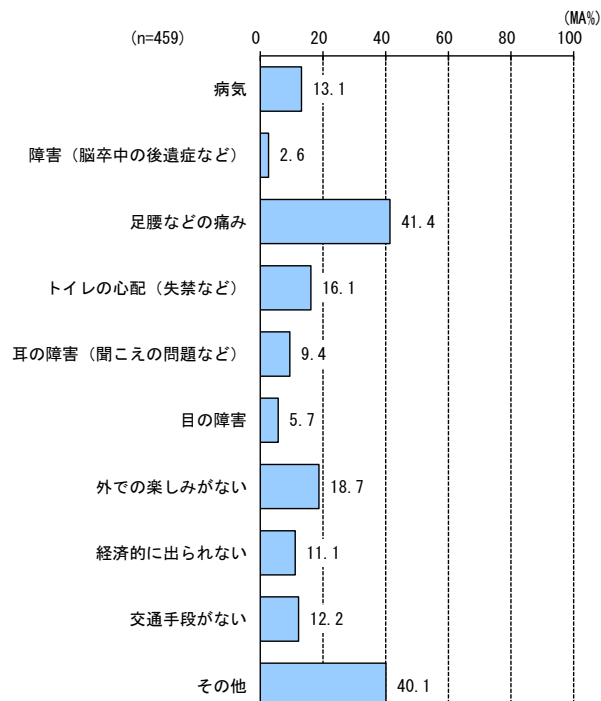


【問2-8で、「1. はい」を選んだ人のみお答えください。】

●問2-8-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 41.4%で最も多く、次いで「その他」が 40.1%、「外での楽しみがない」が 18.7%となっています。
- 【性・年齢】
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「外での楽しみがない」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「外での楽しみがない」は中ブロックが 20.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 要介護度が高いほど「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多くなる傾向がみられます。
- 【家族構成】
- 「外での楽しみがない」は夫婦2人暮らし（配偶者65歳以下）が 23.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：%

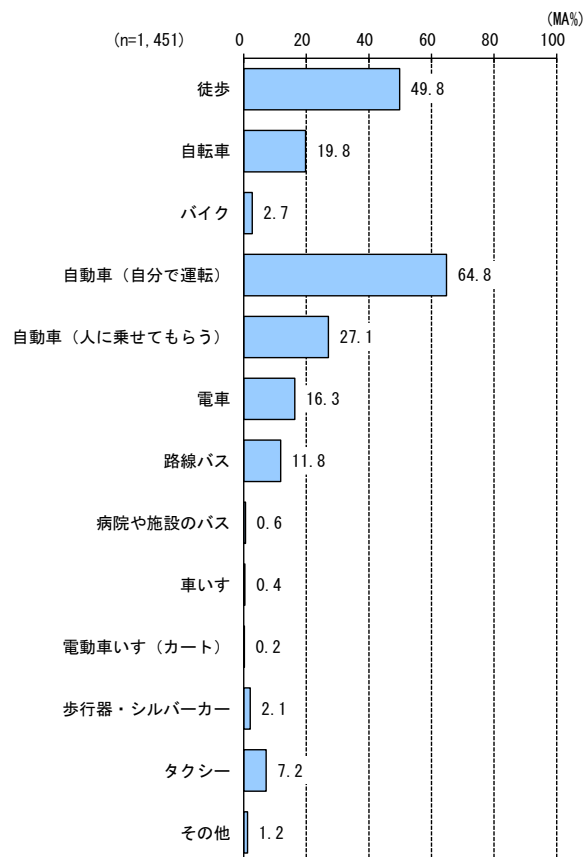
	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)										
		病気	後障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	（トイレの心配）失禁など	え耳の問題（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	
全体	459	13.1	2.6	41.4	16.1	9.4	5.7	18.7	11.1	12.2	40.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	71	16.9	4.2	26.8	7.0	5.6	4.2	19.7	15.5	5.6	49.3
	後期高齢者	119	18.5	4.2	39.5	26.9	19.3	10.1	22.7	14.3	12.6	26.1
	女性 前期高齢者	114	8.8	1.8	33.3	14.9	0.9	2.6	14.9	7.9	6.1	57.0
	後期高齢者	155	10.3	1.3	55.5	12.9	9.7	5.2	18.1	9.0	19.4	34.2
圏域	北ブロック	150	14.0	3.3	35.3	20.0	8.7	3.3	18.0	11.3	9.3	43.3
	中ブロック	144	11.8	2.8	43.1	16.7	8.3	5.6	20.1	10.4	13.9	39.6
	南ブロック	165	13.3	1.8	45.5	12.1	10.9	7.9	18.2	11.5	13.3	37.6
認定該当状況	一般高齢者	371	11.1	2.4	35.0	15.1	8.4	5.1	18.3	12.9	9.4	45.6
	総合事業対象者	15	33.3	-	60.0	13.3	-	6.7	-	6.7	13.3	33.3
	要支援1・2	73	19.2	4.1	69.9	21.9	16.4	8.2	24.7	2.7	26.0	13.7
家族構成	1人暮らし	99	13.1	3.0	47.5	6.1	9.1	5.1	22.2	13.1	13.1	36.4
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	195	14.4	1.5	36.9	19.5	9.7	7.2	19.0	12.3	11.8	41.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	13	-	-	7.7	7.7	7.7	7.7	23.1	7.7	7.7	38.5
	息子・娘との2世帯	70	14.3	4.3	47.1	22.9	14.3	5.7	12.9	7.1	11.4	34.3
	その他	71	11.3	4.2	43.7	14.1	1.4	2.8	18.3	11.3	12.7	50.7

③ 外出の際の移動手段や目的

●問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
○ 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 64.8%で最も多く、次いで「徒歩」が 49.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 27.1%となっています。
- 【認定該当状況】**
○ 要介護度が高いほど「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなる傾向がみられます。
- 【家族構成】**
○ 「タクシー」は1人暮らしが 12.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



単位：％

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	乗せてもらう 自動車(人に)	電車	路線バス	
全体	1,451	49.8	19.8	2.7	64.8	27.1	16.3	11.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	343	53.1	19.8	4.4	89.5	10.5	20.7	7.3
	後期高齢者	340	49.7	21.8	2.6	69.4	17.9	13.5	10.0
	女性 前期高齢者	393	44.0	18.3	1.3	71.2	32.6	15.5	13.5
	後期高齢者	375	52.8	19.7	2.7	31.2	44.8	15.7	15.7
圏域	北ブロック	447	49.0	21.0	4.0	66.0	26.8	18.3	6.5
	中ブロック	483	52.2	18.4	1.2	65.8	26.1	14.1	17.8
	南ブロック	521	48.2	20.2	2.9	62.8	28.2	16.7	10.7
認定該当 状況	一般高齢者	1,316	51.2	20.9	2.9	70.1	24.2	17.1	12.2
	総合事業対象者	30	53.3	20.0	3.3	20.0	26.7	20.0	6.7
	要支援1・2	105	30.5	6.7	-	10.5	63.8	5.7	8.6
家族構成	1人暮らし	271	51.7	22.9	1.8	48.7	26.6	19.9	17.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	606	51.2	20.3	3.1	72.9	24.4	15.3	10.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	65	52.3	12.3	4.6	84.6	10.8	15.4	9.2
	息子・娘との2世帯	243	46.1	18.9	4.1	58.4	36.2	14.4	9.5
	その他	237	48.9	19.8	0.8	65.4	28.3	17.7	12.2

単位：％

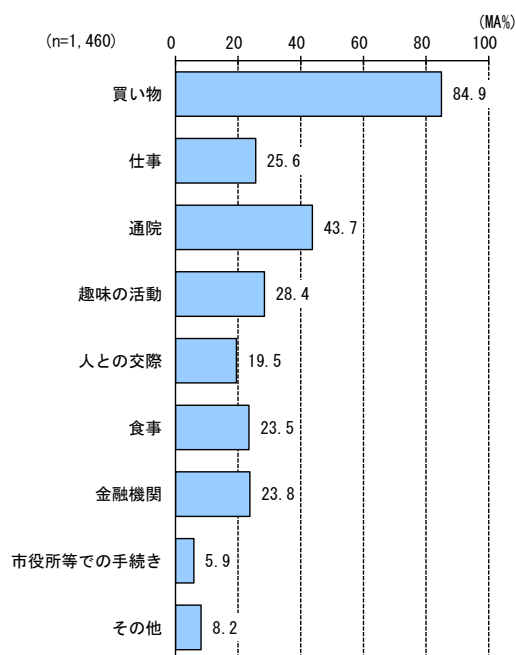
	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
		バス 病院 や 施設の	車 い す	(電動 車 い す (カート))	シ ン 歩 ル バ ー カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	
全体	1,451	0.6	0.4	0.2	2.1	7.2	1.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	343	0.3	-	-	0.9	3.2	0.9
	後期高齢者	340	0.6	1.2	-	0.9	7.6	1.8
	女性 前期高齢者	393	0.3	0.3	-	0.3	4.1	0.8
	後期高齢者	375	1.3	0.3	0.8	6.4	13.6	1.6
圏域	北ブロック	447	-	0.9	0.2	3.1	8.1	2.2
	中ブロック	483	0.8	0.2	0.2	1.0	7.7	1.0
	南ブロック	521	1.0	0.2	0.2	2.3	6.0	0.6
認定該当 状況	一般高齢者	1,316	0.3	0.3	0.1	0.7	5.6	0.9
	総合事業対象者	30	-	-	-	6.7	23.3	10.0
	要支援1・2	105	4.8	1.9	1.9	19.0	21.9	2.9
家族構成	1人暮らし	271	1.5	-	0.7	5.2	12.2	2.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	606	0.2	0.3	-	0.5	5.4	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	65	-	-	-	-	4.6	-
	息子・娘との2世帯	243	1.2	0.8	-	2.5	5.3	0.4
	その他	237	-	0.4	0.4	1.7	7.2	2.1

- 問2-10 外出する際の目的で多いもの（月に数回程度あるもの）はどれですか。
（いくつでも○）

【全体】
○ 外出する際の目的について、「買い物」が 84.9%で最も多く、次いで「通院」が 43.7%、「趣味の活動」が 28.4%となっています。

【性・年齢】
○ 「仕事」は男性 前期高齢者が 48.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【外出する際の目的(MA)】



単位：%

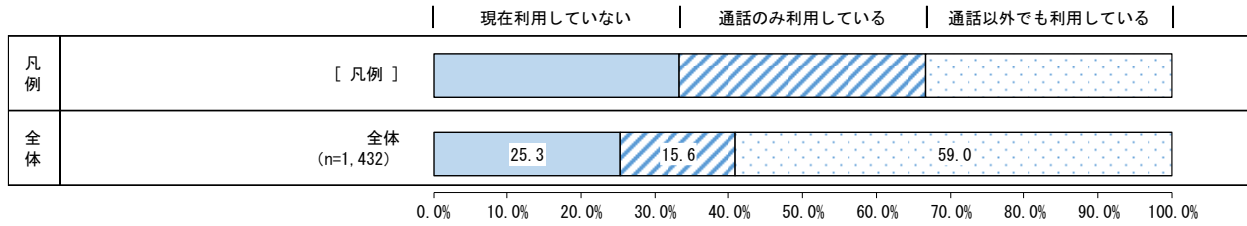
		母数 (n)	外出する際の目的(MA)								
			買 い 物	仕 事	通 院	趣 味 の 活 動	人 と の 交 際	食 事	金 融 機 関	手 続 き 等 の	市 役 所 等 で の そ の 他
全体		1,460	84.9	25.6	43.7	28.4	19.5	23.5	23.8	5.9	8.2
性・年齢	男性 前期高齢者	343	78.7	48.1	32.9	37.9	14.9	25.7	16.6	2.9	9.0
	後期高齢者	340	81.8	14.4	50.3	30.9	18.5	24.7	23.5	8.8	9.1
	女性 前期高齢者	399	93.5	32.3	38.3	24.3	21.1	22.8	27.8	5.0	5.3
	後期高齢者	378	84.1	8.2	53.2	21.7	22.8	21.2	26.2	6.9	9.8
圏域	北ブロック	451	85.1	24.2	43.2	30.4	19.7	22.6	25.3	6.9	8.9
	中ブロック	489	85.1	26.4	44.8	26.8	20.4	23.1	23.7	6.3	7.6
	南ブロック	520	84.4	26.2	43.1	28.1	18.3	24.6	22.5	4.6	8.3
認定該当 状況	一般高齢者	1,323	87.0	27.8	41.0	30.3	20.4	24.3	24.7	5.9	7.6
	総合事業対象者	30	76.7	6.7	73.3	30.0	30.0	13.3	23.3	6.7	6.7
	要支援1・2	107	60.7	3.7	68.2	3.7	4.7	15.9	12.1	5.6	15.9

(3) スマートフォンの利活用状況

●問2-11 スマートフォンの利用状況についてお聞きします。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ スマートフォンの利用状況について、「通話以外でも利用している」が59.0%で最も多く、次いで「現在利用していない」が25.3%、「通話のみ利用している」が15.6%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 80歳台を境に「通話以外でも利用している」と「現在利用していない」の割合が逆転している。

【スマートフォンの利用状況】



単位：%

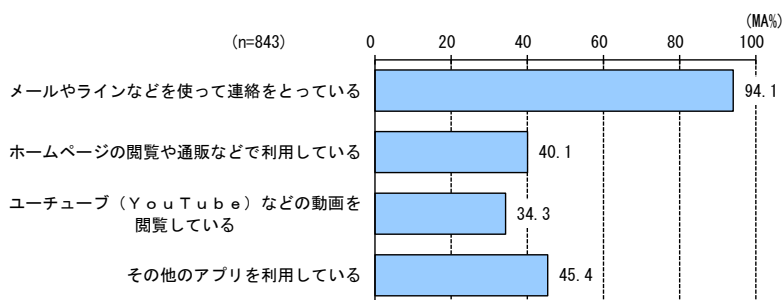
	母数 (n)	スマートフォンの利用状況			
		現在利用していない	通話のみ利用している	通話以外でも利用している	
全体	1,432	25.3	15.6	59.0	
年齢	65～69歳	307	10.1	7.5	82.4
	70～74歳	432	15.3	12.5	72.2
	75～79歳	301	27.2	19.9	52.8
	80～84歳	236	41.9	22.5	35.6
	85歳以上	156	54.5	21.8	23.7
認定該当状況	一般高齢者	1,305	22.7	14.6	62.7
	総合事業対象者	28	42.9	21.4	35.7
	要支援1・2	99	55.6	27.3	17.2
家族構成	1人暮らし	263	30.8	17.5	51.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	608	21.9	16.8	61.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	63	11.1	17.5	71.4
	息子・娘との2世帯	240	32.9	9.6	57.5
	その他	233	24.5	14.2	61.4

【問2-11で、「3. 通話以外でも利用している」を選んだ人のみお答えください。】

- 問2-11-1 問2-11で、「3. 通話以外でも利用している」と答えた方のみお答えください。
どのような用途で使用していますか。(いくつでも○)

【全体】
○ スマートフォンの利用用途について、「メールやラインなどを使って連絡をとっている」が94.1%で最も多く、次いで「その他のアプリを利用している」が45.4%、「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が40.1%となっています。
【年齢】
○ 65～69歳では、「メールやラインなどを使って連絡をとっている」が95.7%で最も多く、次いで「その他のアプリを利用している」が59.3%、「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が54.5%となっています。
○ 85歳以上では、「メールやラインなどを使って連絡をとっている」が91.7%で最も多く、次いで「その他のアプリを利用している」が41.7%、「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が19.4%となっています。
【家族構成】
○ 息子・娘との2世帯では、「メールやラインなどを使って連絡をとっている」が89.1%で最も多く、次いで「ホームページの閲覧や通販などで利用している」「その他のアプリを利用している」が43.5%、「ユーチューブ（YouTube）などの動画を閲覧している」が34.1%となっています。

【スマートフォンの利用用途(MA)】



		母数 (n)	スマートフォンの利用用途 (MA) 単位：%			
			とメール を使 い つ ら い な ら な い 連 絡 を な す	用 覧 し や 通 販 な ど の ジ ン ケ ン の 利 用	て ど の 動 画 を 閲 覧 し な い ア プ リ を 利 用 し な い	利 用 し な い ア プ リ を 利 用 し な い
全体		843	94.1	40.1	34.3	45.4
年齢	65～69歳	253	95.7	54.5	42.3	59.3
	70～74歳	312	94.9	38.1	34.9	45.8
	75～79歳	158	93.0	36.7	34.8	31.6
	80～84歳	84	89.3	19.0	15.5	29.8
	85歳以上	36	91.7	19.4	13.9	41.7
認定該当 状況	一般高齢者	817	94.0	40.6	34.6	45.8
	総合事業対象者	9	100.0	44.4	44.4	66.7
	要支援1・2	17	94.1	11.8	11.8	17.6
家族構成	1人暮らし	135	94.1	25.2	25.2	37.8
	夫婦2人暮らし (配 偶者65歳以上)	372	95.2	43.0	34.7	47.6
	夫婦2人暮らし (配 偶者64歳以下)	45	88.9	60.0	55.6	66.7
	息子・娘との2世帯	138	89.1	43.5	34.1	43.5
	その他	143	97.9	36.4	36.4	44.1

問3 食べることについて

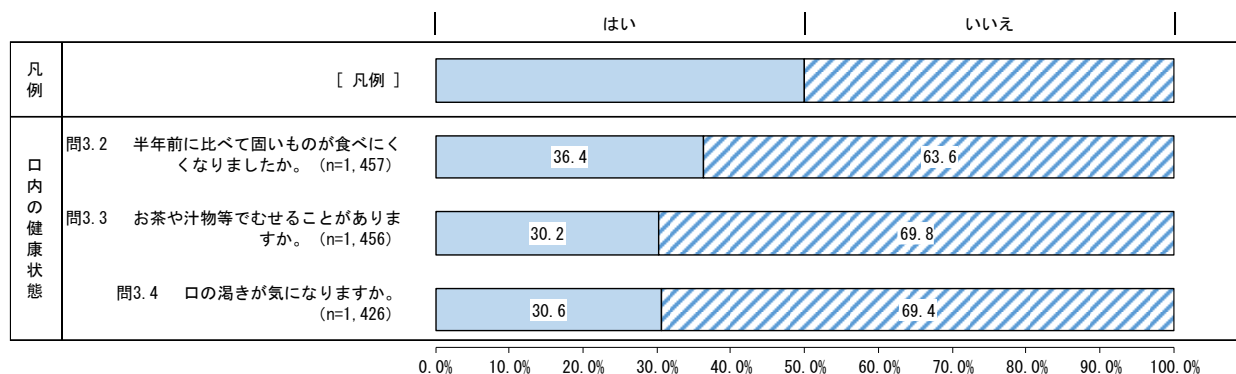
(1) 口腔

① 口内の健康状態

- 問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)
- 問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)
- 問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

<p>【問3-2 全体】 ○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 36.4%、「いいえ」が 63.6%となっています。</p> <p>【問3-3 全体】 ○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 30.2%、「いいえ」が 69.8%となっています。</p> <p>【問3-4 全体】 ○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 30.6%、「いいえ」が 69.4%となっています。</p>
--

【問3-2～3-4】

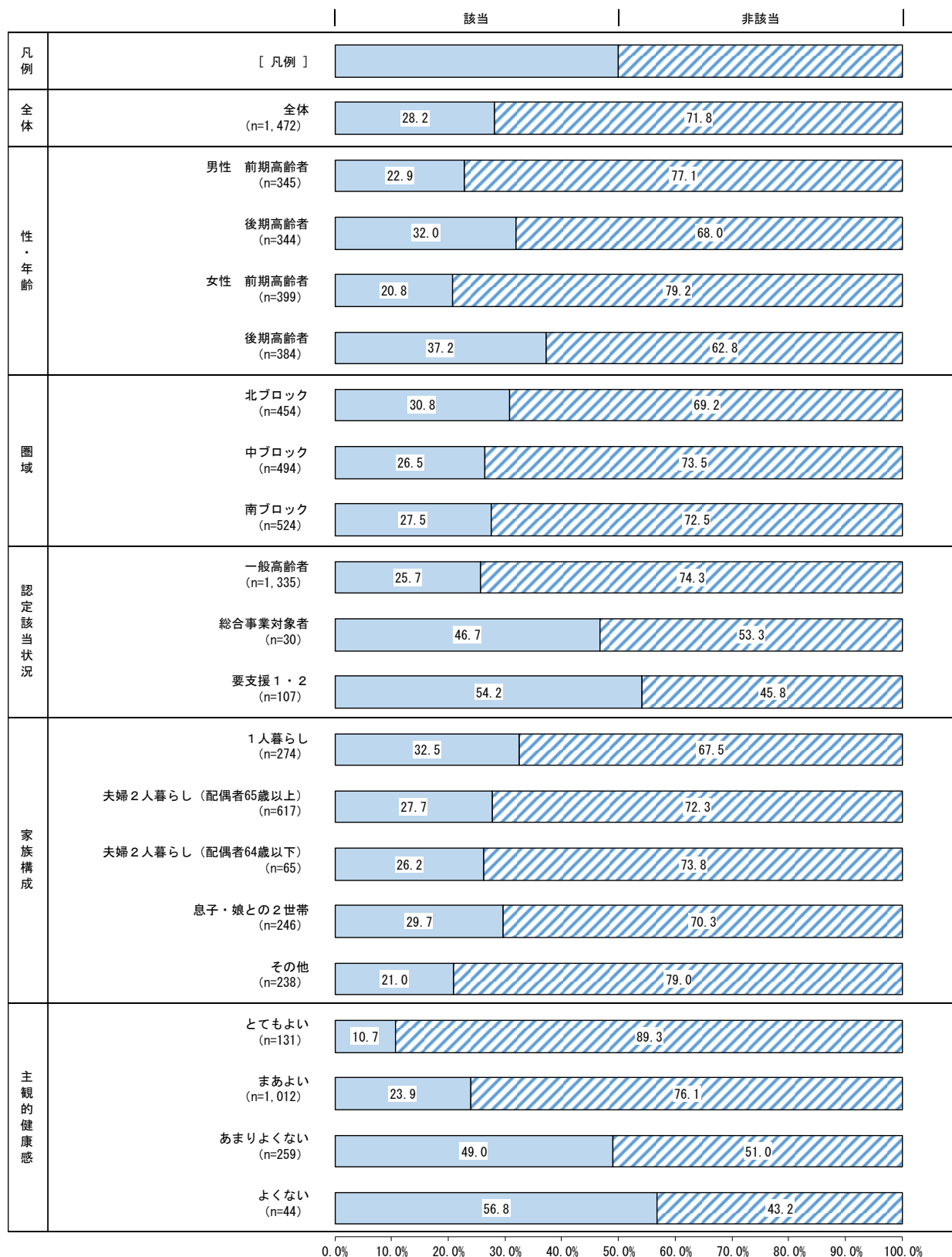


◆口腔機能の低下リスクの判定

●口腔機能の低下リスク

<p>【全体】 ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 28.2%、「非該当」が 71.8%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。 ○ 特に女性では前期高齢者より後期高齢者の方が 16.4 ポイント高く (約 1.5 倍)、加齢に伴いリスクが高くなりやすいと考えられます。</p> <p>【圏域】 ○ 「該当」は北ブロックが 30.8%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【家族構成】 ○ 「該当」は1人暮らしが 32.5%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【主観的健康感】 ○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。</p>
--

【口腔機能の低下リスク】

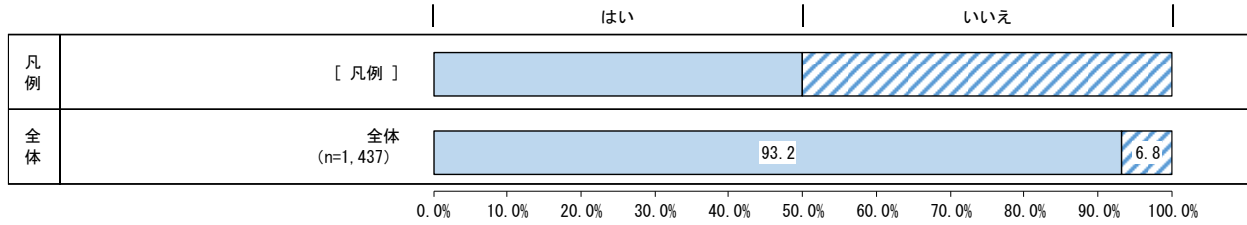


② 歯の状況

●問3-5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 93.2%、「いいえ」が 6.8%となっています。

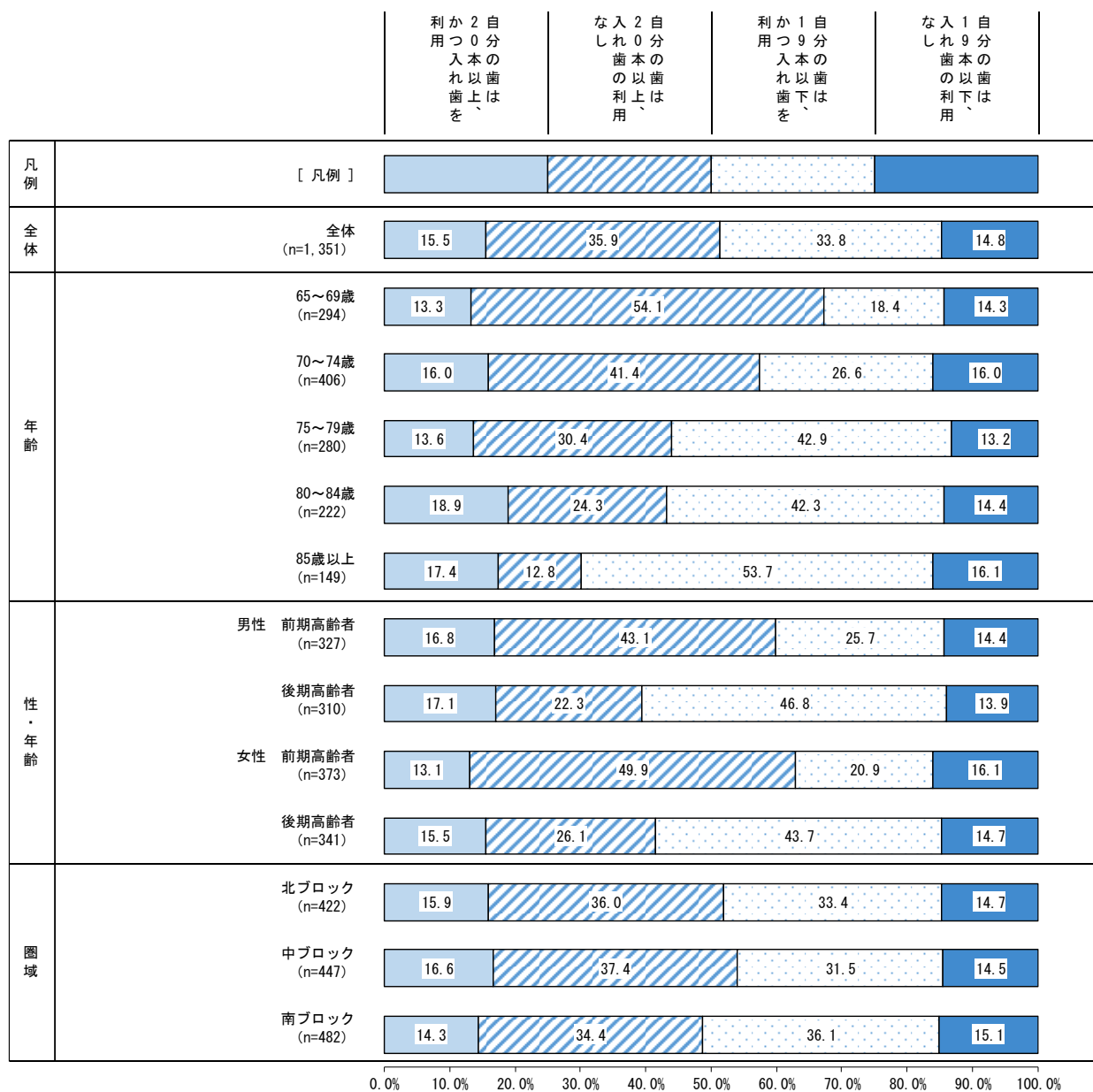
【歯磨きを毎日しているか】



- 問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.9%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.5%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 80歳以上で“自分の歯は20本以上”(8020(はちまるにいます))を達成している人の割合は80~84歳で43.2%、85歳以上では30.2%となっています。
- 【圏域】**
 ○ 南ブロックでは「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」14.3%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

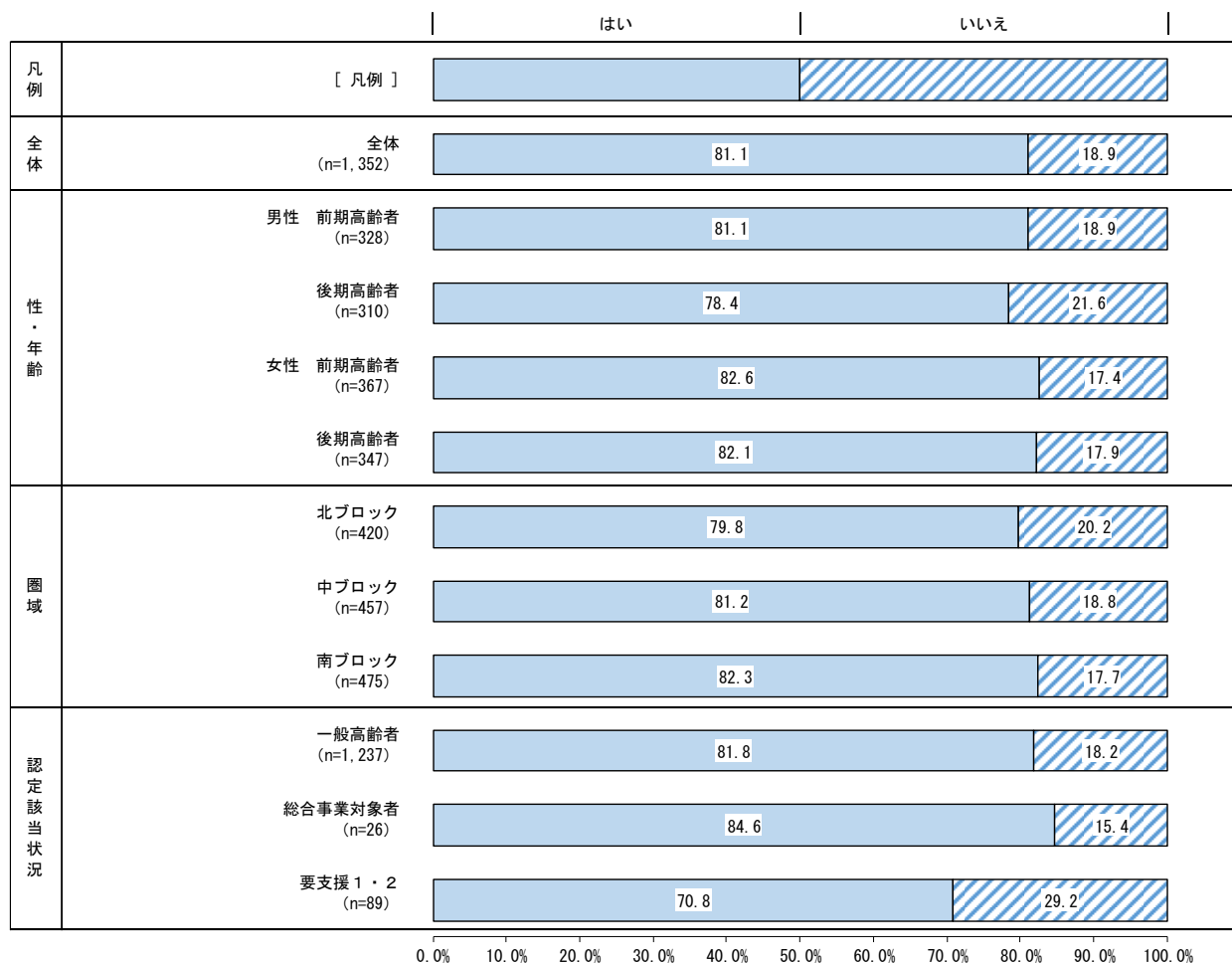
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問3-6-① 噛み合わせは良いですか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が81.1%、「いいえ」が18.9%となっています。
【認定該当状況】
 ○ 「はい」は要支援1・2が70.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【噛み合わせは良いか】

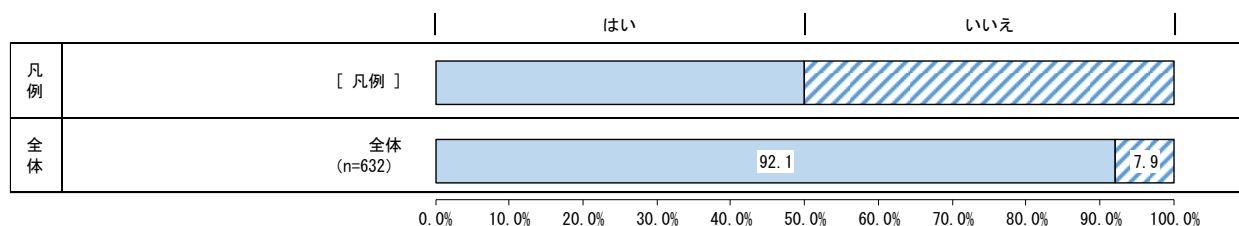


【問3-6で、「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選んだ人のみ回答】

●問3-6-② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が92.1%、「いいえ」が7.9%となっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

◆ 栄養改善のリスクの判定

● 栄養改善のリスク

【全体】
 ○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が9.2%、「非該当」が90.8%となっています。

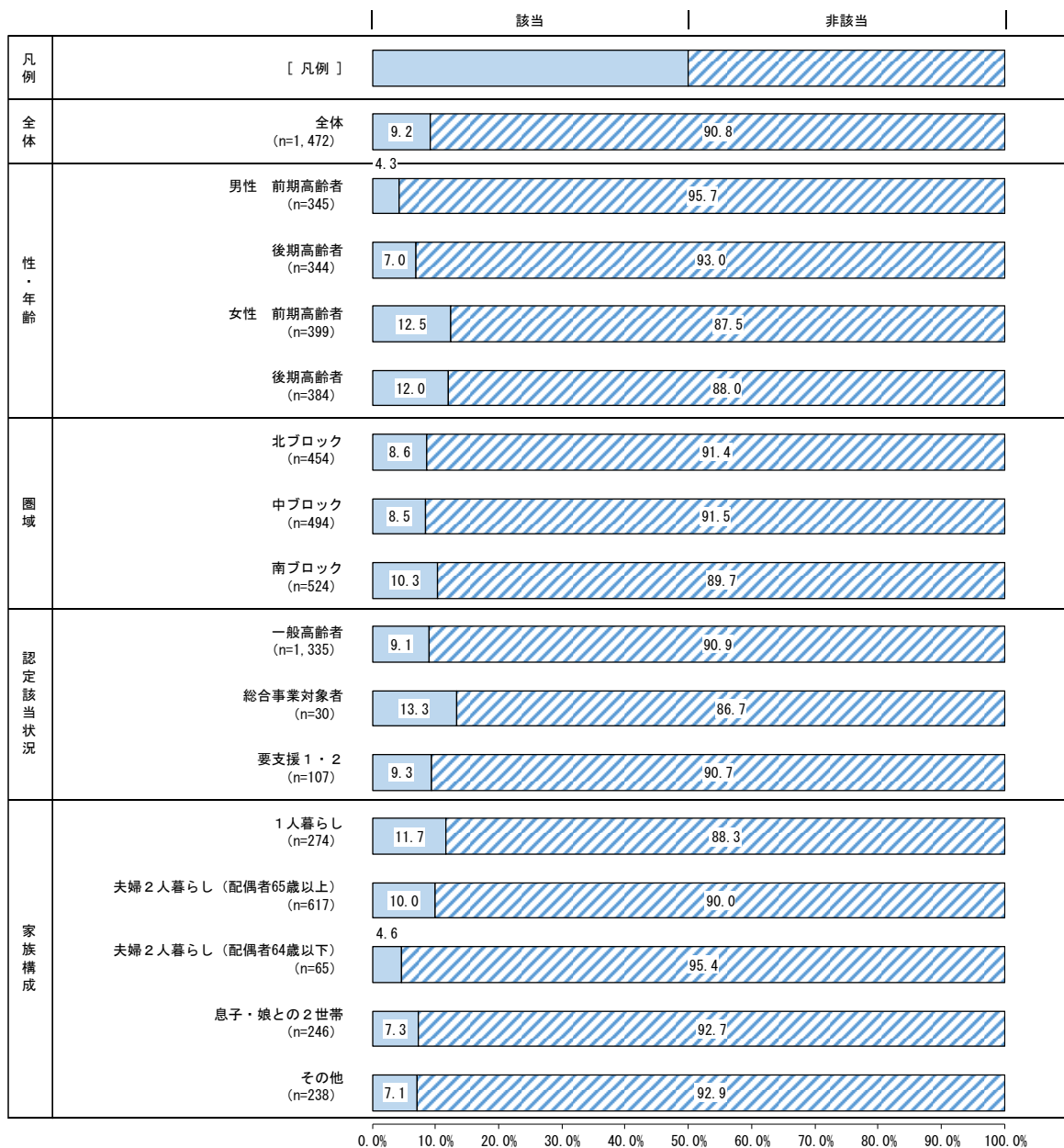
【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 「該当」は南ブロックが10.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「該当」は総合事業対象者が13.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】
 ○ 「該当」は1人暮らしが11.7%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が10.0%と他の区分に比べて多くなっています。

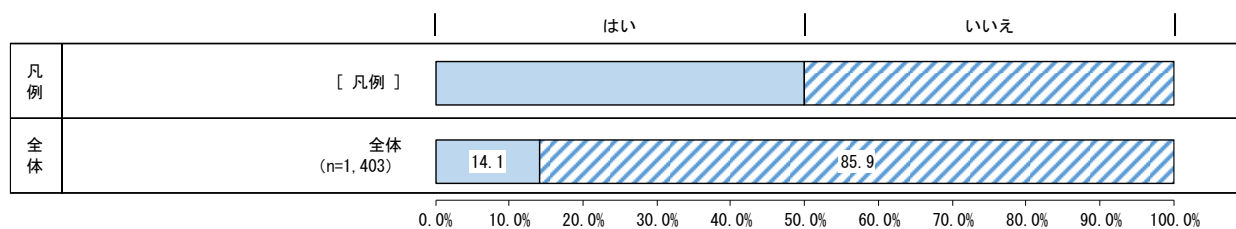
【栄養改善のリスク】



●問3-7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が14.1%、「いいえ」が85.9%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養のリスクの判定

●低栄養のリスク

【全体】
 ○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.5%、「非該当」が98.5%となっています。

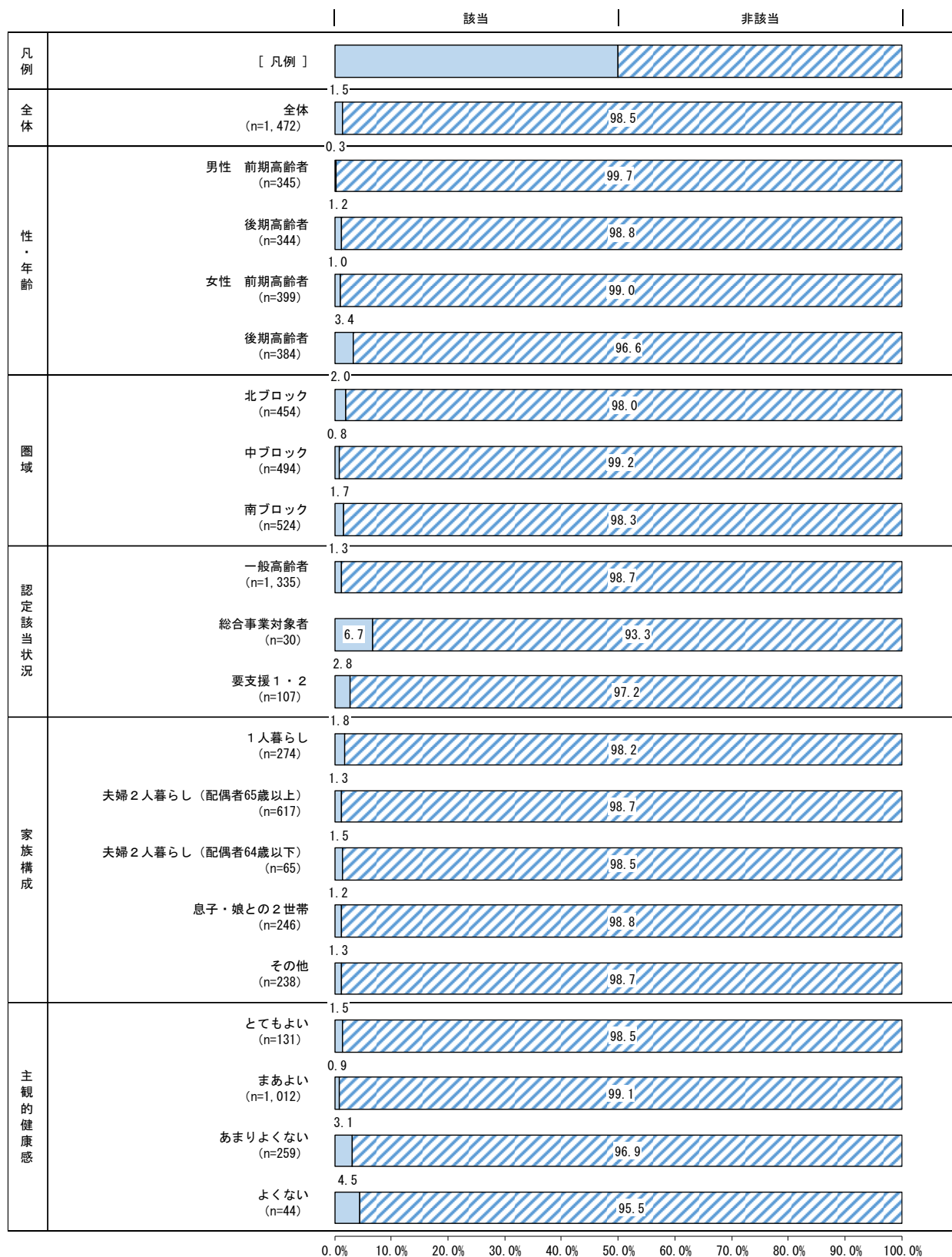
【性・年齢】
 ○ 「該当」は女性 後期高齢者が3.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「該当」は北ブロックが2.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「該当」は総合事業対象者が6.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】
 ○ 「該当」はよくないが4.5%、あまりよくないが3.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【低栄養のリスク】

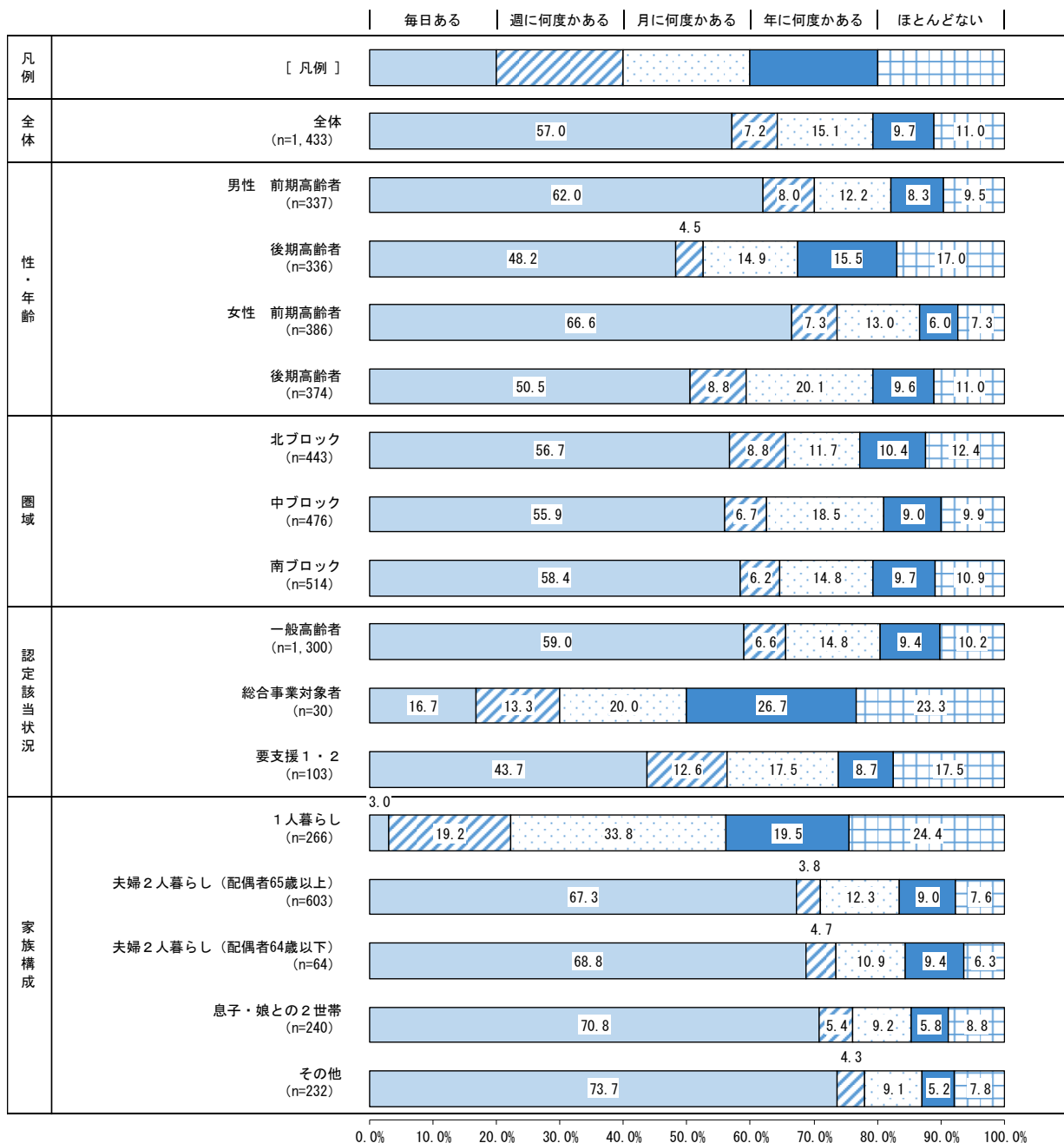


② 孤食の状況

●問3-8 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が57.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が15.1%、「ほとんどない」が11.0%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は20.7%となっています。
【性・年齢】
○ “孤食傾向の方”は男性 後期高齢者が32.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ “孤食傾向の方”は北ブロックが22.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ “孤食傾向の方”は総合事業対象者が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ “孤食傾向の方”は1人暮らしが43.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無】



問4 毎日の生活について

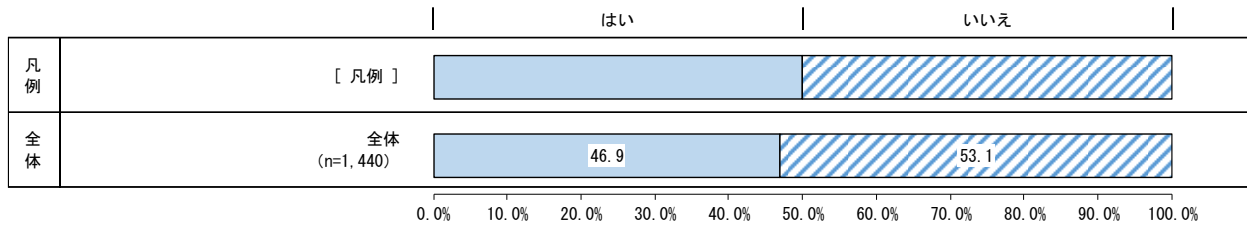
(1) 物忘れ

●問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 46.9%、「いいえ」が 53.1%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】

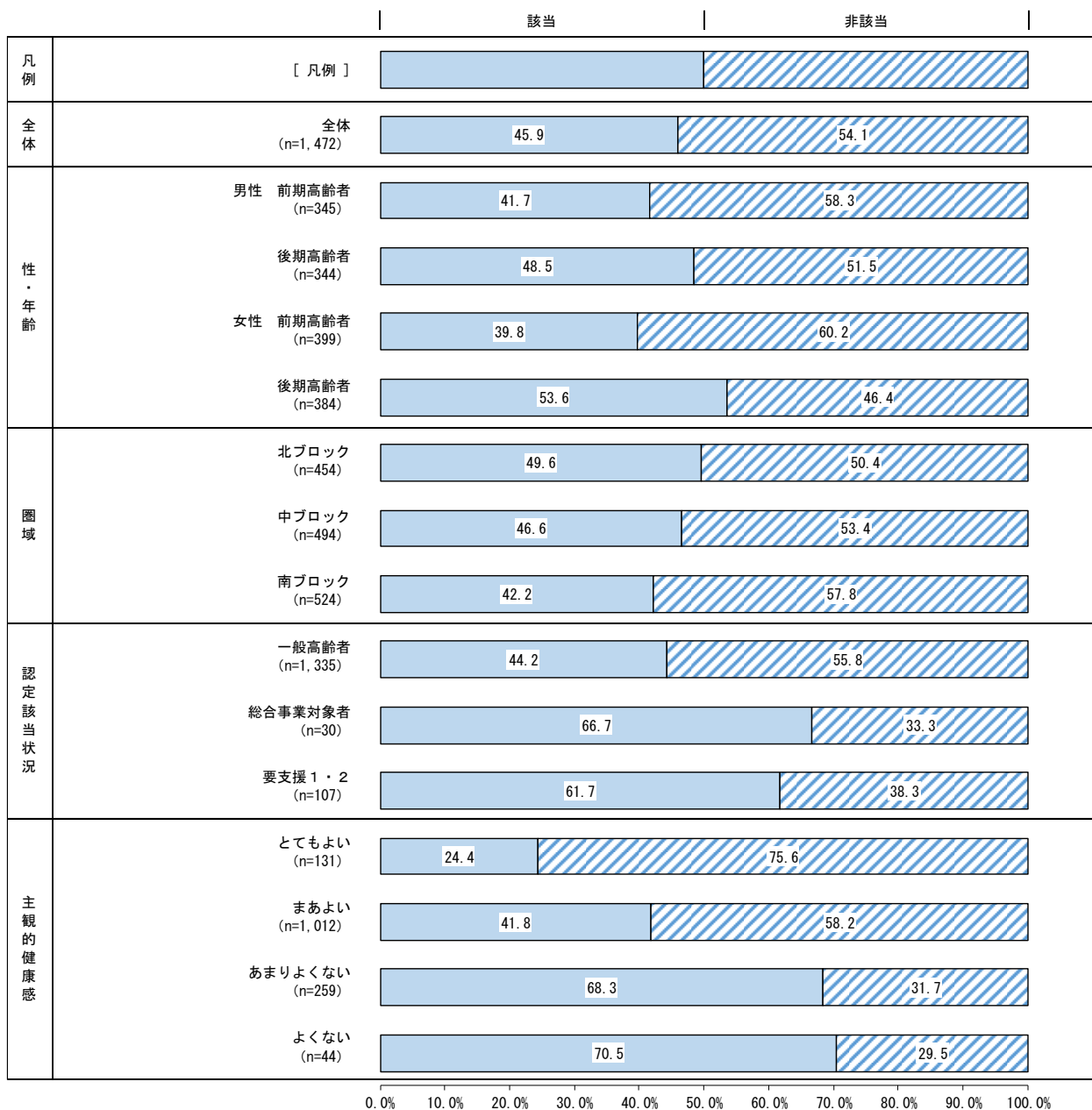


◆認知機能の低下リスクの判定

●認知機能の低下リスク

【全体】	○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が45.9%、「非該当」が54.1%となっています。
【性・年齢】	○ 「該当」は女性 後期高齢者が53.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	○ 「該当」は北ブロックが49.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	○ 「該当」は総合事業対象者が66.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【主観的健康感】	○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認知機能の低下リスク】



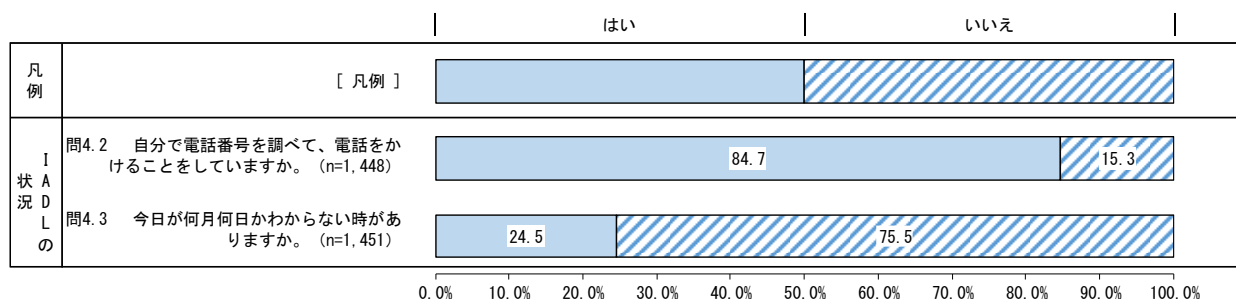
●問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

●問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

【問4-2 全体】

○ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が84.7%、「いいえ」が15.3%となっています。

【問4-2、4-3】



(2) IADLの状況

●問4-4 バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つだけ○)

●問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)

●問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)

●問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)

●問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)

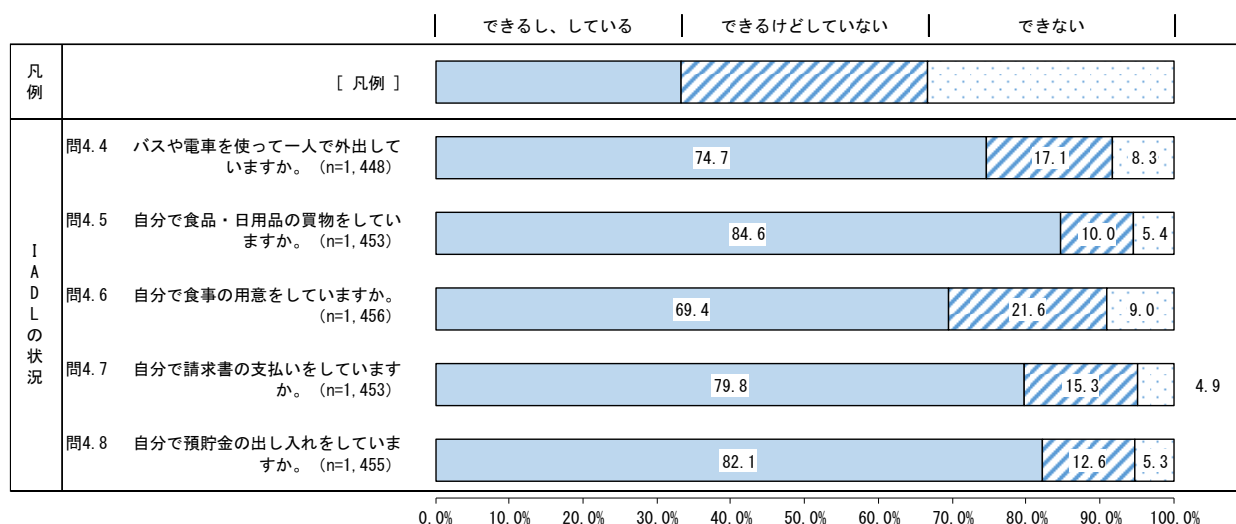
【問4-4 全体】

○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が74.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.1%、「できない」が8.3%となっています。

【問4-6 全体】

○ 食事の用意について、「できるし、している」が69.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.6%、「できない」が9.0%となっています。

【問4-4~4-8】



(3) 社会との関わり

- 問4-9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ○）
- 問4-10 新聞を読んでいますか。（1つだけ○）
- 問4-11 本や雑誌を読んでいますか。（1つだけ○）
- 問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つだけ○）
- 問4-13 友人の家を訪ねていますか。（1つだけ○）
- 問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。（1つだけ○）
- 問4-15 病人を見舞うことができますか。（1つだけ○）
- 問4-16 若い人に自分から話しかけることができますか。（1つだけ○）

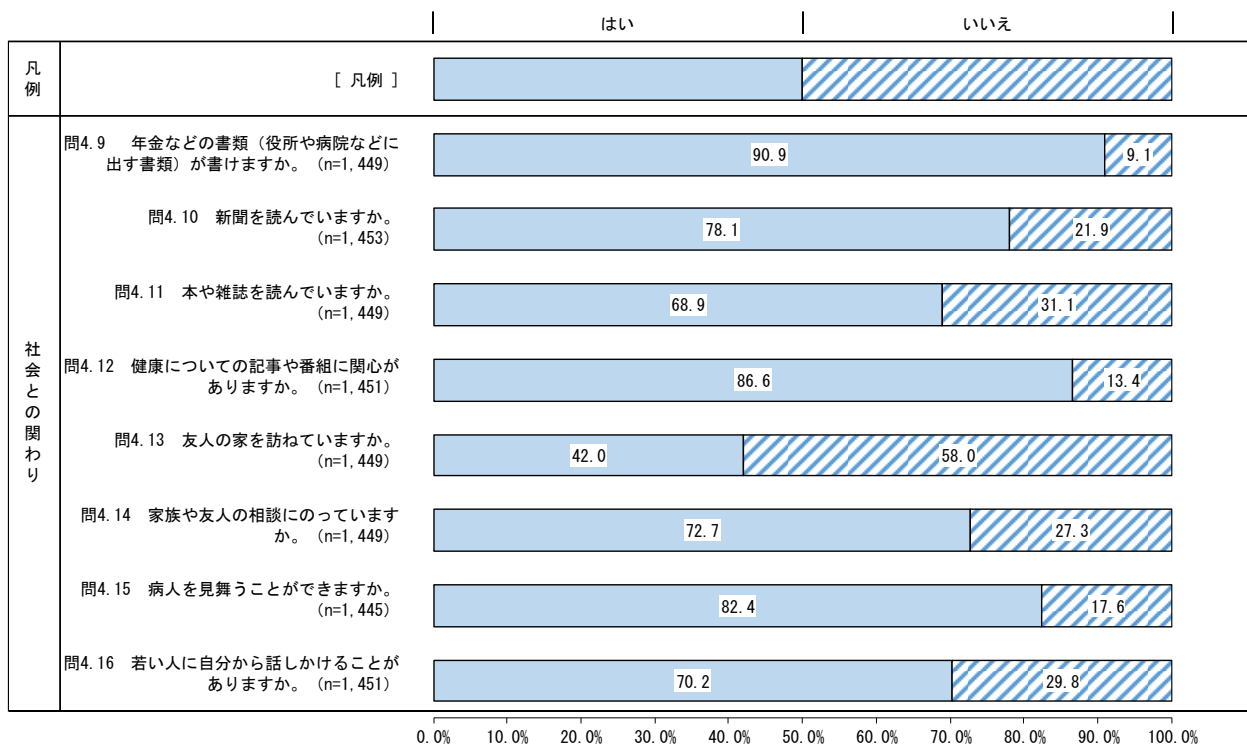
【問4-10 全体】
 ○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 90.9%、「いいえ」が 9.1%となっています。

【問4-12 全体】
 ○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 68.9%、「いいえ」が 31.1%となっています。

【問4-13 全体】
 ○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 86.6%、「いいえ」が 13.4%となっています。

【問4-14 全体】
 ○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 42.0%、「いいえ」が 58.0%となっています。

【問4-9～4-16】



(4) 趣味・生きがいについて

●問4-17 趣味はありますか。(1つだけ○)

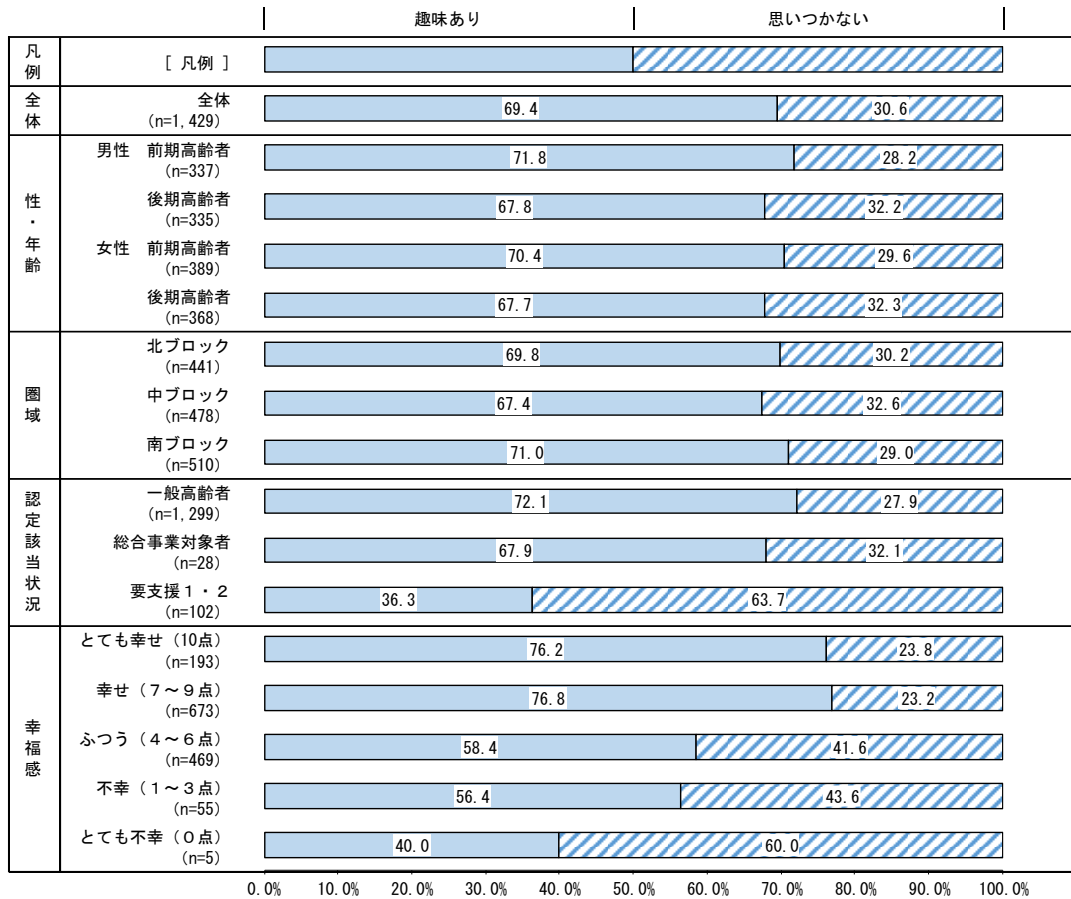
【全体】
○ 趣味の有無について、「趣味あり」が69.4%、「思いつかない」が30.6%となっています。

【圏域】
○ 「趣味あり」は南ブロックが71.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】
○ 幸福感がよくないほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

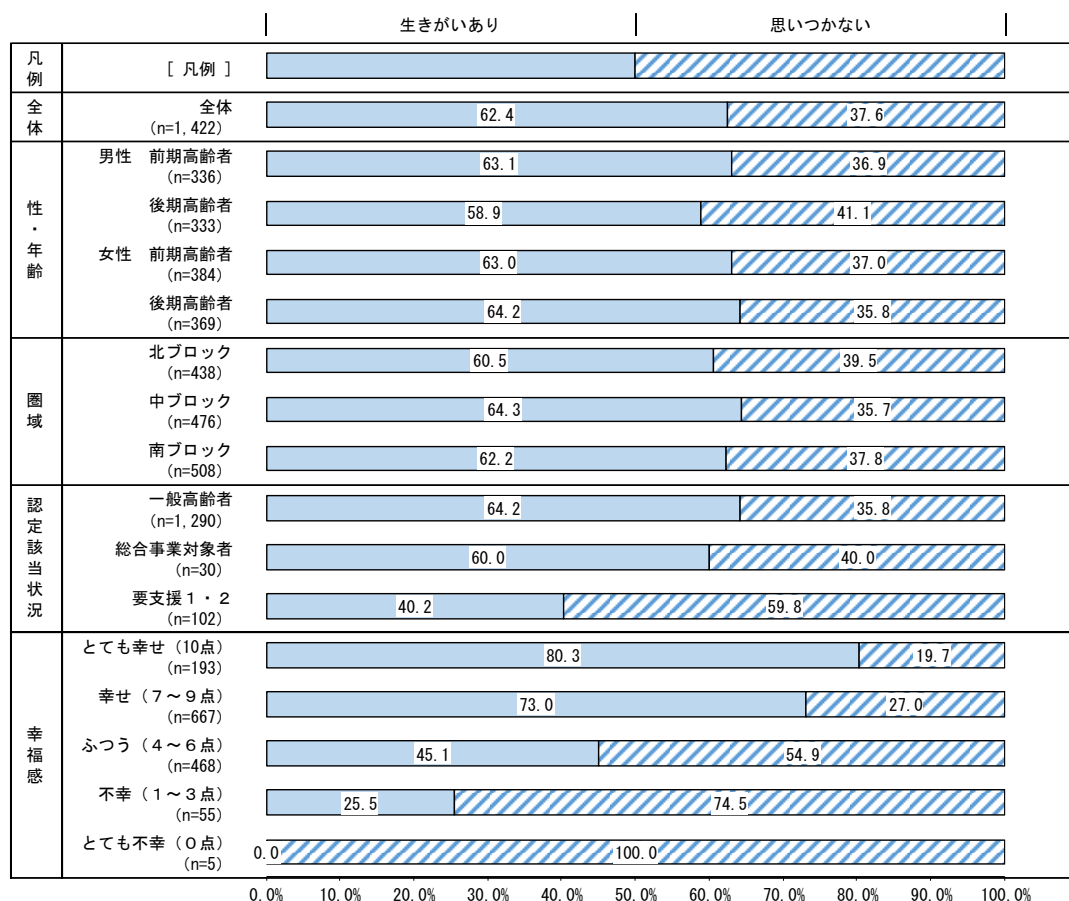
【趣味の有無】



●問4-18 生きがいはありますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が62.4%、「思いつかない」が37.6%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「生きがいあり」は男性 後期高齢者が58.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「生きがいあり」は中ブロックが64.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要介護度が高いほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

【生きがいの有無】



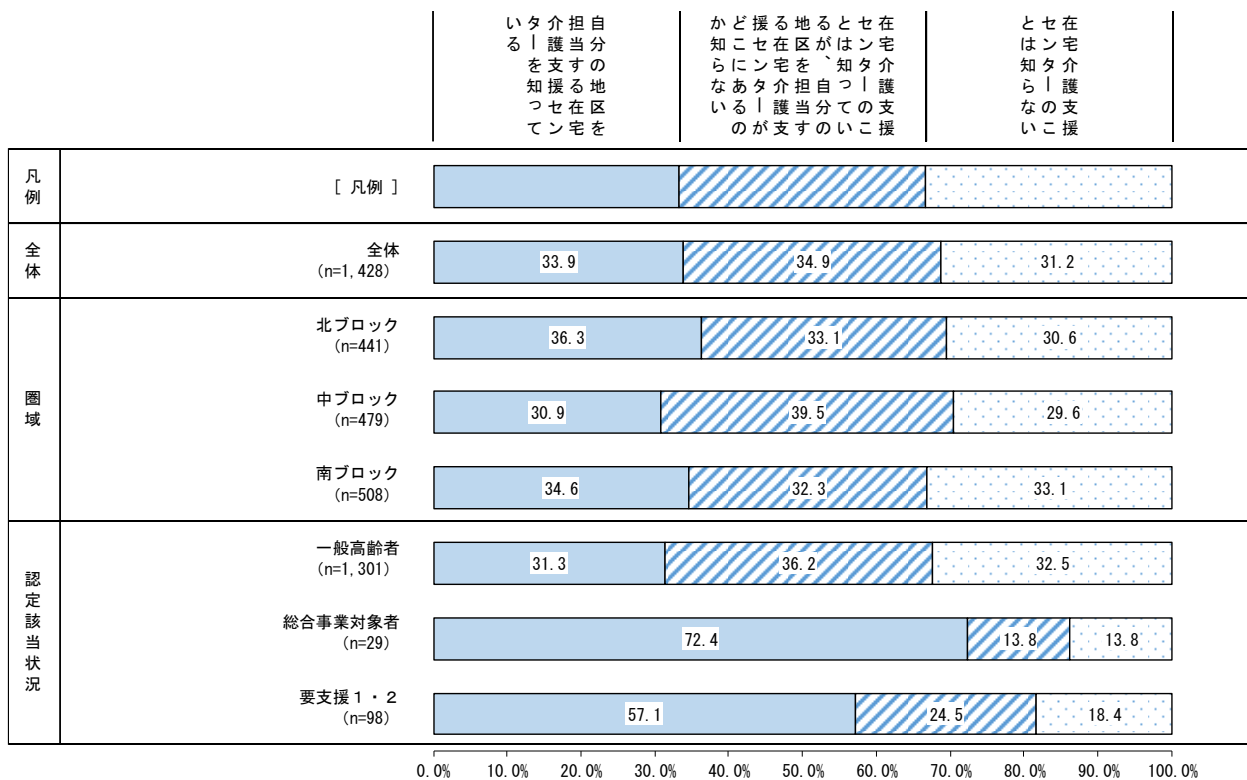
(5) 在宅介護支援センター、地域包括支援センターの周知状況

●問4-19 あなたは、在宅介護支援センターを知っていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 在宅介護支援センターの認知度について、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」が 34.9%で最も多く、次いで「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」が33.9%、「在宅介護支援センターのことは知らない」が31.2%となっています。

【圏域】
 ○ 「自分の地区を担当する在宅介護支援センターを知っている」は北ブロックが 36.3%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」は中ブロックが 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。

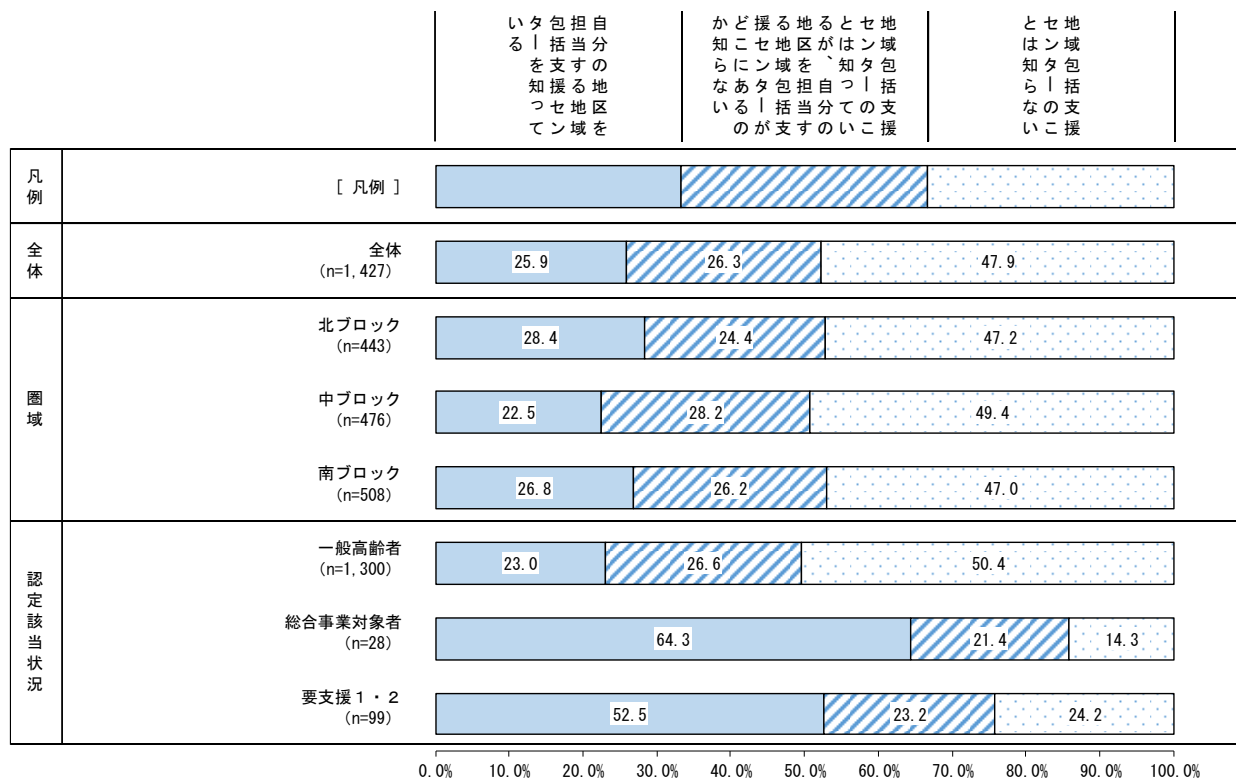
【在宅介護支援センターの認知度】



●問4-20 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ 地域包括支援センターの認知度について、「地域包括支援センターのことは知らない」が47.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する地域包括支援センターがどこにあるのかわからない」が26.3%、「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」が25.9%となっています。
- 【圏域】**
 ○ 「自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」は北ブロックが28.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域包括支援センターの認知度】

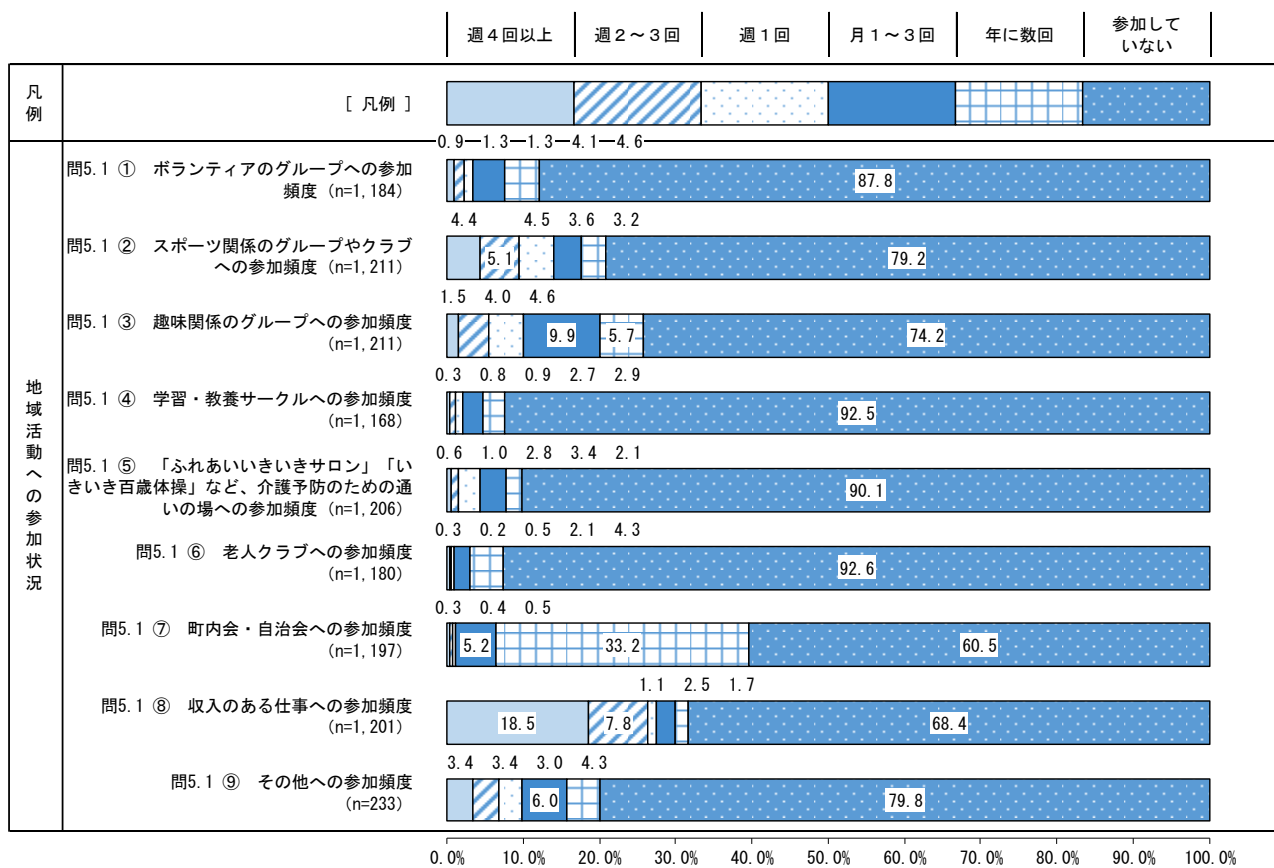


問5 地域での活動について

(1) 地域での活動への参加頻度や意向

- 問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。①～⑨のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つだけ○)

【各活動への参加頻度】



●①ボランティアのグループへの参加頻度

【全体】	
○	①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が87.8%で最も多く、次いで「年に数回」が4.6%、「月1～3回」が4.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は3.5%となっています。
【年齢】	
○	85歳以上では“週1回以上参加している人”は3.6%となっています。

【①ボランティアのグループへの参加頻度】

		母数 (n)	①ボランティアのグループへの参加頻度					参加して いない	単位：％ し“週 1回 以上 参加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,184	0.9	1.3	1.3	4.1	4.6	87.8	3.5
性別	男性	584	0.9	1.5	1.4	3.4	5.0	87.8	3.8
	女性	600	1.0	1.0	1.2	4.8	4.2	87.8	3.2
年齢	65～69歳	277	0.4	0.4	1.1	4.0	3.6	90.6	1.9
	70～74歳	381	1.3	1.8	1.0	4.2	5.0	86.6	4.1
	75～79歳	238	1.3	1.7	1.7	5.0	6.7	83.6	4.7
	80～84歳	178	1.1	1.1	0.6	3.4	3.9	89.9	2.8
	85歳以上	110	-	0.9	2.7	3.6	1.8	90.9	3.6

●②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

【全体】	
○	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が79.2%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.1%、「週1回」が4.5%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は14.0%となっています。
【年齢】	
○	85歳以上では“週1回以上参加している人”は10.3%となっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】

		母数 (n)	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度					参加して いない	単位：％ し“週 1回 以上 参加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,211	4.4	5.1	4.5	3.6	3.2	79.2	14.0
性別	男性	598	3.7	4.2	4.2	4.2	4.3	79.4	12.1
	女性	613	5.1	6.0	4.7	3.1	2.1	79.0	15.8
年齢	65～69歳	281	2.1	5.3	3.9	3.2	2.8	82.6	11.3
	70～74歳	379	6.9	4.2	4.5	4.0	2.6	77.8	15.6
	75～79歳	250	4.4	5.2	4.4	4.0	4.4	77.6	14.0
	80～84歳	184	3.8	7.1	6.0	3.3	4.3	75.5	16.9
	85歳以上	117	2.6	4.3	3.4	3.4	1.7	84.6	10.3

●③趣味関係のグループへの参加頻度

【全体】
○ ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が74.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.9%、「年に数回」が5.7%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は10.1%となっています。
【年齢】
○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は10.9%となっています。

【③趣味関係のグループへの参加頻度】

		母数 (n)	③趣味関係のグループへの参加頻度					参加して いない	し“ 週1 回 以上 参加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,211	1.5	4.0	4.6	9.9	5.7	74.2	10.1
性別	男性	594	1.9	2.9	4.4	8.4	7.4	75.1	9.2
	女性	617	1.1	5.2	4.9	11.3	4.1	73.4	11.2
年齢	65～69歳	280	1.1	2.1	3.2	7.9	6.4	79.3	6.4
	70～74歳	380	1.3	4.5	5.0	8.4	5.5	75.3	10.8
	75～79歳	253	3.2	5.1	3.2	13.8	5.1	69.6	11.5
	80～84歳	180	0.6	5.6	6.1	7.8	6.7	73.3	12.3
	85歳以上	118	0.8	2.5	7.6	14.4	4.2	70.3	10.9

●④学習・教養サークルへの参加頻度

【全体】
○ ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が92.5%で最も多く、次いで「年に数回」が2.9%、「月1～3回」が2.7%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.0%となっています。
【年齢】
○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は1.8%となっています。

【④学習・教養サークルへの参加頻度】

		母数 (n)	④学習・教養サークルへの参加頻度					参加して いない	し“ 週1 回 以上 参加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,168	0.3	0.8	0.9	2.7	2.9	92.5	2.0
性別	男性	577	0.2	0.7	0.5	1.9	2.4	94.3	1.4
	女性	591	0.3	0.8	1.2	3.6	3.4	90.7	2.3
年齢	65～69歳	278	0.4	0.7	0.7	2.5	2.9	92.8	1.8
	70～74歳	367	-	0.8	1.1	1.9	3.5	92.6	1.9
	75～79歳	239	-	1.3	0.4	3.3	3.8	91.2	1.7
	80～84歳	172	0.6	0.6	1.2	3.5	1.2	93.0	2.4
	85歳以上	112	0.9	-	0.9	3.6	1.8	92.9	1.8

●⑤介護予防のための通いの場への参加頻度

- 【全体】**
 ○ ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が90.1%で最も多く、次いで「月1～3回」が3.4%、「週1回」が2.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は4.4%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は13.8%となっています。

【⑤介護予防のための通いの場への参加頻度】

		母数 (n)	⑤介護予防のための通いの場への参加頻度					参加して いない	単位：％ “週1回以上 参加 している人”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,206	0.6	1.0	2.8	3.4	2.1	90.1	4.4
性別	男性	585	0.2	0.3	1.7	2.1	1.4	94.4	2.2
	女性	621	1.0	1.6	3.9	4.7	2.7	86.2	6.5
年齢	65～69歳	276	-	-	1.1	1.1	0.7	97.1	1.1
	70～74歳	375	0.3	-	2.1	1.9	2.1	93.6	2.4
	75～79歳	246	0.8	0.4	3.3	4.9	3.7	87.0	4.5
	80～84歳	186	1.1	2.7	3.2	5.4	1.1	86.6	7.0
	85歳以上	123	1.6	4.9	7.3	7.3	3.3	75.6	13.8

●⑥老人クラブへの参加頻度

- 【全体】**
 ○ ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が92.6%で最も多く、次いで「年に数回」が4.3%、「月1～3回」が2.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.0%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は2.7%となっています。

【⑥老人クラブへの参加頻度】

		母数 (n)	⑥老人クラブへの参加頻度					参加して いない	単位：％ “週1回以上 参加 している人”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,180	0.3	0.2	0.5	2.1	4.3	92.6	1.0
性別	男性	581	0.2	0.2	0.3	2.4	4.0	92.9	0.7
	女性	599	0.3	0.2	0.7	1.8	4.7	92.3	1.2
年齢	65～69歳	274	-	-	-	0.7	1.1	98.2	-
	70～74歳	373	0.3	-	0.5	1.1	4.3	93.8	0.8
	75～79歳	240	-	0.4	0.4	2.1	5.0	92.1	0.8
	80～84歳	181	0.6	-	1.1	5.0	8.3	85.1	1.7
	85歳以上	112	0.9	0.9	0.9	4.5	4.5	88.4	2.7

●⑦町内会・自治会への参加頻度

【全体】
○ ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が60.5%で最も多く、次いで「年に数回」が33.2%、「月1～3回」が5.2%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.2%となっています。
【年齢】
○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は0.9%となっています。

【⑦町内会・自治会への参加頻度】

		母数 (n)	⑦町内会・自治会への参加頻度					参加して いない	し“ 週 1 回 以 上 参 加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,197	0.3	0.4	0.5	5.2	33.2	60.5	1.2
性別	男性	593	0.5	0.7	0.8	6.4	33.4	58.2	2.0
	女性	604	-	0.2	0.2	4.0	32.9	62.7	0.4
年齢	65～69歳	279	0.4	-	0.7	4.7	37.6	56.6	1.1
	70～74歳	372	0.5	0.3	0.5	4.8	34.1	59.7	1.3
	75～79歳	251	-	1.2	0.8	8.0	36.3	53.8	2.0
	80～84歳	183	-	-	-	4.9	29.0	66.1	-
	85歳以上	112	-	0.9	-	1.8	18.8	78.6	0.9

●⑧収入のある仕事への参加頻度

【全体】
○ ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が68.4%で最も多く、次いで「週4回以上」が18.5%、「週2～3回」が7.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は27.4%となっています。
【年齢】
○ “85歳以上では週1回以上参加している人”は2.7%となっています。

【⑧収入のある仕事への参加頻度】

		母数 (n)	⑧収入のある仕事への参加頻度					参加して いない	し“ 週 1 回 以 上 参 加 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回		
全体		1,201	18.5	7.8	1.1	2.5	1.7	68.4	27.4
性別	男性	589	21.1	8.0	0.8	2.7	2.2	65.2	29.9
	女性	612	16.0	7.7	1.3	2.3	1.3	71.4	25.0
年齢	65～69歳	284	36.3	10.6	0.7	1.1	1.1	50.4	47.6
	70～74歳	387	23.8	10.6	0.8	4.7	2.3	57.9	35.2
	75～79歳	244	7.0	8.6	3.3	0.8	1.2	79.1	18.9
	80～84歳	174	4.0	1.1	-	4.0	2.9	87.9	5.1
	85歳以上	112	2.7	-	-	-	0.9	96.4	2.7

●⑨その他

【全体】
 ○ ⑨その他について、「参加していない」が79.8%で最も多く、次いで「月1～3回」が6.0%、「年に数回」が4.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は9.8%となっています。

【年齢】
 ○ 85歳以上では“週1回以上参加している人”は13.6%となっています。

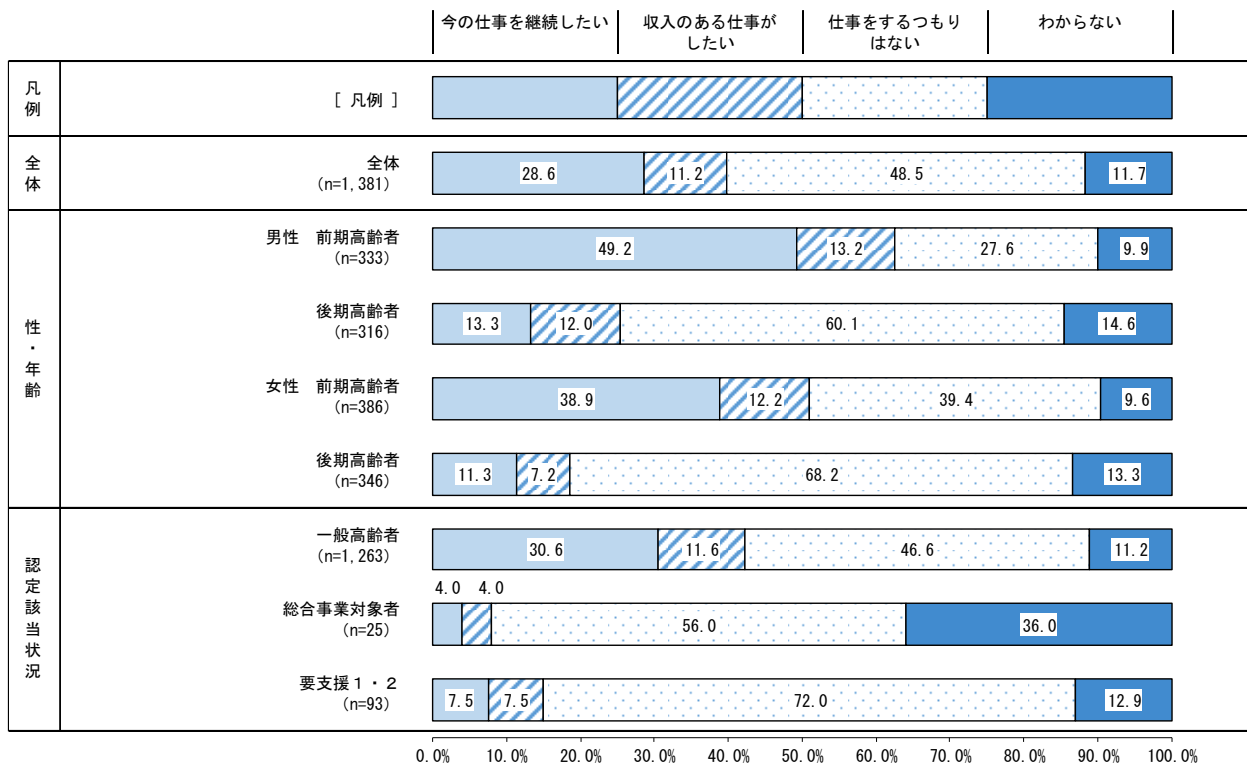
【⑨その他】

		母数 (n)	⑨その他					参加して いない	単位：％ “週1回以上参加”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
全体		233	3.4	3.4	3.0	6.0	4.3	79.8	9.8
性別	男性	124	4.0	2.4	1.6	4.0	4.8	83.1	8.0
	女性	109	2.8	4.6	4.6	8.3	3.7	76.1	12.0
年齢	65～69歳	48	4.2	2.1	-	4.2	2.1	87.5	6.3
	70～74歳	75	5.3	4.0	2.7	10.7	1.3	76.0	12.0
	75～79歳	48	2.1	-	-	4.2	10.4	83.3	2.1
	80～84歳	40	2.5	5.0	10.0	2.5	7.5	72.5	17.5
	85歳以上	22	-	9.1	4.5	4.5	-	81.8	13.6

●問5-2 あなたは、収入のある仕事をしたい（現在、仕事をしている方は継続したい）と思いますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ 収入のある仕事に対する意向について、「仕事をするつもりはない」が48.5%で最も多く、次いで「今の仕事を継続したい」が28.6%、「わからない」が11.7%となっています。

【収入のある仕事に対する意向】



- 問5-3 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

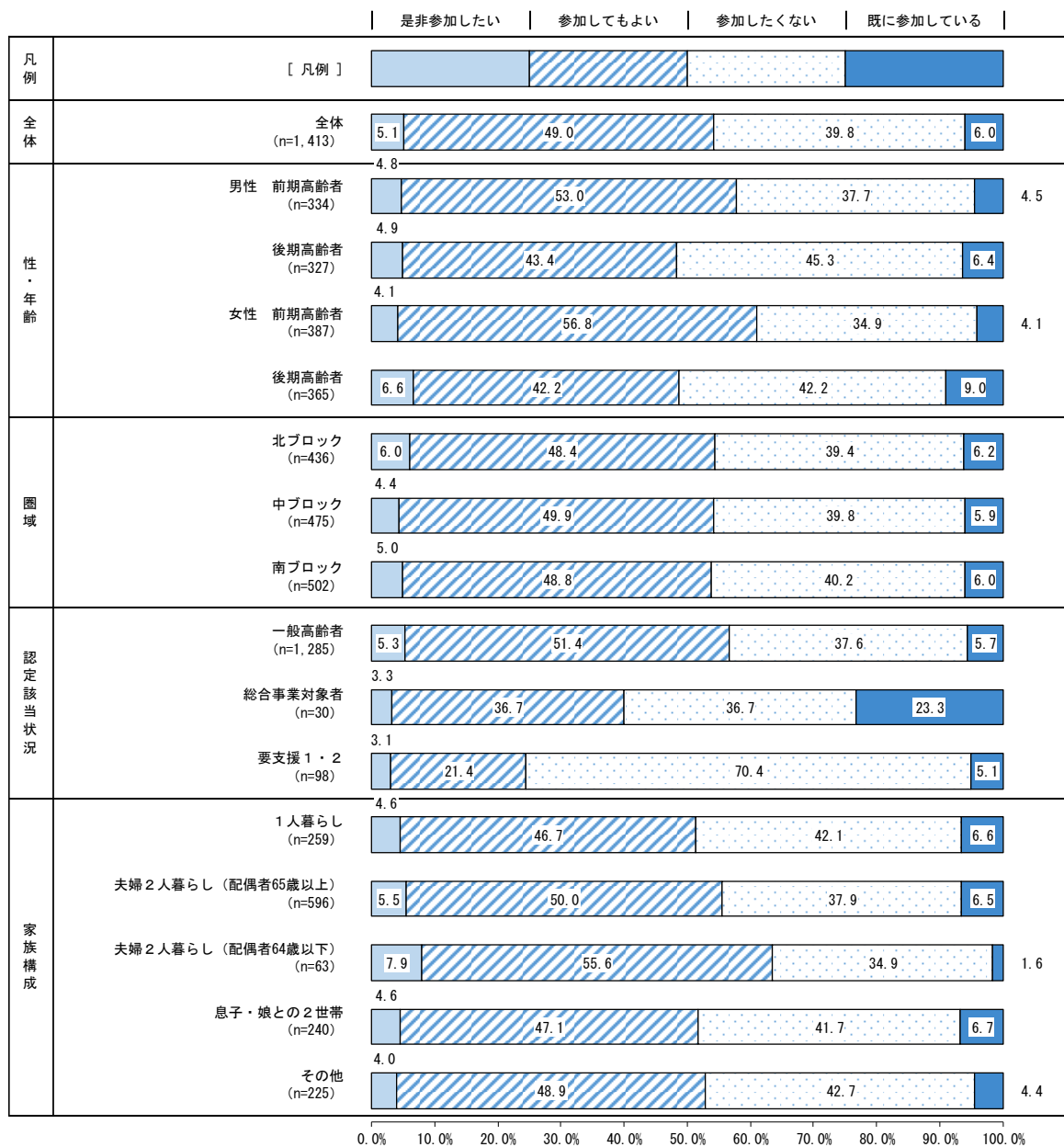
【全体】
 ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が49.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が39.8%、「既に参加している」が6.0%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は54.1%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「既に参加している」は女性 後期高齢者が9.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要介護度が高いほど「参加してもよい」が少なくなる傾向がみられます。
 ○ 「既に参加している」は総合事業対象者が23.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】
 ○ 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「是非参加したい」は7.9%、「参加してもよい」が55.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



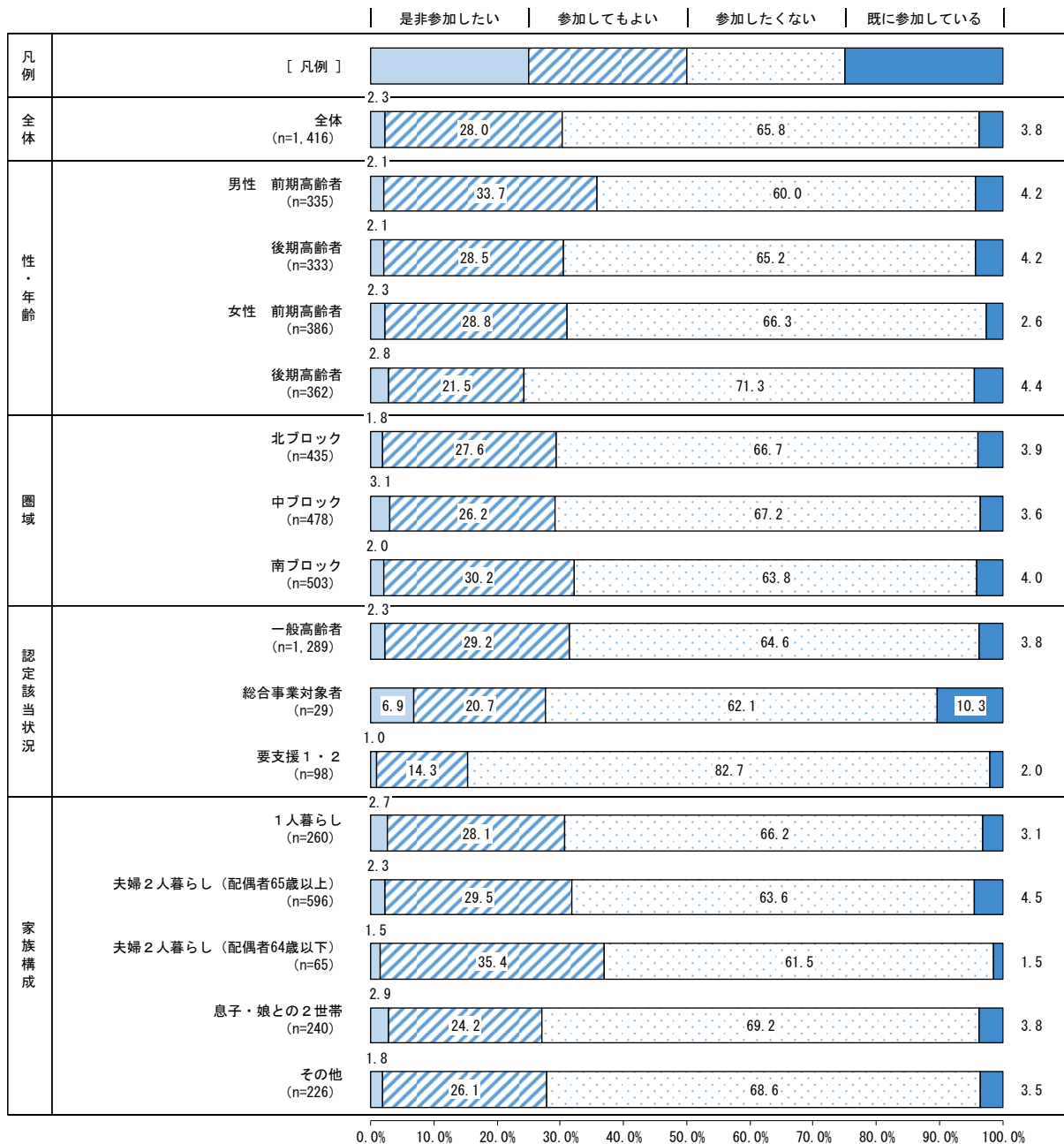
●問5-4 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は30.3%となっています。

【認定該当状況】
 ○ 「是非参加したい」は総合事業対象者が6.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】
 ○ 「参加してもよい」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が35.4%と他の区分に比べて多くなっています。

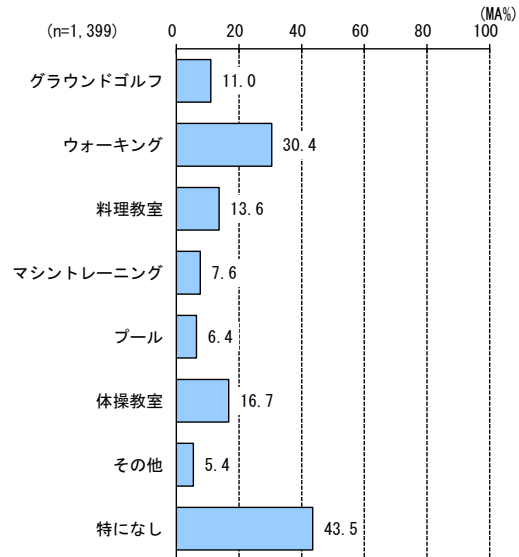
【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



- 問5-5 健康づくり活動について、どのような活動に参加してみたいですか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 参加してみたいと思う健康づくり活動について、「ウォーキング」が 30.4%、「体操教室」が 16.7%となっています。

【参加してみたいと思う健康づくり活動(MA)】



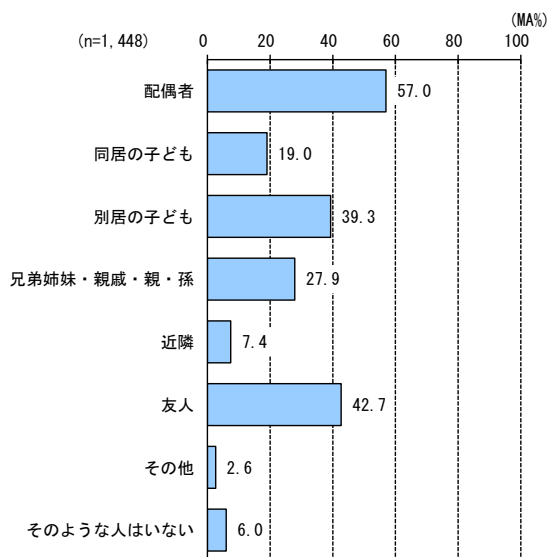
問6 たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問6-1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）

【全体】
 ○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が57.0%で最も多く、次いで「友人」が42.7%、「別居の子ども」が39.3%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



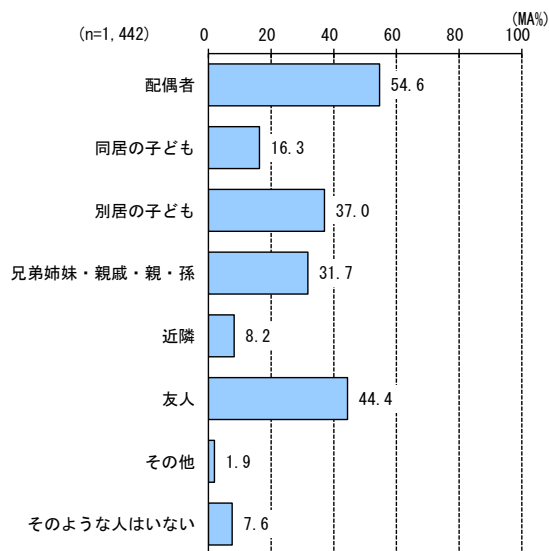
単位：%

		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)							
			配 偶 者	子 同 居 の も の	子 別 居 の も の	孫 親 兄 弟 姉 妹 ・ ・ ・	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い
全体		1,448	57.0	19.0	39.3	27.9	7.4	42.7	2.6	6.0
性・年齢	男性 前期高齢者	341	74.2	13.5	26.4	19.1	4.1	30.8	2.3	8.8
	男性 後期高齢者	336	68.5	12.5	33.0	18.2	2.1	25.0	2.4	9.2
	女性 前期高齢者	394	54.1	24.9	49.7	38.6	11.2	64.7	1.5	2.5
	女性 後期高齢者	377	34.2	23.6	45.6	33.4	11.1	46.4	4.0	4.2
圏域	北ブロック	448	57.6	16.1	41.1	27.5	6.7	41.7	2.7	5.4
	中ブロック	486	58.8	18.5	38.3	28.2	7.2	45.9	1.4	6.0
	南ブロック	514	54.7	22.0	38.7	28.0	8.2	40.7	3.5	6.6
認定該当 状況	一般高齢者	1,315	59.8	18.9	38.5	28.6	7.1	44.6	2.2	5.7
	総合事業対象者	30	16.7	20.0	40.0	23.3	10.0	40.0	6.7	3.3
	要支援1・2	103	32.0	20.4	49.5	20.4	10.7	19.4	5.8	10.7
家族構成	1人暮らし	271	2.6	1.1	42.1	35.1	14.0	46.5	3.3	13.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	609	81.9	2.1	47.0	25.3	4.8	40.9	2.0	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	63	82.5	9.5	34.9	22.2	6.3	39.7	-	4.8
	息子・娘との2世帯	245	53.9	58.0	28.2	24.9	7.3	39.6	3.3	5.7
	その他	231	54.1	43.7	32.0	32.0	6.5	46.8	3.5	6.1

●問6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

【全体】
 ○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 54.6%で最も多く、次いで「友人」が 44.4%、「別居の子ども」が 37.0%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)】



単位：%

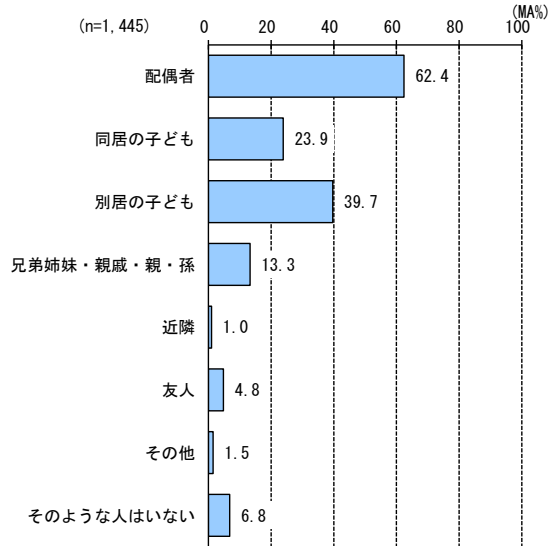
	母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫親兄弟・姉妹・親戚	近隣	友人	その他	そのような人はいない	
全体	1,442	54.6	16.3	37.0	31.7	8.2	44.4	1.9	7.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	340	74.1	13.8	32.6	24.1	4.1	32.9	2.1	7.9
	男性 後期高齢者	334	66.5	12.3	31.7	25.7	2.7	25.1	1.2	9.3
	女性 前期高齢者	394	50.3	21.3	47.2	41.9	12.9	66.8	2.0	3.6
	女性 後期高齢者	374	30.7	16.8	35.0	33.2	11.8	48.4	2.4	9.9
圏域	北ブロック	444	55.2	12.6	35.8	31.5	8.1	44.1	2.3	6.5
	中ブロック	486	56.2	16.5	34.8	31.3	7.6	44.4	0.8	8.6
	南ブロック	512	52.5	19.3	40.2	32.2	8.8	44.5	2.7	7.4
認定該当状況	一般高齢者	1,310	57.3	16.8	37.5	32.6	8.3	45.7	2.0	6.7
	総合事業対象者	29	20.7	10.3	31.0	31.0	10.3	51.7	-	13.8
	要支援1・2	103	30.1	11.7	33.0	20.4	5.8	25.2	1.9	16.5
家族構成	1人暮らし	267	2.6	0.4	33.3	37.1	12.0	50.2	3.0	15.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	609	77.5	2.3	45.6	32.3	7.4	41.9	1.6	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	63	85.7	7.9	41.3	23.8	3.2	41.3	-	4.8
	息子・娘との2世帯	244	51.6	50.8	25.8	26.6	6.6	40.6	2.5	8.2
	その他	230	53.0	36.5	31.7	32.6	9.6	48.7	1.7	7.8

●問6-3 あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

【全体】

○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が62.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が39.7%、「同居の子ども」が23.9%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



単位：%

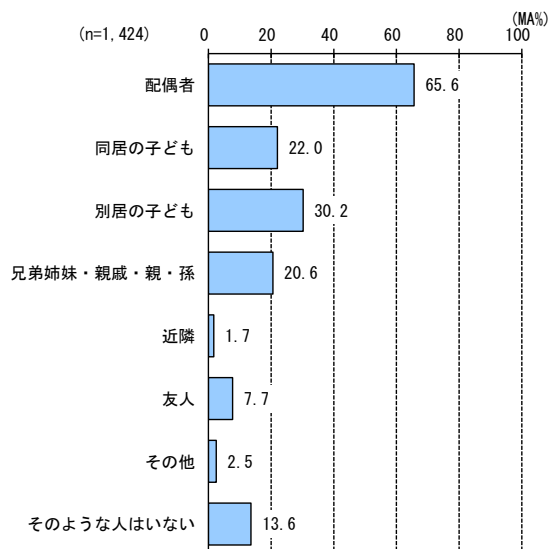
	母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
		配偶者	子ども同居のもの	子ども別居のもの	孫親兄弟・親戚・姉妹・...	近隣	友人	その他	人そのようないない	
全体	1,445	62.4	23.9	39.7	13.3	1.0	4.8	1.5	6.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	339	79.1	16.2	26.0	10.6	-	4.1	0.9	8.0
	後期高齢者	334	76.9	18.6	40.1	7.8	0.3	2.1	0.9	5.1
	女性 前期高齢者	395	59.0	28.6	45.8	17.5	1.5	7.6	2.5	5.6
	後期高齢者	377	38.2	30.8	45.1	16.2	1.9	5.0	1.6	8.5
圏域	北ブロック	445	62.7	21.6	43.6	11.9	1.1	4.9	1.3	5.8
	中ブロック	488	63.5	24.4	36.3	12.7	0.6	4.5	1.2	7.6
	南ブロック	512	61.1	25.6	39.5	15.0	1.2	5.1	2.0	6.8
認定該当状況	一般高齢者	1,315	65.4	23.9	38.6	13.5	0.8	5.1	1.3	6.2
	総合事業対象者	28	28.6	17.9	42.9	10.7	3.6	3.6	3.6	21.4
	要支援1・2	102	33.3	26.5	52.0	10.8	2.9	2.0	3.9	10.8
家族構成	1人暮らし	268	2.2	0.4	48.9	23.1	1.9	10.4	3.4	25.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	607	90.6	2.5	48.3	12.0	0.7	3.6	0.3	2.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	65	92.3	7.7	33.8	4.6	-	1.5	1.5	-
	息子・娘との2世帯	245	56.3	73.5	20.0	7.8	0.8	2.9	0.8	2.9
	その他	230	58.3	57.0	31.7	13.5	1.3	4.3	3.0	3.5

●問6-4 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも○）

【全体】

○ 反対に、看病や世話をしあける人について、「配偶者」が65.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が30.2%、「同居の子ども」が22.0%となっています。

【反対に、看病や世話をしあける人(MA)】



単位：%

	母数 (n)	反対に、看病や世話をしあける人(MA)								
		配 偶 者	子 同 居 の も の	子 別 居 の も の	孫 親 兄 弟 姉 妹 ・ ・ ・	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	
全体	1,424	65.6	22.0	30.2	20.6	1.7	7.7	2.5	13.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	338	78.4	17.8	24.6	18.0	1.2	3.8	1.8	11.2
	男性 後期高齢者	331	74.0	14.8	24.5	10.6	1.5	3.9	2.4	13.6
	女性 前期高齢者	395	66.3	29.1	42.3	32.4	2.0	12.7	1.8	9.1
	女性 後期高齢者	360	45.0	24.7	27.5	19.2	1.9	9.2	4.2	20.6
圏域	北ブロック	439	65.6	19.1	31.2	21.2	2.1	7.3	2.7	14.1
	中ブロック	476	67.0	24.2	29.6	21.4	1.1	8.0	2.3	11.8
	南ブロック	509	64.2	22.4	29.9	19.3	2.0	7.7	2.6	14.7
認定該当 状況	一般高齢者	1,299	68.7	22.9	31.6	21.9	1.8	8.2	1.7	11.1
	総合事業対象者	26	30.8	15.4	15.4	19.2	-	3.8	7.7	38.5
	要支援1・2	99	34.3	11.1	16.2	4.0	1.0	1.0	12.1	39.4
家族構成	1人暮らし	255	2.4	0.8	27.5	25.9	2.0	12.2	6.7	43.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	609	93.1	3.3	40.1	18.1	2.0	7.1	1.0	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	64	96.9	7.8	28.1	17.2	-	6.3	3.1	1.6
	息子・娘との2世帯	239	58.2	61.1	14.6	18.8	0.8	4.6	1.7	15.5
	その他	230	63.9	56.1	25.2	24.8	2.2	7.8	2.2	7.8

◆たすけあい合計点

●たすけあいの合計点

【全体】	○ たすけあいの合計点について、「4点」が78.8%で最も多く、次いで「3点」が11.8%、「2点」が5.3%となっています。
【性・年齢】	○ 「2点」は女性 後期高齢者が6.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	○ 「3点」は総合事業対象者が41.4%と他の区分に比べて多くなっています。 ○ 要介護度が高いほど「1点」が多くなる傾向がみられます。
【主観的健康感】	○ 健康観がよくないほど「4点」が少なくなる傾向がみられます。

【たすけあいの合計点】

単位：%

	母数 (n)	たすけあいの合計点					
		4 点	3 点	2 点	1 点	0 点	
全体	1,435	78.8	11.8	5.3	1.7	2.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	334	83.5	6.3	5.1	1.8	3.3
	後期高齢者	339	76.1	13.3	5.0	2.9	2.7
	女性 前期高齢者	390	85.4	9.0	4.4	0.5	0.8
	後期高齢者	372	70.2	18.5	6.7	1.9	2.7
圏域	北ブロック	444	78.2	13.1	6.1	0.7	2.0
	中ブロック	487	78.2	12.1	5.3	2.3	2.1
	南ブロック	504	80.0	10.5	4.6	2.2	2.8
認定該当 状況	一般高齢者	1,304	81.7	10.1	4.7	1.3	2.1
	総合事業対象者	29	37.9	41.4	13.8	3.4	3.4
	要支援1・2	102	52.9	25.5	10.8	6.9	3.9
家族構成	1人暮らし	260	46.5	25.4	13.8	5.0	9.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	611	90.2	6.7	2.5	0.3	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	65	89.2	4.6	4.6	1.5	-
	息子・娘との2世帯	242	76.9	15.3	5.0	2.1	0.8
	その他	228	86.0	7.5	3.9	0.9	1.8
主観的健康感	とてもよい	126	86.5	6.3	4.0	0.8	2.4
	まあよい	992	82.2	10.7	5.0	0.9	1.2
	あまりよくない	251	66.5	17.9	5.6	4.4	5.6
	よくない	42	59.5	16.7	11.9	4.8	7.1
幸福感	とても幸せ(10点)	195	81.5	12.3	4.1	1.0	1.0
	幸せ(7~9点)	669	87.1	9.7	2.2	0.6	0.3
	ふつう(4~6点)	478	71.1	13.4	8.4	3.3	3.8
	不幸(1~3点)	56	42.9	23.2	17.9	1.8	14.3
	とても不幸(0点)	6	50.0	-	50.0	-	-

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「医師・歯科医師・看護師」が 28.8%、「地域包括支援センター・役所・役場」が 10.5%となっています。

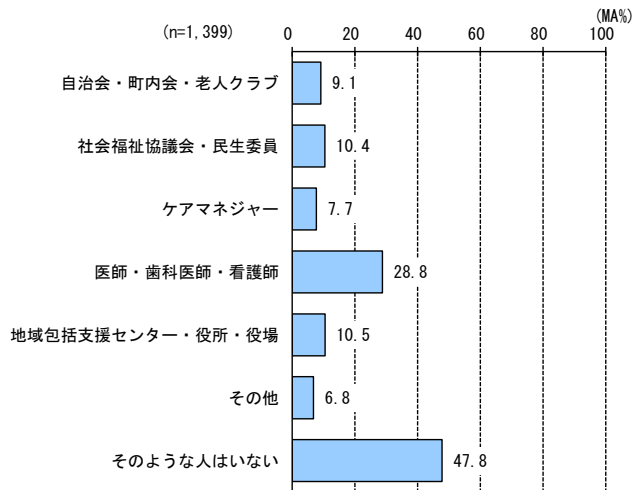
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は総合事業対象者が 34.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「ケアマネジャー」が多くなる傾向がみられます。
- 要介護度が高いほど「そのような人はいない」が少なくなる傾向がみられます。

【何かあったときの相談相手 (MA)】



単位：%

	母数 (n)	何かあったときの相談相手 (MA)							
		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	
全体	1,399	9.1	10.4	7.7	28.8	10.5	6.8	47.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	336	8.6	4.2	4.2	28.0	6.8	8.9	53.3
	男性 後期高齢者	327	13.5	15.6	7.6	30.6	11.9	6.1	42.2
	女性 前期高齢者	382	5.2	6.8	6.0	26.2	10.7	5.5	55.0
	女性 後期高齢者	354	9.9	15.5	13.0	30.8	12.4	6.8	40.1
圏域	北ブロック	427	11.5	8.7	7.3	26.5	11.5	5.9	49.6
	中ブロック	473	8.0	10.4	7.0	28.3	10.6	7.2	46.5
	南ブロック	499	8.2	12.0	8.8	31.3	9.6	7.2	47.5
認定該当状況	一般高齢者	1,269	9.7	9.7	4.6	28.7	9.6	7.0	49.8
	総合事業対象者	26	7.7	34.6	19.2	19.2	26.9	7.7	30.8
	要支援1・2	104	2.9	13.5	43.3	32.7	17.3	3.8	27.9
家族構成	1人暮らし	260	6.9	16.5	8.8	24.6	11.5	7.7	48.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	587	10.4	11.1	7.5	28.3	11.6	5.1	48.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	60	5.0	3.3	5.0	40.0	3.3	10.0	48.3
	息子・娘との2世帯	234	10.3	4.7	6.8	34.6	8.5	5.1	45.3
	その他	232	8.2	9.9	7.3	26.7	11.2	10.8	47.8

(3) 友人・知人との関係性

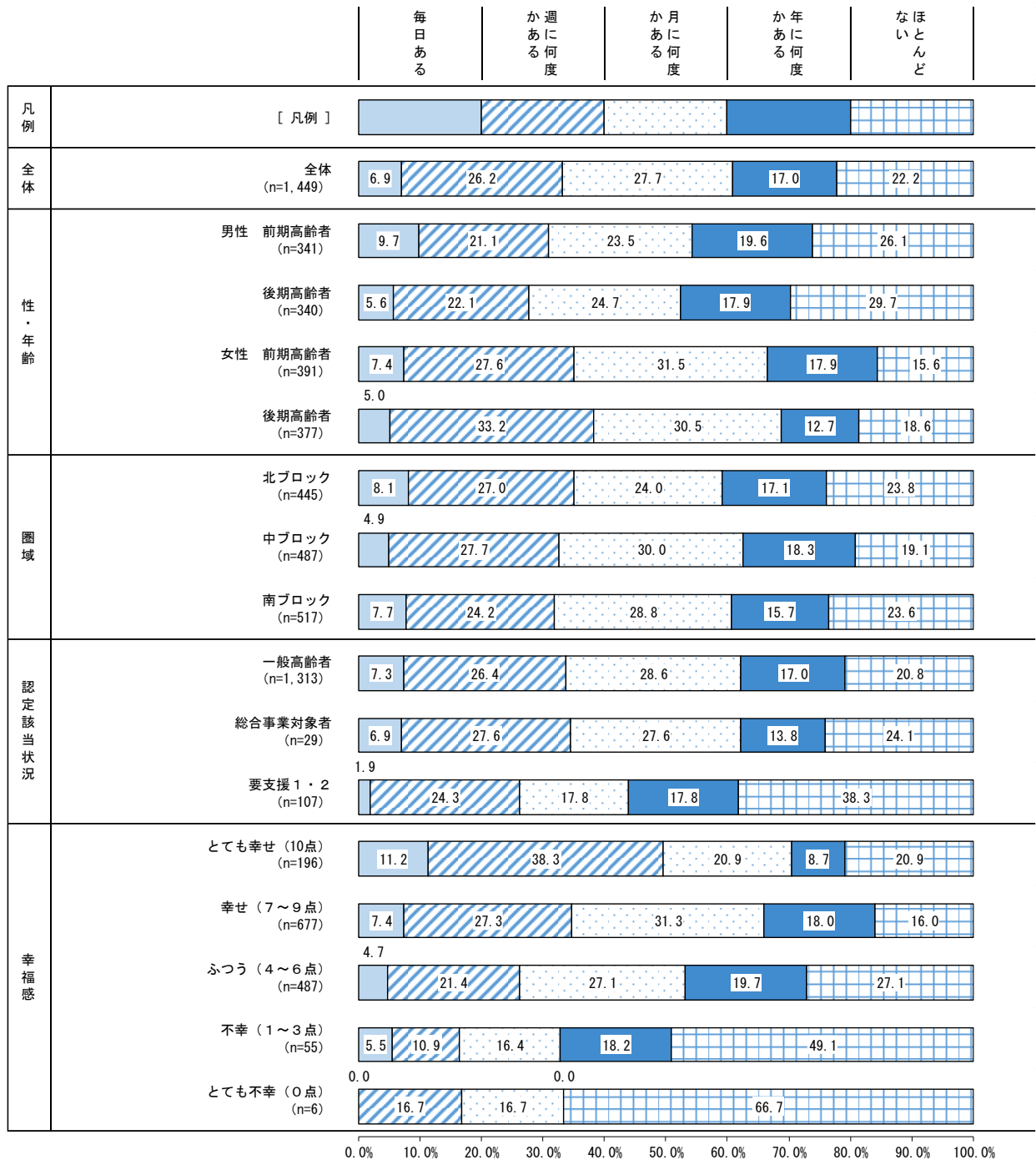
●問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が27.7%で最も多く、次いで「週に何度かある」が26.2%、「ほとんどない」が22.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほとんどない」が多くなっています。

【幸福感】
 ○ 幸福感が高いほど、友人・知人と会う頻度が多くなる傾向が見られます。

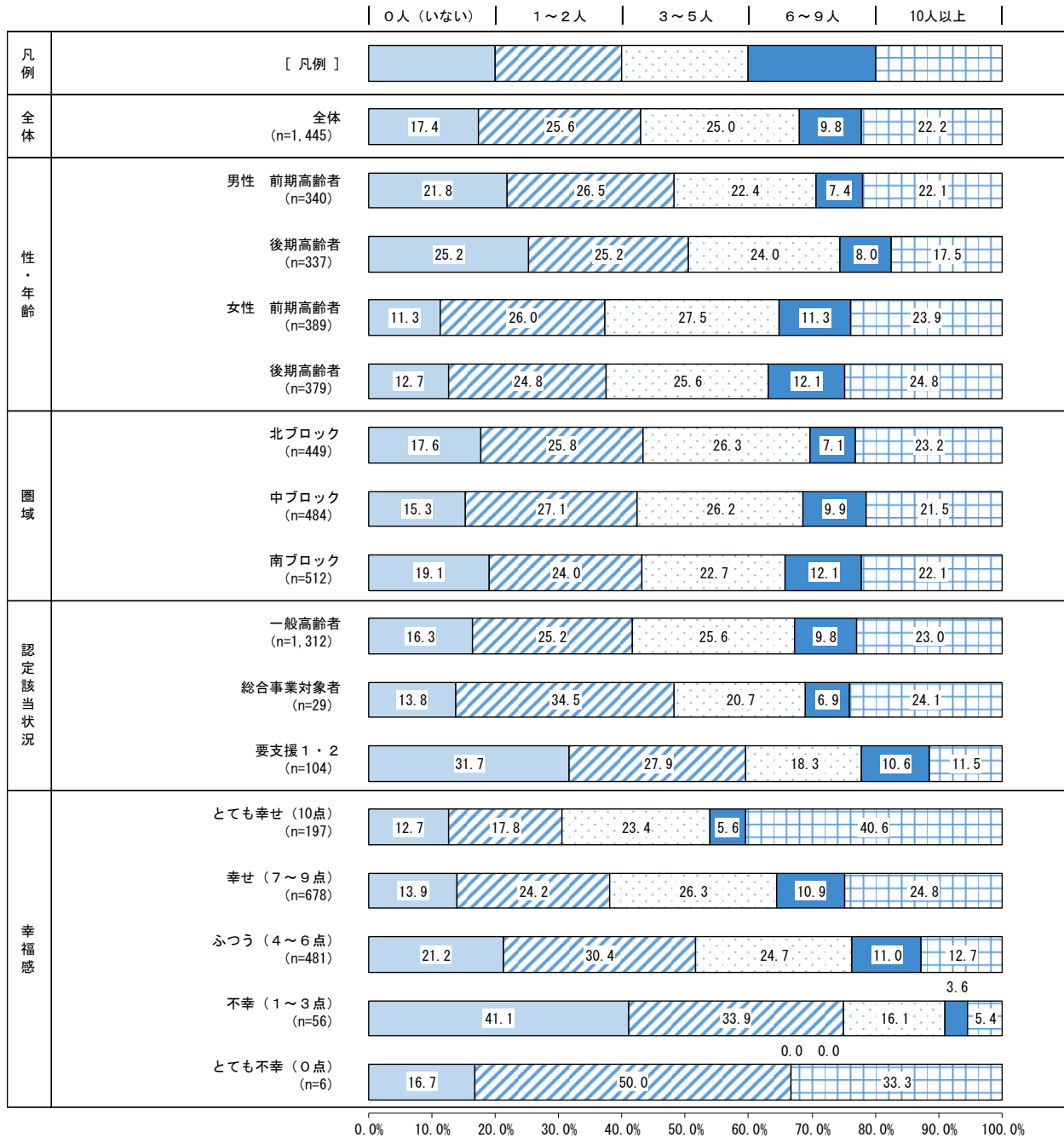
【友人・知人と会う頻度】



●問6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「1～2人」が25.6%で最も多く、次いで「3～5人」が25.0%、「10人以上」が22.2%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「0人(いない)」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「0人(いない)」は要支援1・2が31.7%と他の区分に比べて多くなっています。

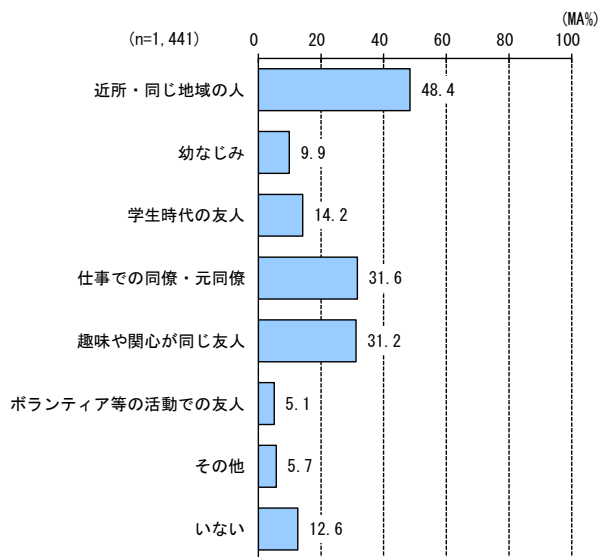
【この1か月間で会った友人・知人の数】



●問6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

【全体】
 ○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が48.4%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が31.6%、「趣味や関心が同じ友人」が31.2%となっています。
【認定該当状況】
 ○ 「いない」は要支援1・2が28.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【よく会う友人・知人との関係(MA)】



単位：%

		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)							
			域 近 の 所 人 ・ 同 じ 地	幼 な じ み	人 学 生 時 代 の 友	僚 仕 ・ 事 元 で 同 僚	同 趣 味 や 関 心 が	友 等 ボ ラ ン テ ィ ア の 活 動 で の	そ の 他	い な い
全体		1,441	48.4	9.9	14.2	31.6	31.2	5.1	5.7	12.6
性・年齢	男性 前期高齢者	339	29.5	10.3	15.3	45.1	26.0	5.6	4.7	15.0
	後期高齢者	337	44.5	10.1	9.5	25.2	30.9	5.9	5.9	17.8
	女性 前期高齢者	388	53.9	11.3	20.6	38.4	36.1	4.4	5.4	6.7
	後期高齢者	377	63.1	7.7	10.6	18.3	31.0	4.8	6.6	11.7
圏域	北ブロック	447	49.7	9.4	14.8	30.2	30.4	6.0	5.6	12.3
	中ブロック	484	47.7	11.0	13.6	31.4	32.2	3.7	7.0	11.2
	南ブロック	510	47.8	9.2	14.1	33.1	30.8	5.7	4.5	14.1
認定該当 状況	一般高齢者	1,306	47.9	10.0	14.9	33.8	32.9	4.8	5.4	11.3
	総合事業対象者	30	63.3	10.0	3.3	6.7	33.3	13.3	3.3	10.0
	要支援1・2	105	50.5	8.6	8.6	11.4	8.6	6.7	9.5	28.6
家族構成	1人暮らし	266	48.5	8.6	11.3	29.7	28.2	5.3	7.5	11.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	606	50.7	12.0	15.3	32.0	33.7	6.4	5.1	12.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	64	34.4	6.3	15.6	46.9	35.9	1.6	3.1	7.8
	息子・娘との2世帯	241	48.1	8.3	14.5	27.0	29.0	3.7	5.0	14.5
	その他	233	47.2	8.2	15.0	35.6	29.2	4.7	7.3	12.4

問7 健康について

(1) 健康状態

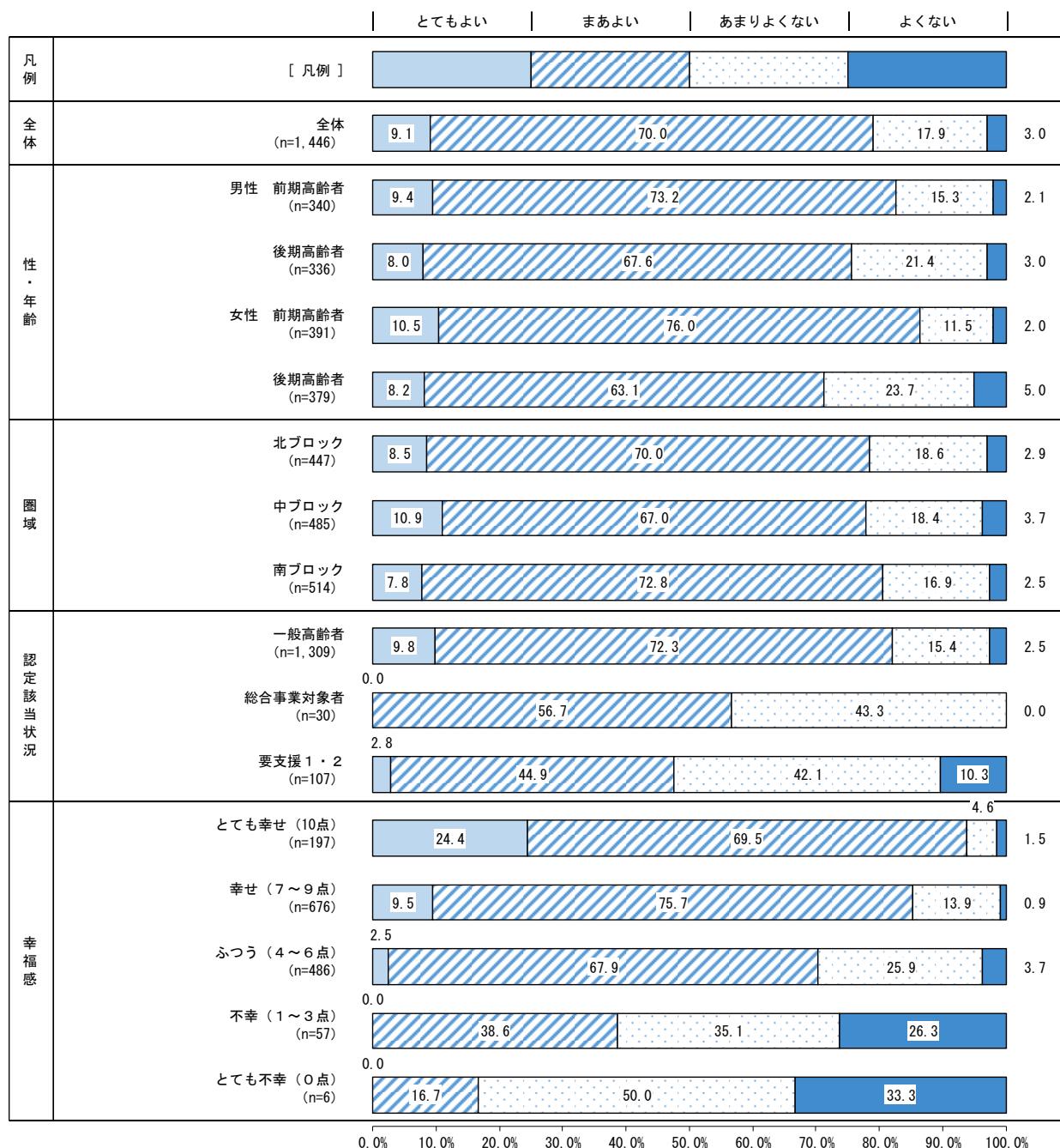
① 主観的な健康感

●問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 主観的健康感について、「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は79.1%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は20.9%となっています。

【幸福感】
 ○ 幸福感が低いほど「とてもよい」が少なくなる傾向がみられます。

【主観的健康感】



② こころの健康

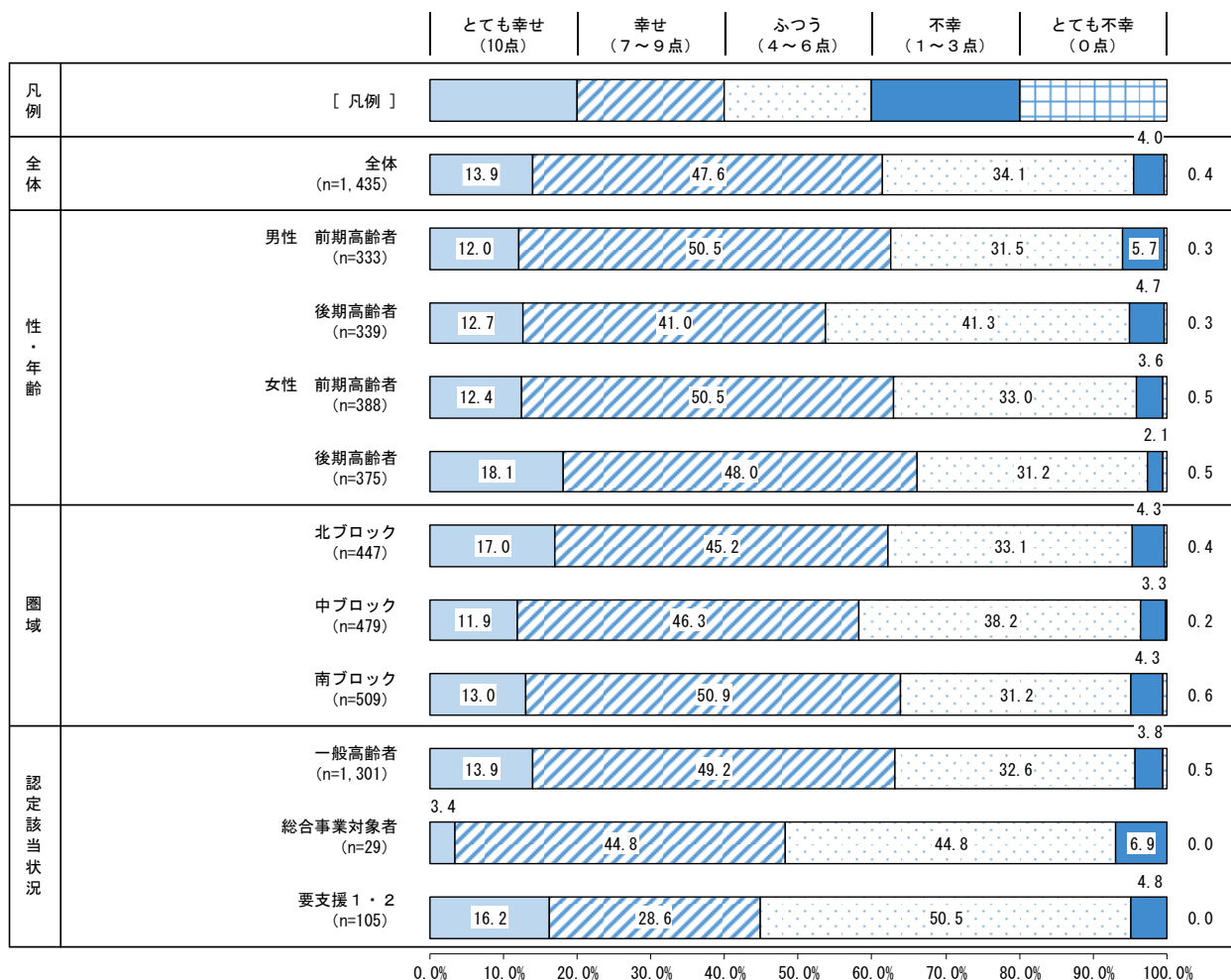
●問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

【全体】

○ 幸福感について、「幸せ(7~9点)」が47.6%で最も多く、次いで「ふつう(4~6点)」が34.1%、「とても幸せ(10点)」が13.9%となっています。

【幸福感】

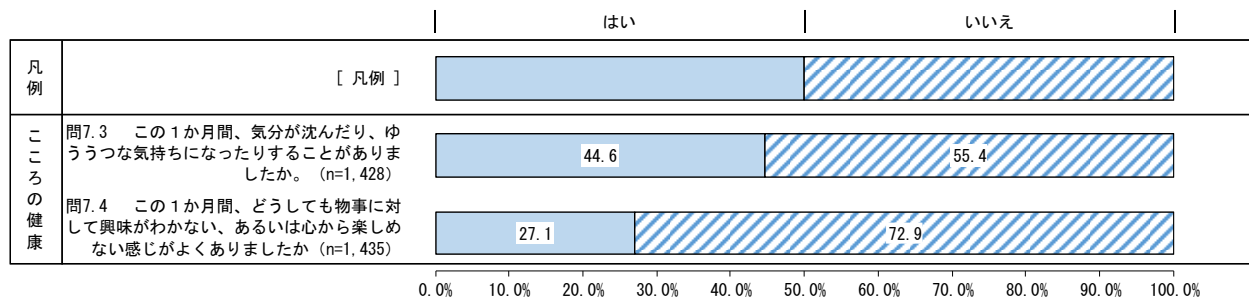


- 問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)
- 問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つだけ○)

【問 7-3 全体】
 ○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が44.6%、「いいえ」が55.4%となっています。

【問 7-4 全体】
 ○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が27.1%、「いいえ」が72.9%となっています。

【問 7-3、7-4】

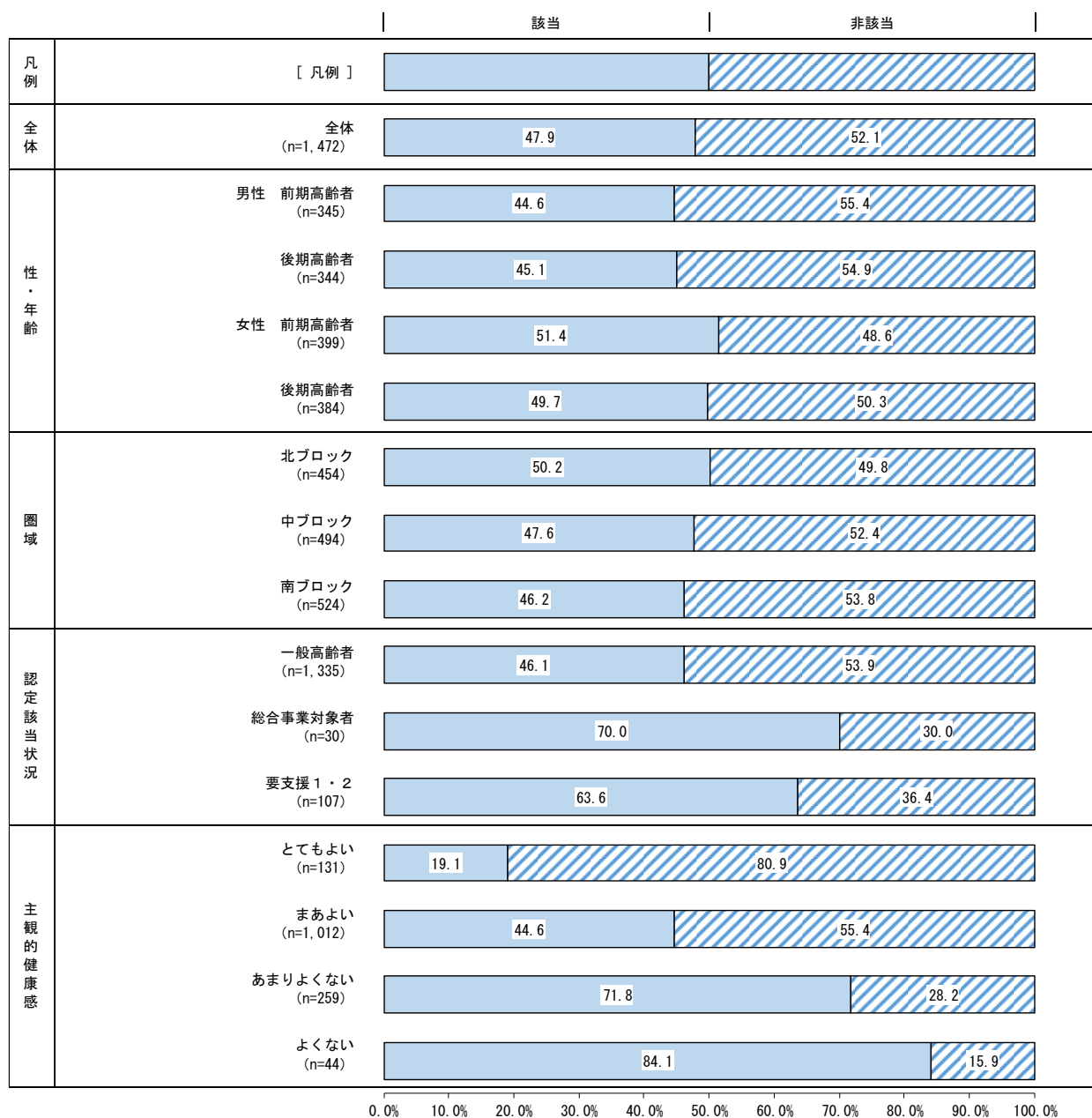


◆うつ病のリスクの判定

● うつ病のリスク

- 【全体】**
○ うつ病のリスクについて、「該当」が47.9%、「非該当」が52.1%となっています。
- 【性・年齢】**
○ 「該当」は女性 前期高齢者が51.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**
○ 「該当」は北ブロックが50.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
○ 「該当」は総合事業対象者が70.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【主観的健康感】**
○ 健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【うつ病のリスク】



(2) 飲酒・喫煙

●問7-5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

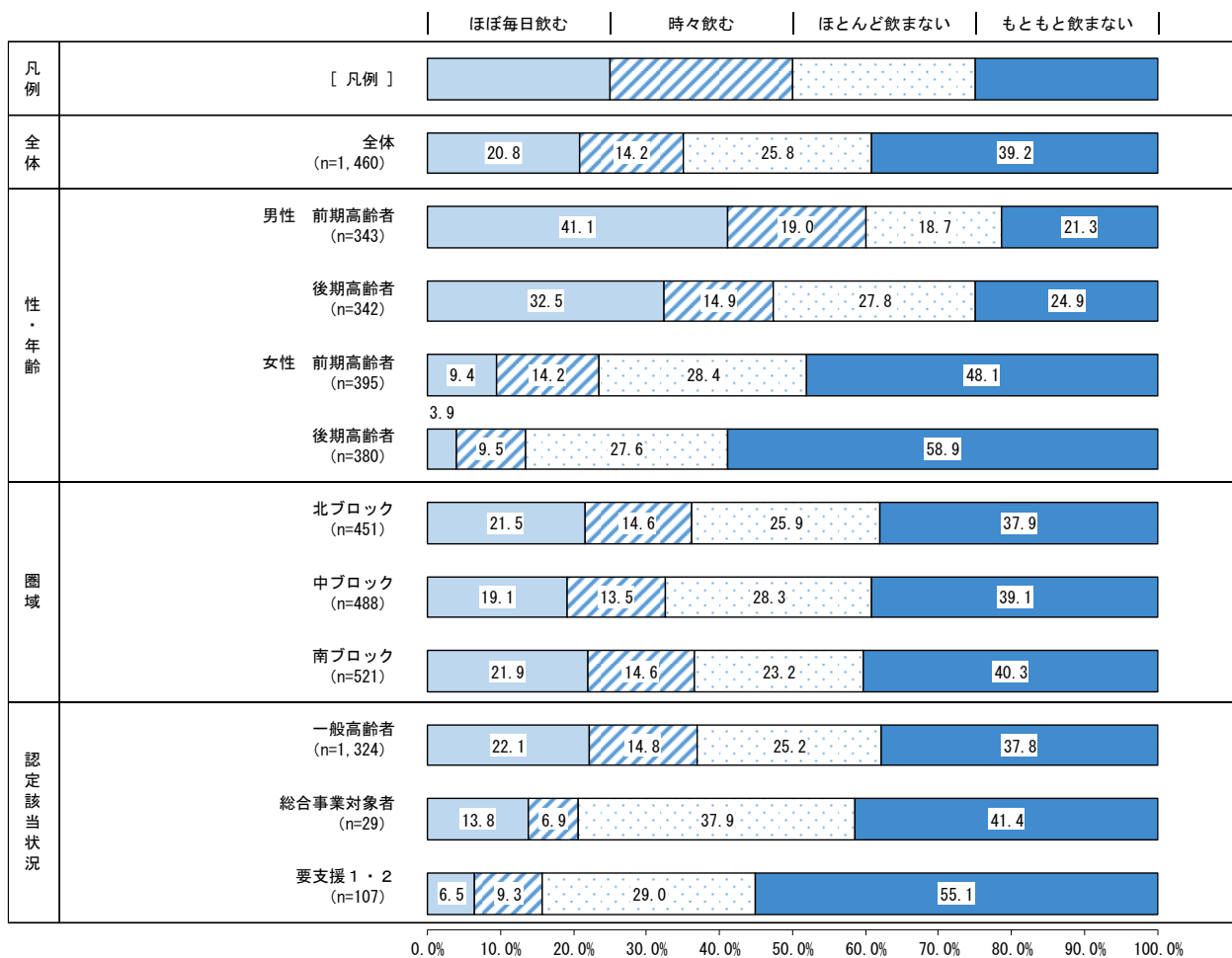
【全体】
 ○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が39.2%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.8%、「ほぼ毎日飲む」が20.8%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 中ブロックでは「ほぼ毎日飲む」が19.1%、「時々飲む」が13.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要介護度が高いほど「ほぼ毎日飲む」が少なくなる傾向がみられます。

【飲酒の状況】

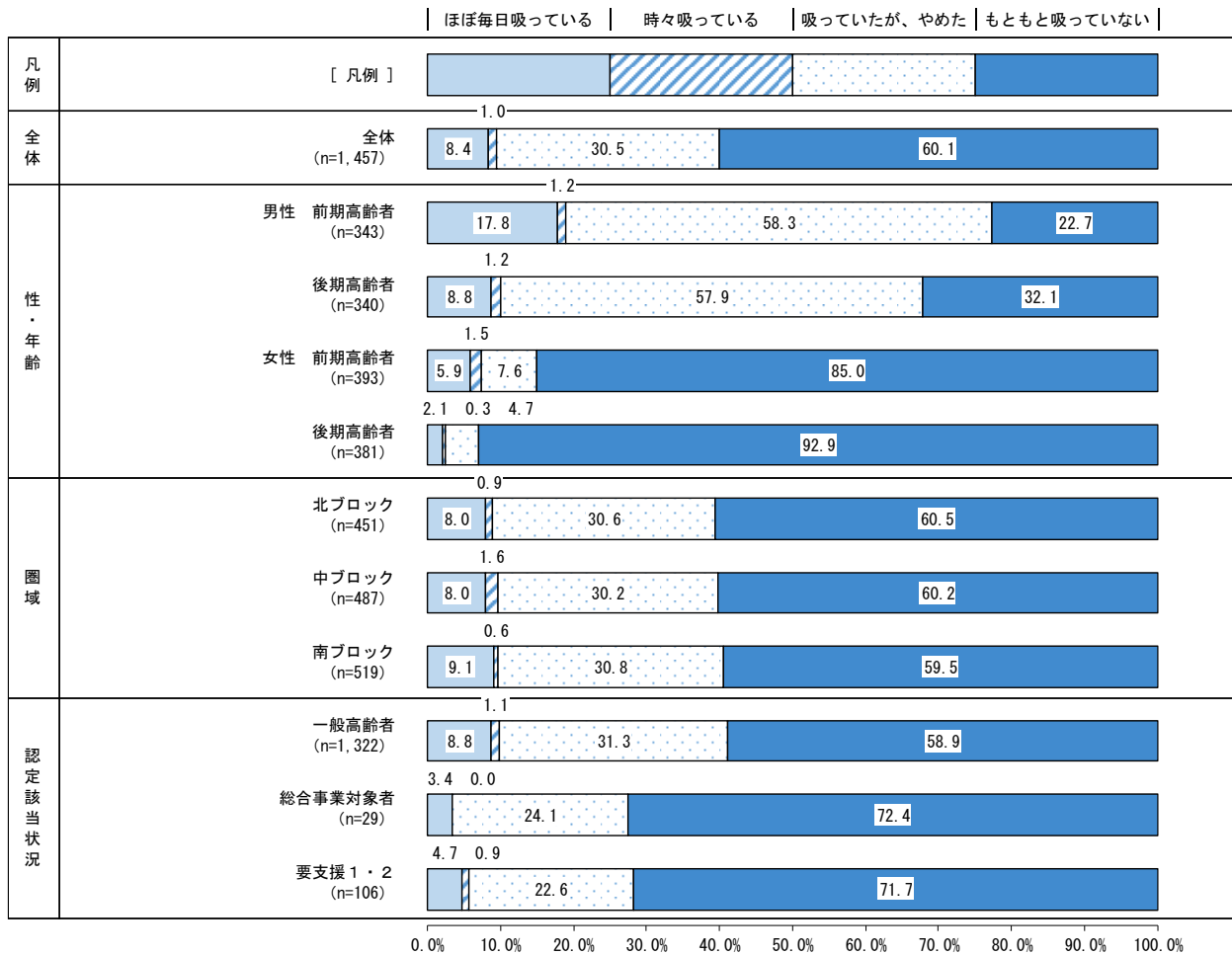


●問7-6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が60.1%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が30.5%、「ほぼ毎日吸っている」が8.4%となっています。

【喫煙の状況】

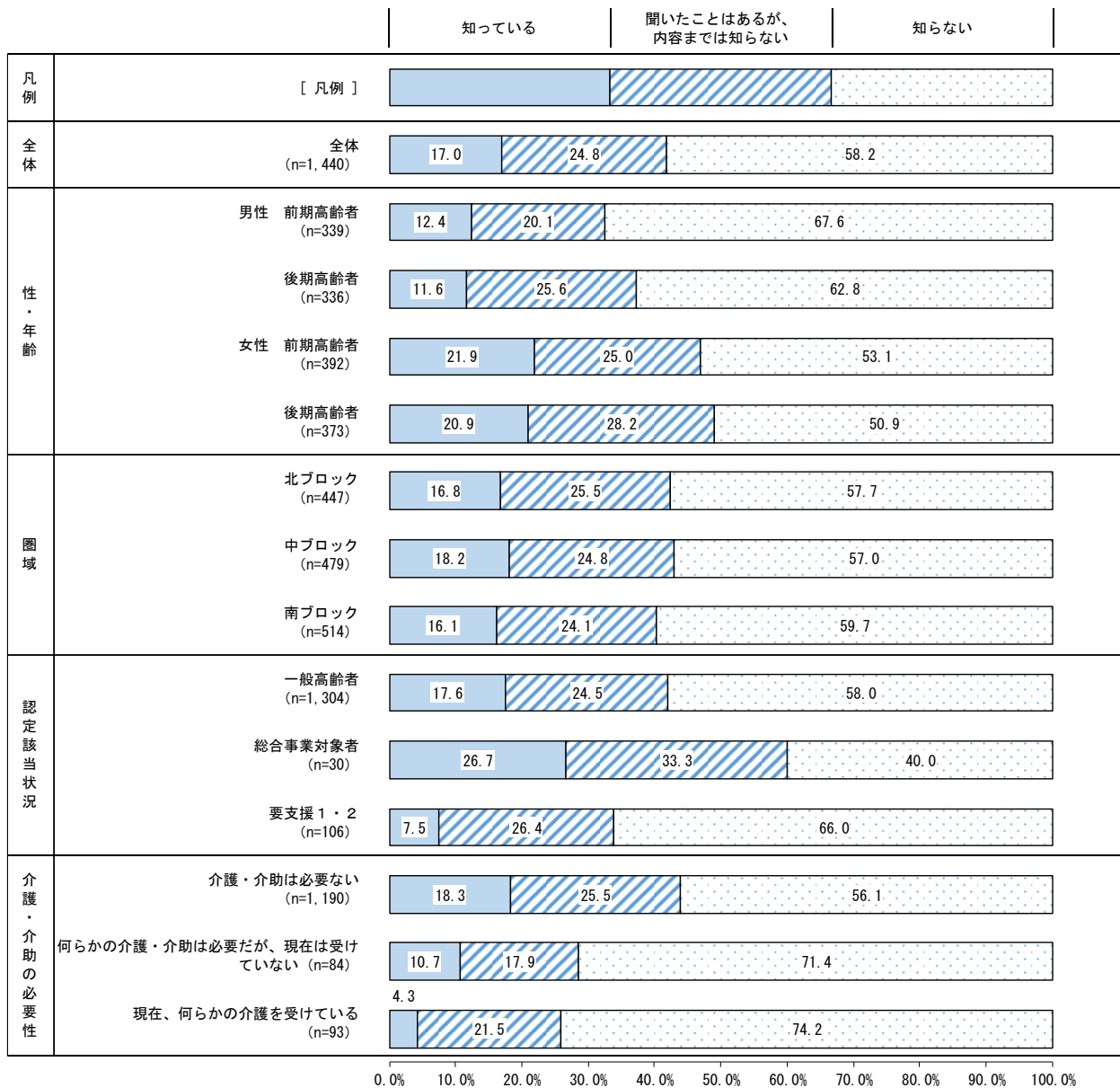


(3) フレイルに対する認識

●問7-7 フレイル（虚弱）やフレイル予防という言葉を知っていますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ フレイル・フレイル予防の認知度について、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が24.8%、「知っている」が17.0%となっています。

【フレイル・フレイル予防の認知度】

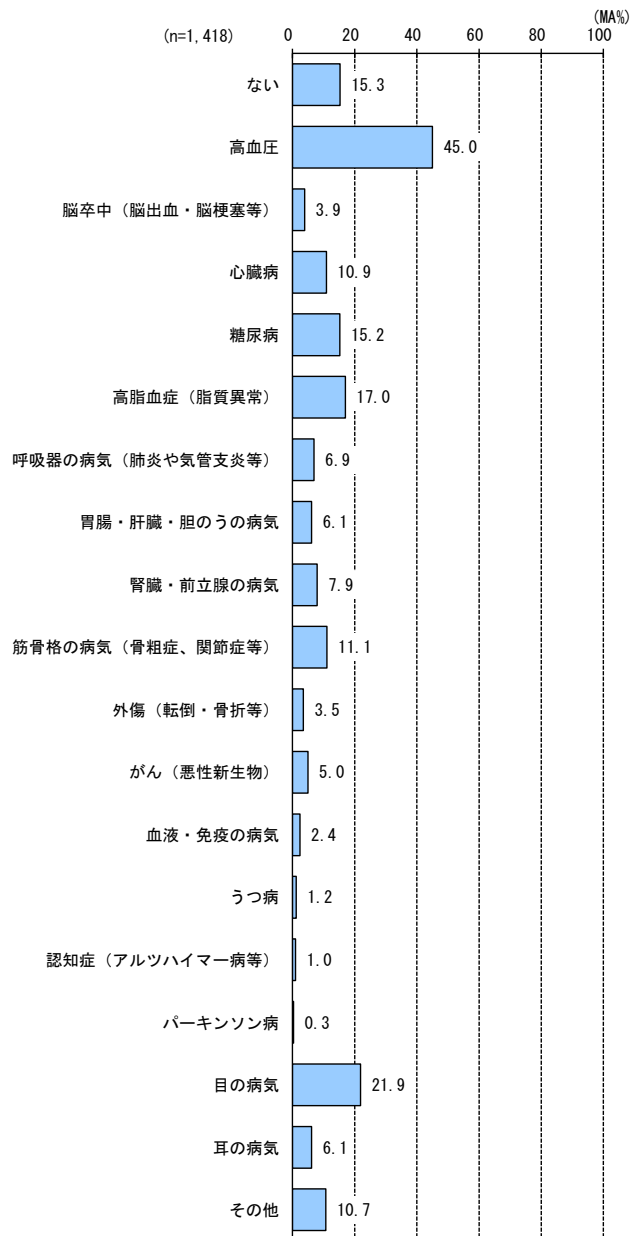


(4) 病気の状況

●問7-8 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が45.0%で最も多く、次いで「目の病気」が21.9%、「高脂血症（脂質異常）」が17.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「高脂血症（脂質異常）」が多くなっています。
 ○ 「うつ病」は女性 後期高齢者が2.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 中ブロックでは、「高血圧」が43.6%で最も多く、次いで「目の病気」が21.4%、「ない」が17.6%となっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「心臓病」は要支援1・2が26.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		ない	高血圧	血脳卒中(脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	異常高脂血症(脂質)	炎症(肺炎や気管支等)	呼吸器の病気のうの病気	胃腸・肝臓・胆	腎臓・前立腺の病気	症(骨格粗症、病関節等)
全体	1,418	15.3	45.0	3.9	10.9	15.2	17.0	6.9	6.1	7.9	11.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	334	17.7	42.5	4.8	12.6	19.8	17.1	5.1	7.8	9.6	4.2
	後期高齢者	332	8.7	49.4	6.9	19.9	18.7	8.1	12.0	7.2	18.4	3.0
	女性 前期高齢者	379	23.2	36.1	1.6	3.2	12.4	23.2	4.7	4.5	1.6	13.7
	後期高齢者	373	11.0	52.3	2.9	9.1	11.0	18.5	6.2	5.4	3.5	22.0
圏域	北ブロック	438	13.9	45.2	5.0	10.5	15.5	16.9	7.5	5.9	10.0	9.8
	中ブロック	472	17.6	43.6	3.4	10.2	14.4	16.5	6.4	6.4	6.1	11.0
	南ブロック	508	14.4	46.1	3.5	11.8	15.7	17.5	6.9	6.1	7.7	12.4
認定該当状況	一般高齢者	1,283	16.8	44.3	3.4	9.4	14.7	17.4	6.7	6.0	7.5	10.1
	総合事業対象者	30	-	50.0	13.3	16.7	16.7	13.3	3.3	10.0	13.3	23.3
	要支援1・2	105	1.9	51.4	8.6	26.7	21.0	13.3	10.5	6.7	11.4	20.0

単位：％

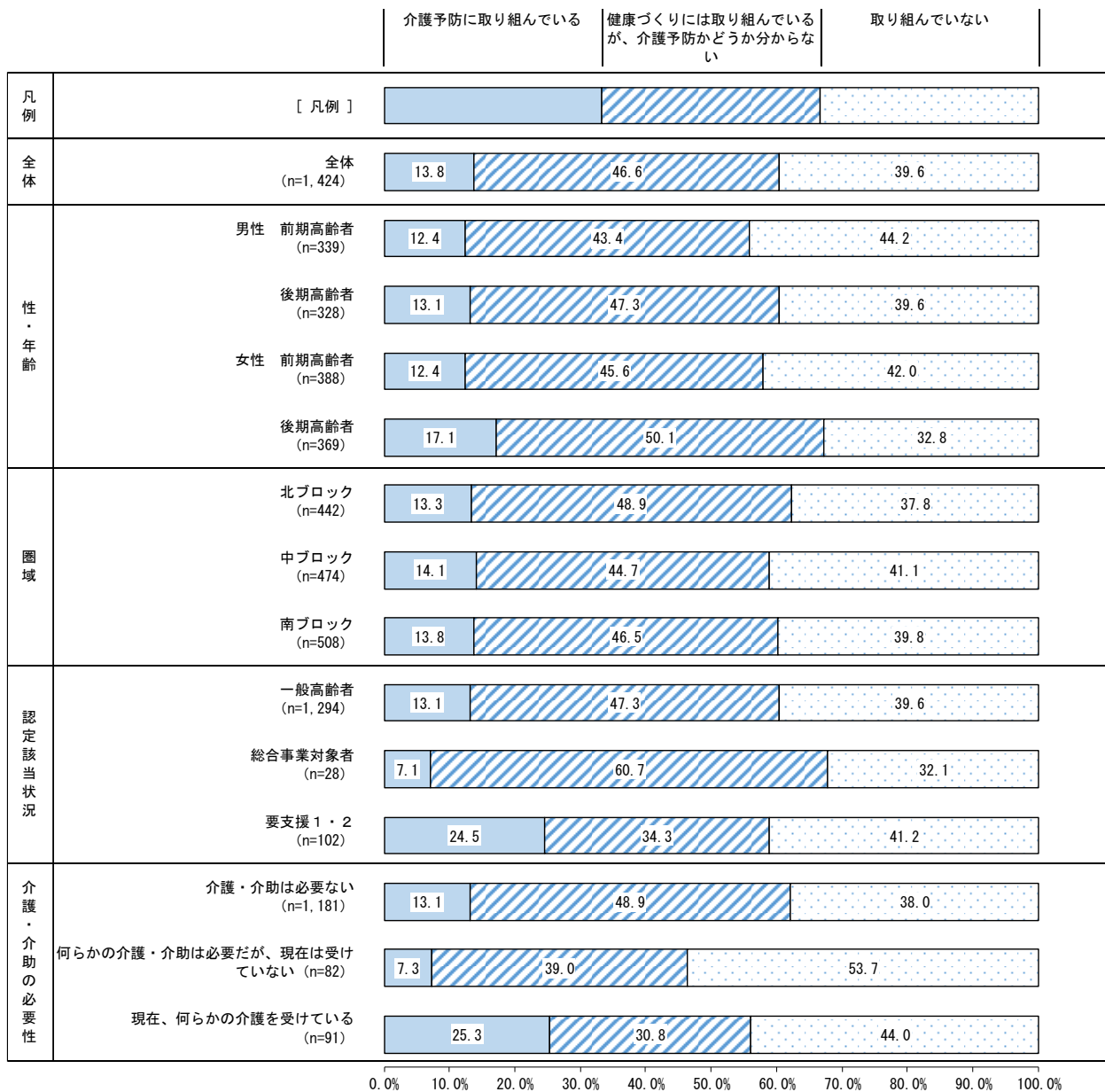
	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
		折外傷(転倒・骨)	がん(悪性新生)	気血液・免疫の病	うつ病	ハ知症(アルツ)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	
全体	1,418	3.5	5.0	2.4	1.2	1.0	0.3	21.9	6.1	10.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	334	1.5	4.5	3.0	0.6	-	-	17.1	5.7	10.5
	後期高齢者	332	3.0	6.6	1.5	0.6	1.2	0.9	25.9	8.4	11.1
	女性 前期高齢者	379	2.9	3.2	2.4	1.3	0.5	0.3	21.1	4.0	10.3
	後期高齢者	373	6.2	5.9	2.7	2.1	2.1	-	23.3	6.7	11.0
圏域	北ブロック	438	4.6	5.7	2.1	0.7	1.6	0.5	20.5	5.3	12.3
	中ブロック	472	3.2	4.7	2.5	1.3	0.6	-	21.4	5.5	10.0
	南ブロック	508	2.8	4.7	2.6	1.6	0.8	0.4	23.4	7.5	10.0
認定該当状況	一般高齢者	1,283	2.8	4.6	2.3	0.9	0.6	0.2	21.3	5.7	10.4
	総合事業対象者	30	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	-	33.3	3.3	13.3
	要支援1・2	105	11.4	10.5	3.8	3.8	4.8	1.9	25.7	12.4	13.3

(5) 介護予防の取り組みについて

- 問7-9 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないように予防することを「介護予防」といいますが、あなたは「介護予防」に取り組んでいますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 介護予防に取り組んでいるかについて、「健康づくりには取り組んでいるが、介護予防かどうか分からない」が 46.6%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が 39.6%、「介護予防に取り組んでいる」が 13.8%となっています。

【介護予防に取り組んでいるか】



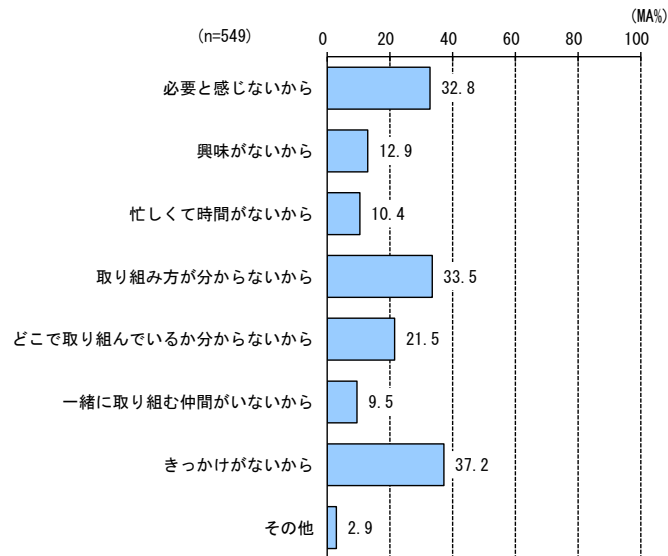
【問7-9で、「3. 取り組んでいない」を選んだ人のみ回答】

●問7-9-① 「介護予防」に取り組んでいない理由は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 介護予防に取り組んでいない理由について、「きっかけがないから」が37.2%で最も多く、次いで「取り組み方が分からないから」が33.5%、「必要と感じないから」が32.8%となっています。

【介護予防に取り組んでいない理由 (MA)】



問8 在宅医療や認知症対策について

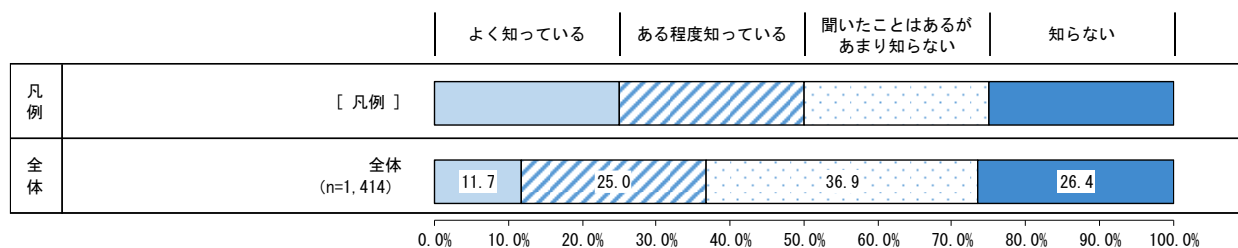
(1) 在宅医療や看取りについて

① 終末期の在宅生活継続について

- 問8-1 通院が困難な方へ医師が診療計画を立て、定期的な診療を行う「訪問診療」という制度を知っていますか。(急病になったときに医師に来てもらう「往診」とは別です。)(1つだけ○)

【全体】
 ○ 訪問診療の認知度について、「聞いたことはあるがあまり知らない」が36.9%で最も多く、次いで「知らない」が26.4%、「ある程度知っている」が25.0%となっています。

【訪問診療の認知度】

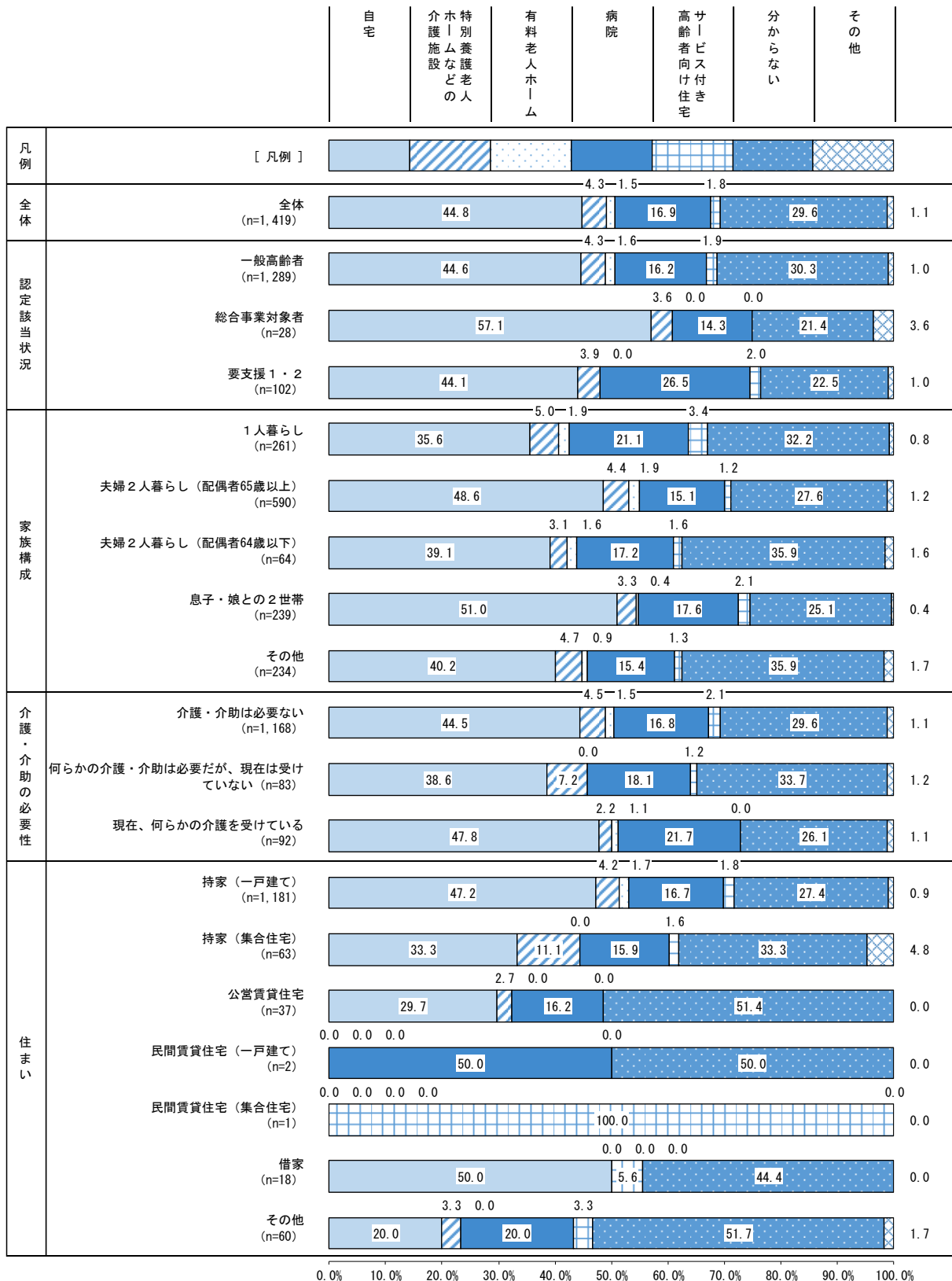


●問8-2 人生の最期を迎えるとき、あなたはどこでの看取りを希望しますか。

(1つだけ○)

【全体】
 ○ 人生の最期を迎えるときに希望する場所について、「自宅」が44.8%で最も多く、次いで「分からない」が29.6%、「病院」が16.9%となっています。

【人生の最期を迎えるときに希望する場所】

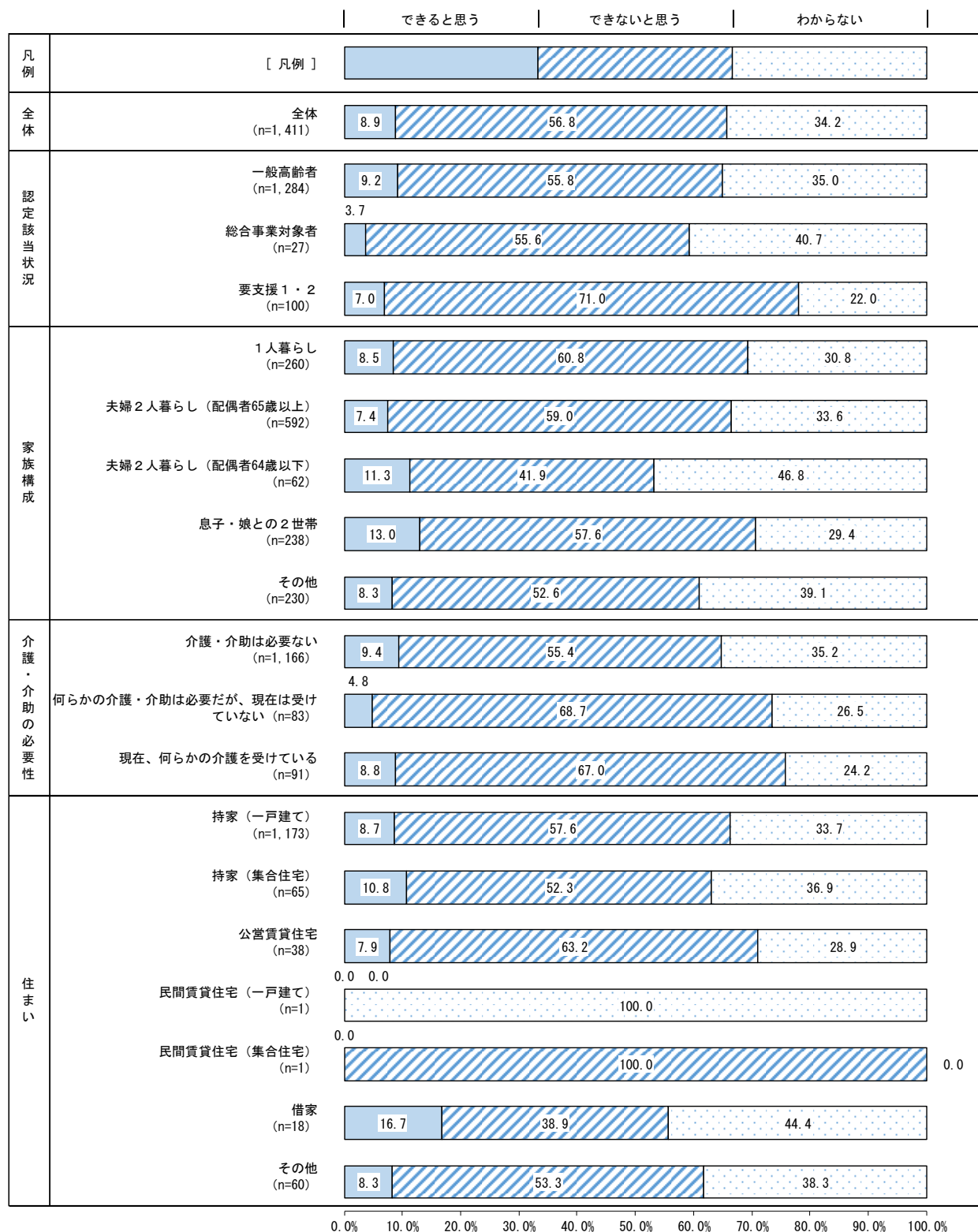


- 問8-3 あなた、またはあなたのご家族が介護を必要とし、さらに、治る見込みのない病気になった場合、自宅で最期まで療養することができますか。
(1つだけ○)

【全体】

○ 自宅で療養しながら最後まで過ごすことができると思うかについて、「できないと思う」が56.8%で最も多く、次いで「わからない」が34.2%、「できると思う」が8.9%となっています。

【自宅で療養しながら最後まで過ごすことができると思うか】



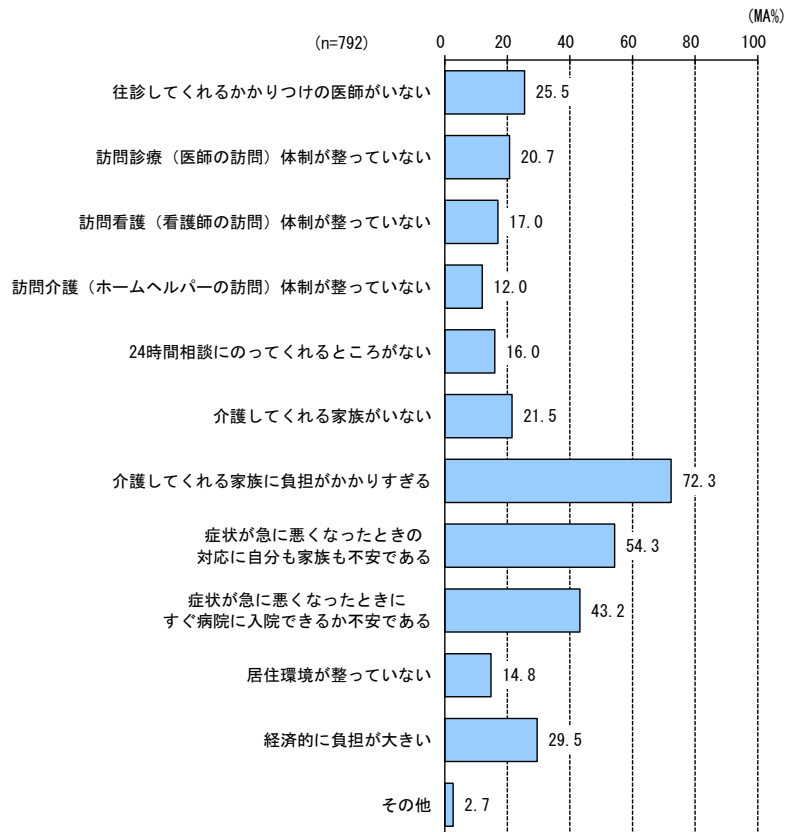
【問8-3で、「2. できないと思う」を選んだ人のみ回答】

- 問8-3-① 自宅で最期まで療養することができないと思う理由をお答えください。
(いくつでも○)

【全体】

- 自宅で療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由について、「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が72.3%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」が54.3%、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」が43.2%となっています。

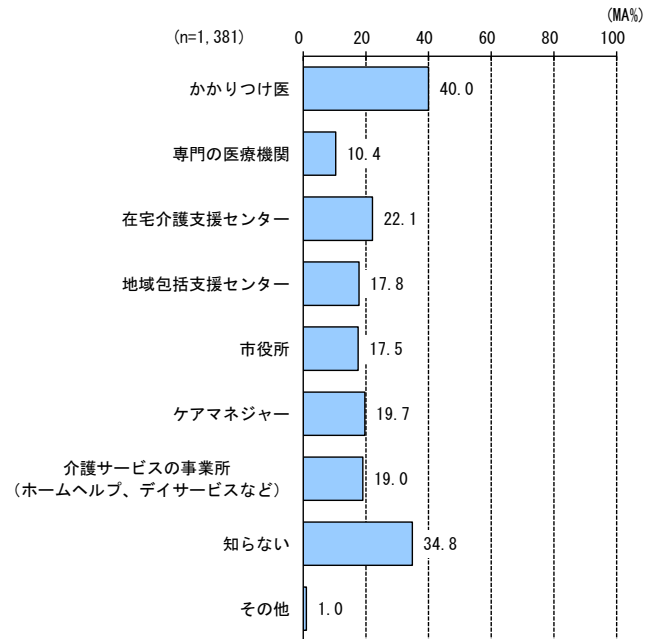
【自宅で療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由(MA)】



- 問8-4 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 在宅医療に関する相談窓口で知っているものについて、「かかりつけ医」が40.0%で最も多く、次いで「知らない」が34.8%、「在宅介護支援センター」が22.1%となっています。

【在宅医療に関する相談窓口で知っているもの(MA)】



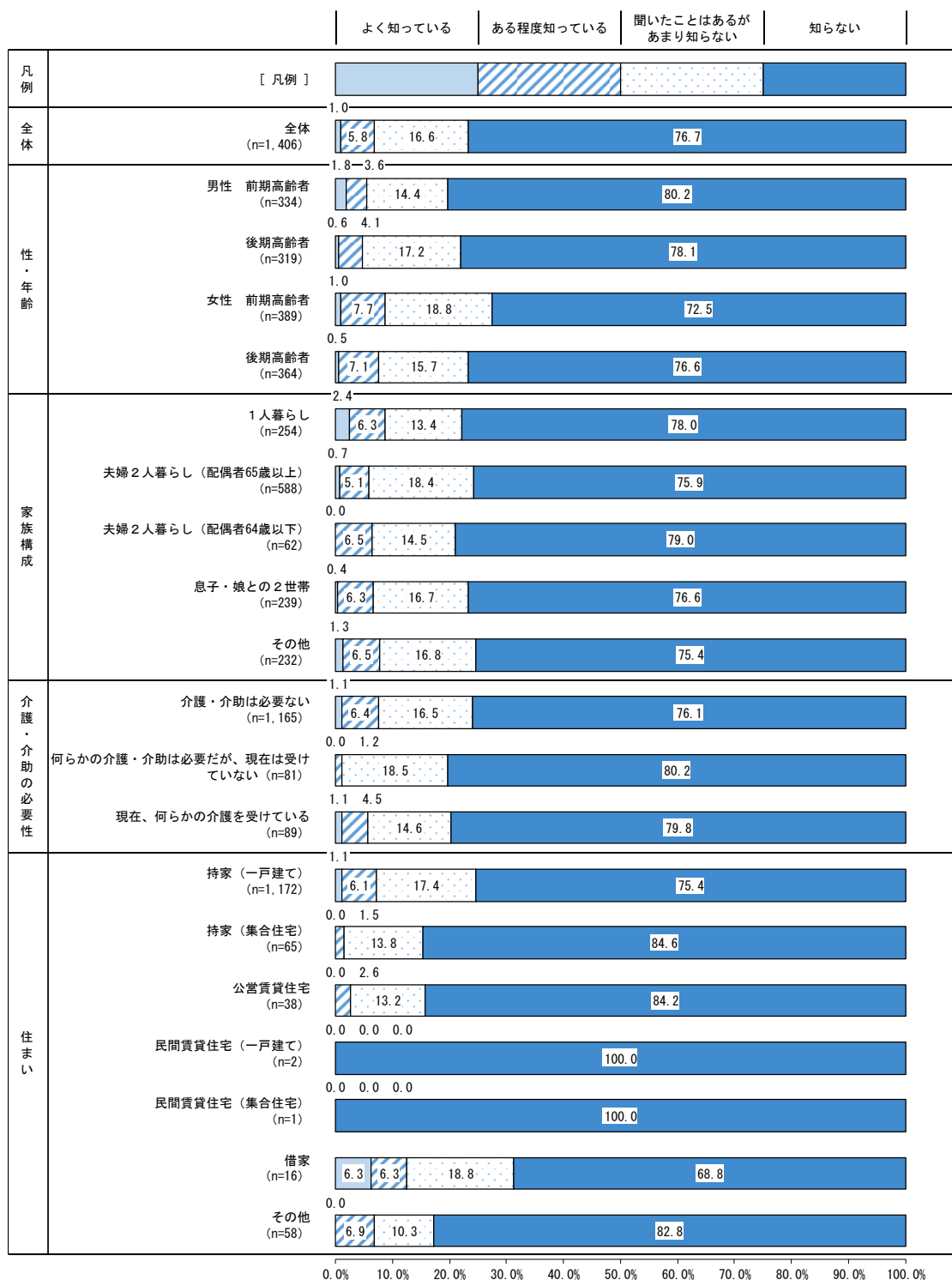
② 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

- 問8-5 もしものときのために、ご本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」のことを知っていますか。（1つだけ○）

【全体】

○ 人生会議（ACP）の認知度について、「知らない」が76.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるがあまり知らない」が16.6%、「ある程度知っている」が5.8%となっています。

【人生会議（ACP）の認知度】



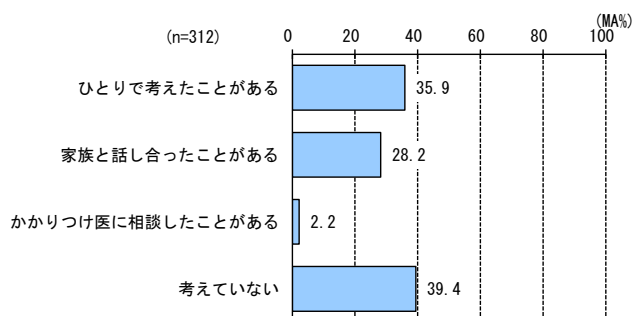
【問8-5で、「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」「3. 聞いたことはあるがあまり知らない」を選んだ人のみ回答】

- 問8-5-① あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」について、どの程度考えていますか。（いくつでも○）

【全体】

○ 人生会議（ACP）の検討度合について、「考えていない」が 39.4%で最も多く、次いで「ひとりで考えたことがある」が 35.9%、「家族と話し合ったことがある」が 28.2%となっています。

【人生会議（ACP）の検討度合（MA）】



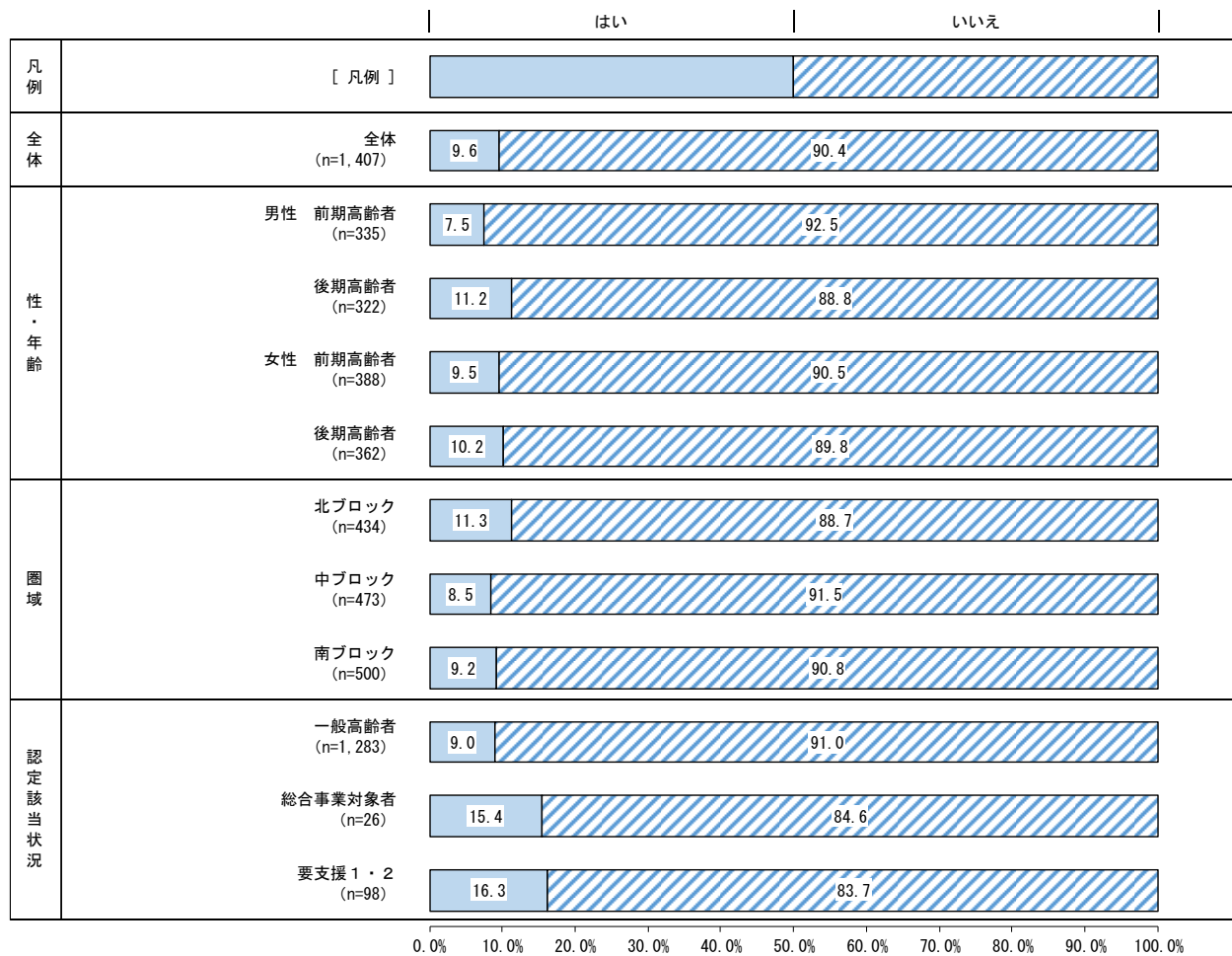
(2) 認知症にかかる地域の状況について

① 認知症の症状の有無

●問8-6 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が 9.6%、「いいえ」が 90.4%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 後期高齢者が 11.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は北ブロックが 11.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【自身や家族の認知症の症状有無】

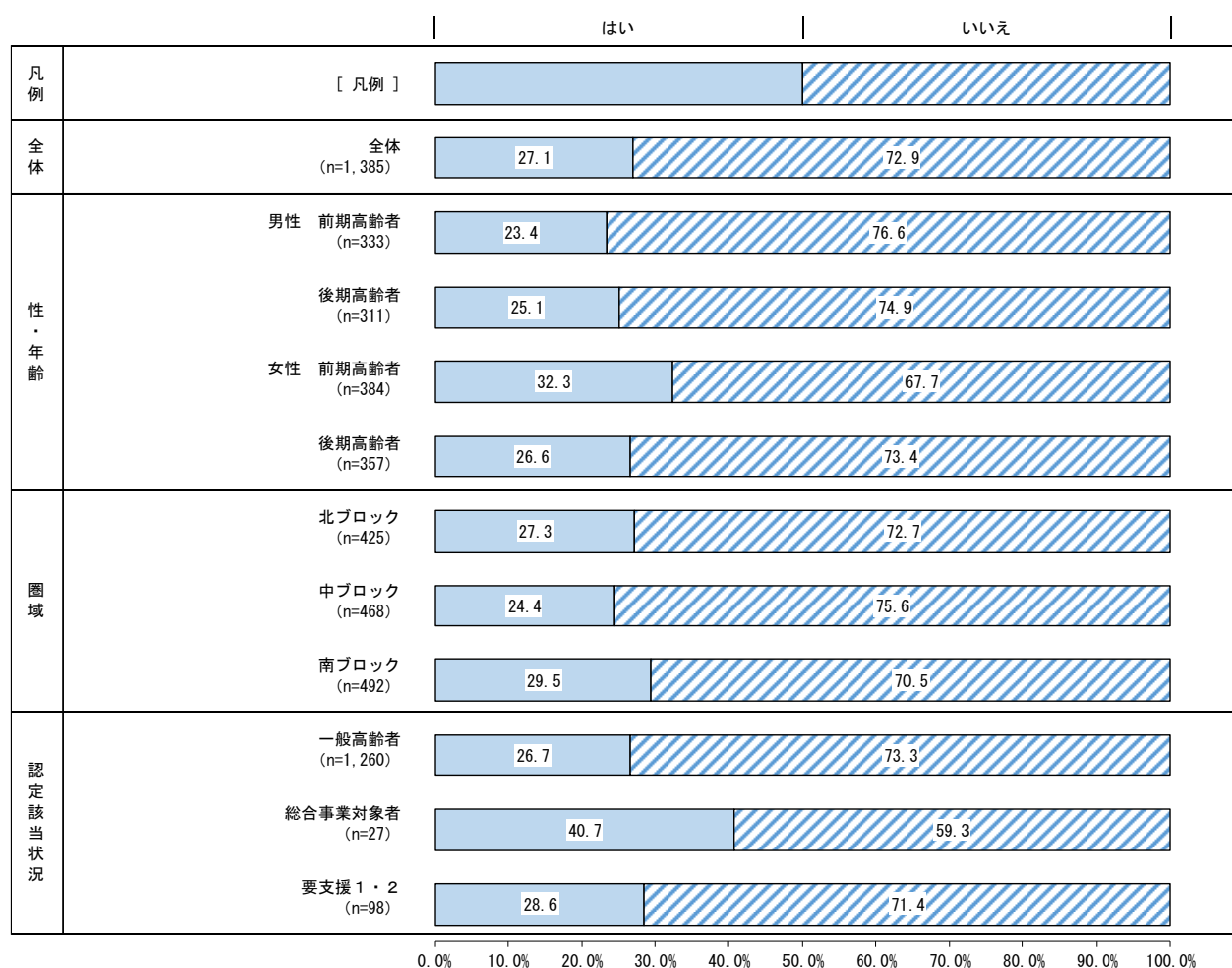


② 認知症の相談窓口の周知状況

●問8-7 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が27.1%、「いいえ」が72.9%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は女性 前期高齢者が32.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は中ブロックが24.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は総合事業対象者が40.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



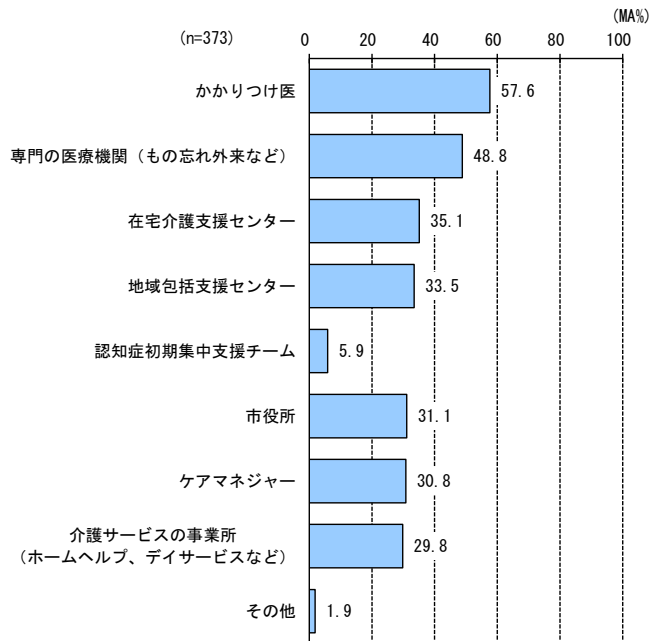
【問8-7で、「1. はい」を選んだ人のみ回答】

●問8-7-① 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 認知症に関する相談窓口で知っているものについて、「かかりつけ医」が 57.6%で最も多く、次いで「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」が 48.8%、「在宅介護支援センター」が 35.1%となっています。

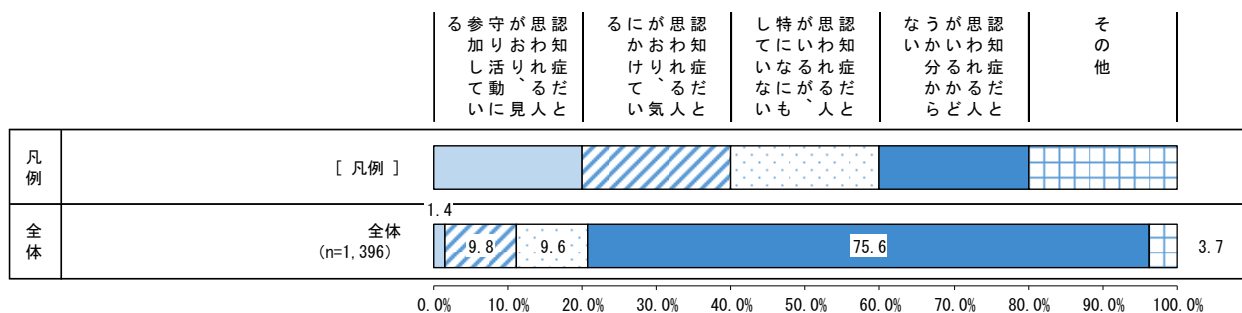
【認知症に関する相談窓口で知っているもの(MA)】



- 問8-8 あなたのお住まいの近所には認知症だと思われる人がいますか。また、そのような人に対して配慮されていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 地域での認知症だと思われる人に対する状況について、「認知症だと思われる人がいるかどうか分からない」が75.6%で最も多く、次いで「認知症だと思われる人がおり、気にかけている」が9.8%、「認知症だと思われる人がいるが、特になにもしていない」が9.6%となっています。

【地域での認知症だと思われる人に対する状況】

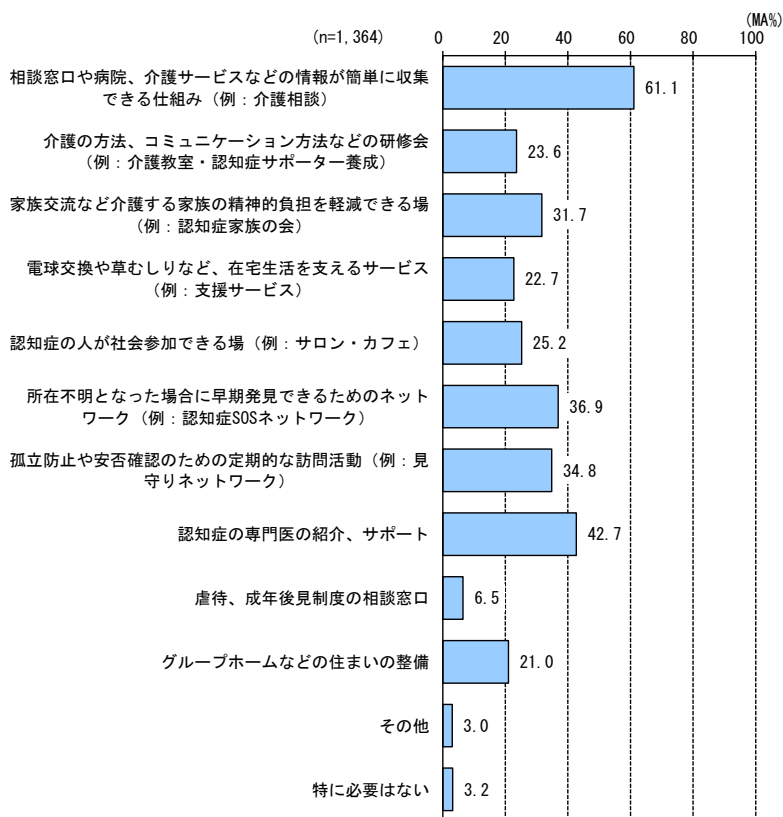


③ 認知症に対してあればよいと思う支援

- 問8-9 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも○)

【全体】
 ○ 認知症について必要と思う支援について、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み(例:介護相談)」が61.1%で最も多く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が42.7%、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク(例:認知症SOSネットワーク)」が36.9%となっています。

【認知症について必要と思う支援(MA)】



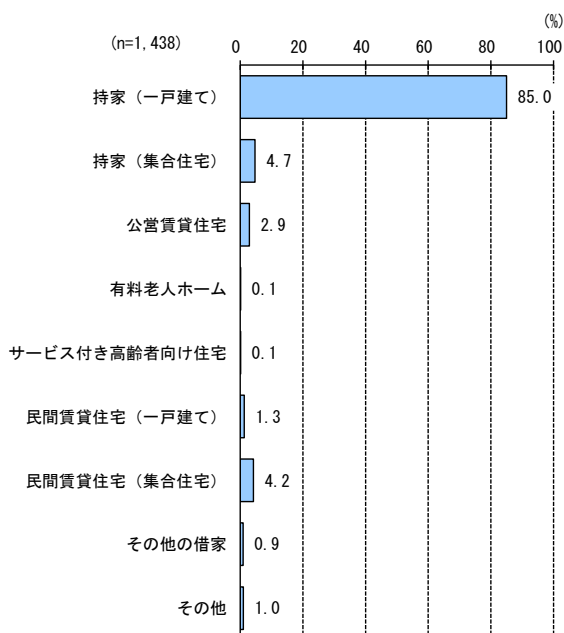
問9 これからの高齢者介護について

(1) 世帯類型

●問9-1 現在のお住まいは次のどれですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 現在の住まいについて、「持家（一戸建て）」が 85.0%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が 4.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 4.2%となっています。
【圏域】
○ 「持家（一戸建て）」は北ブロックが 90.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「持家（集合住宅）」は中ブロックが 7.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 1人暮らしでは「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 12.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【現在の住まい】



単位：%

	母数 (n)	現在の住まい									
		(一戸建て)	(集合住宅)	公営賃貸住宅	有料老人ホーム	高サービス付き住宅	(一戸建て)	(集合住宅)	その他の借家	その他	
全体	1,438	85.0	4.7	2.9	0.1	0.1	1.3	4.2	0.9	1.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	340	82.1	7.1	1.8	-	-	0.9	7.6	0.3	0.3
	後期高齢者	336	88.1	3.0	4.2	-	0.3	1.5	1.8	0.6	0.6
	女性 前期高齢者	388	86.9	3.4	3.6	-	-	0.8	4.4	0.5	0.5
	後期高齢者	374	82.9	5.3	1.9	0.5	-	1.9	2.9	2.1	2.4
圏域	北ブロック	447	90.4	2.9	0.4	-	0.2	1.1	3.1	0.7	1.1
	中ブロック	479	82.7	7.7	3.5	-	-	1.0	3.5	0.4	1.0
	南ブロック	512	82.4	3.3	4.3	0.4	-	1.6	5.7	1.6	0.8
認定該当状況	一般高齢者	1,306	85.0	4.7	2.6	-	-	1.4	4.3	0.9	1.1
	総合事業対象者	29	89.7	-	3.4	-	-	-	6.9	-	-
	要支援1・2	103	83.5	4.9	5.8	1.9	1.0	-	1.9	1.0	-
家族構成	1人暮らし	262	66.8	5.3	6.5	-	0.4	3.1	12.6	2.7	2.7
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	608	89.0	5.1	2.1	-	-	0.3	2.5	0.5	0.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	65	81.5	6.2	6.2	-	-	1.5	4.6	-	-
	息子・娘との2世帯	242	92.1	2.1	1.7	-	-	2.1	0.8	0.8	0.4
	その他	233	88.8	4.7	1.3	0.4	-	0.4	3.0	0.4	0.9

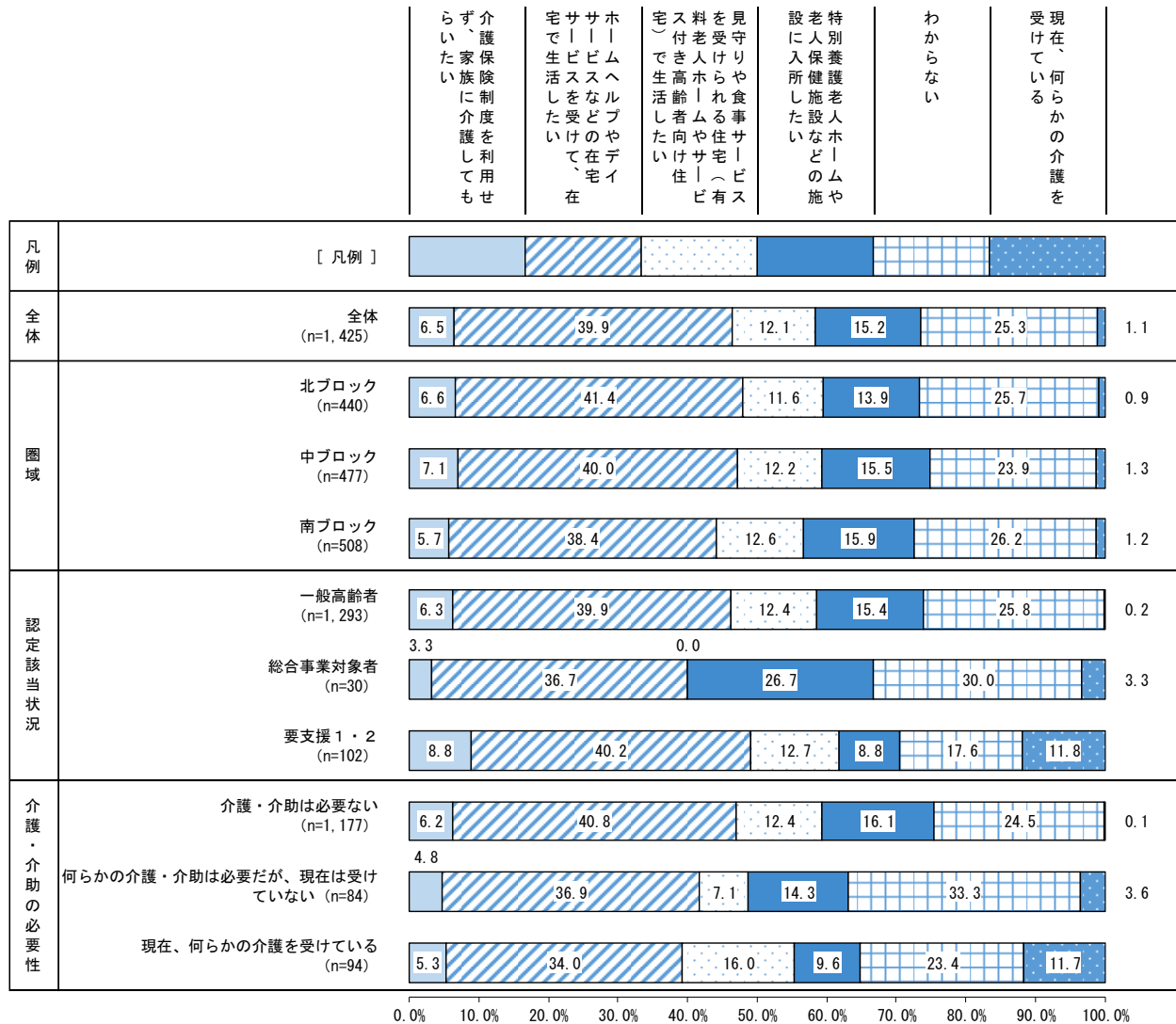
(2) 介護保険制度やサービス利用意向について

① 介護保険サービスの利用意向

●問9-2 あなたは、今後、もし介護が必要になった時、どのように介護してほしいとお考えですか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ もし介護が必要になったとき、希望する内容について、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が 39.9%で最も多く、次いで「わからない」が 25.3%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が 15.2%となっています。

【もし介護が必要になったとき、希望する内容】

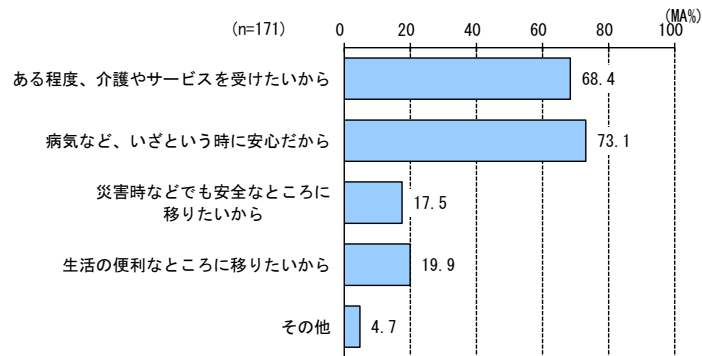


【問9-2で、「3. 見守りや食事サービスを受けられる住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅）で生活したい」を選んだ人のみ回答】

●問9-2-① その理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】
 ○ 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で生活したいと思う理由について、「病気など、いざという時に安心だから」が 73.1%で最も多く、次いで「ある程度、介護やサービスを受けたいから」が 68.4%、「生活の便利などところに移りたいから」が 19.9%となっています。

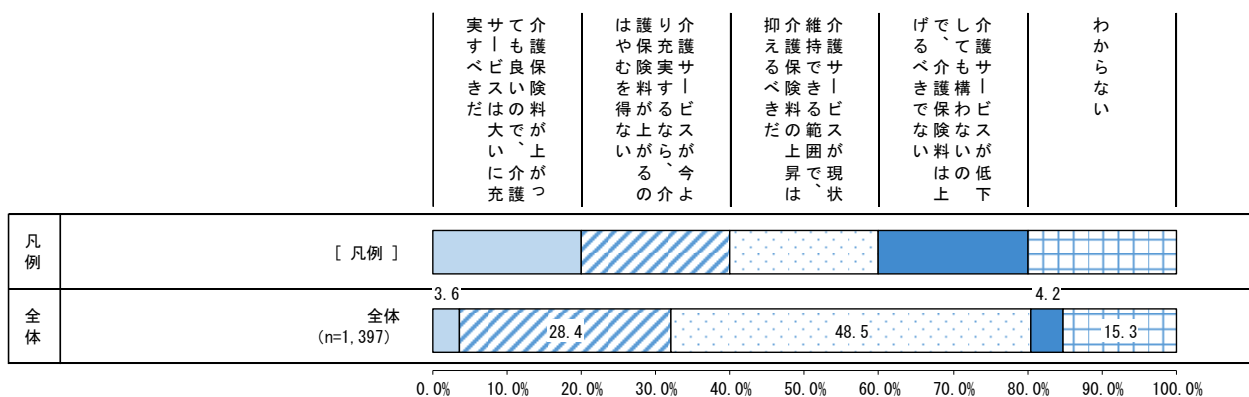
【有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で生活したいと思う理由 (MA)】



●問9-3 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり上昇することが予測されています。介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ 介護保険料と介護サービスのバランスについてについて、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が 48.5%で最も多く、次いで「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が 28.4%、「わからない」が 15.3%となっています。

【介護保険料と介護サービスのバランスについて】

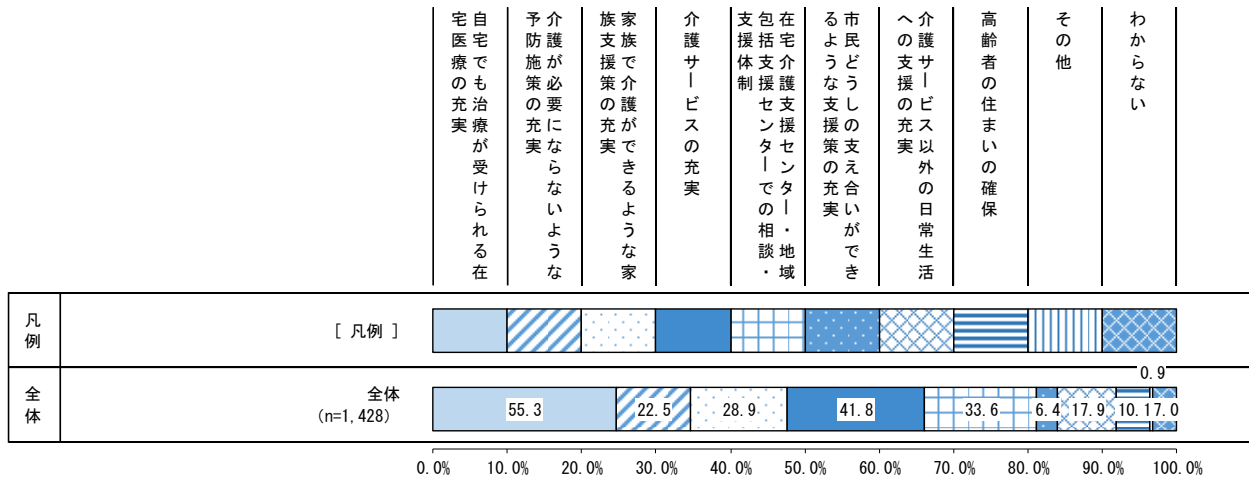


② 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて

- 問9-4 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(3つまで○)

【全体】
 ○ 高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容について、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が55.3%で最も多く、次いで「介護サービスの充実」が41.8%、「在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制」が33.6%となっています。

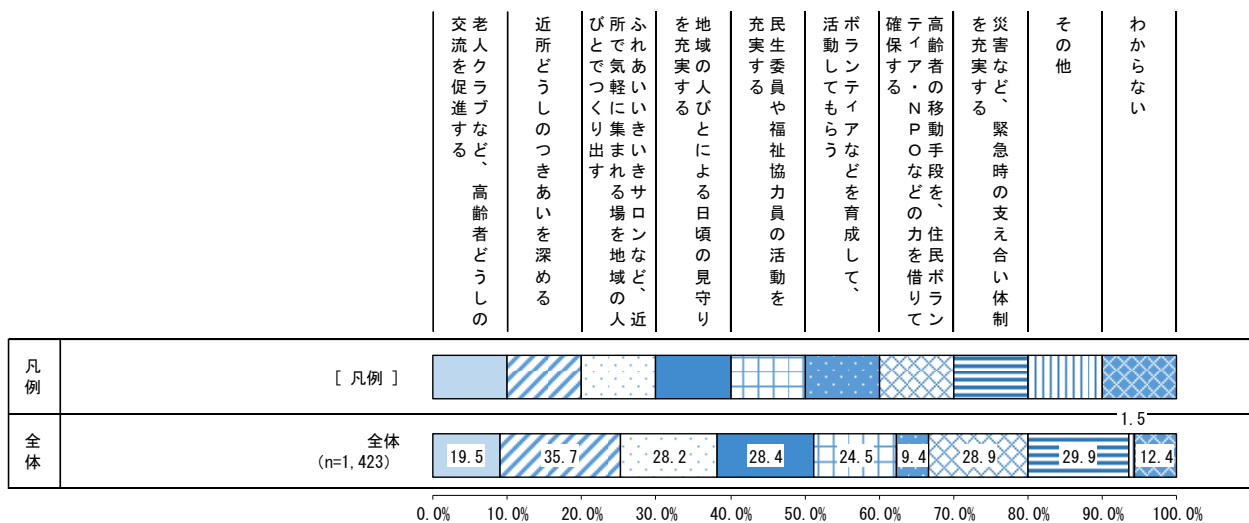
【高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容】



- 問9-5 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○)

【全体】
 ○ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うことについて、「近所どうしのつきあいを深める」が35.7%で最も多く、次いで「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が29.9%、「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が28.9%となっています。

【高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと】

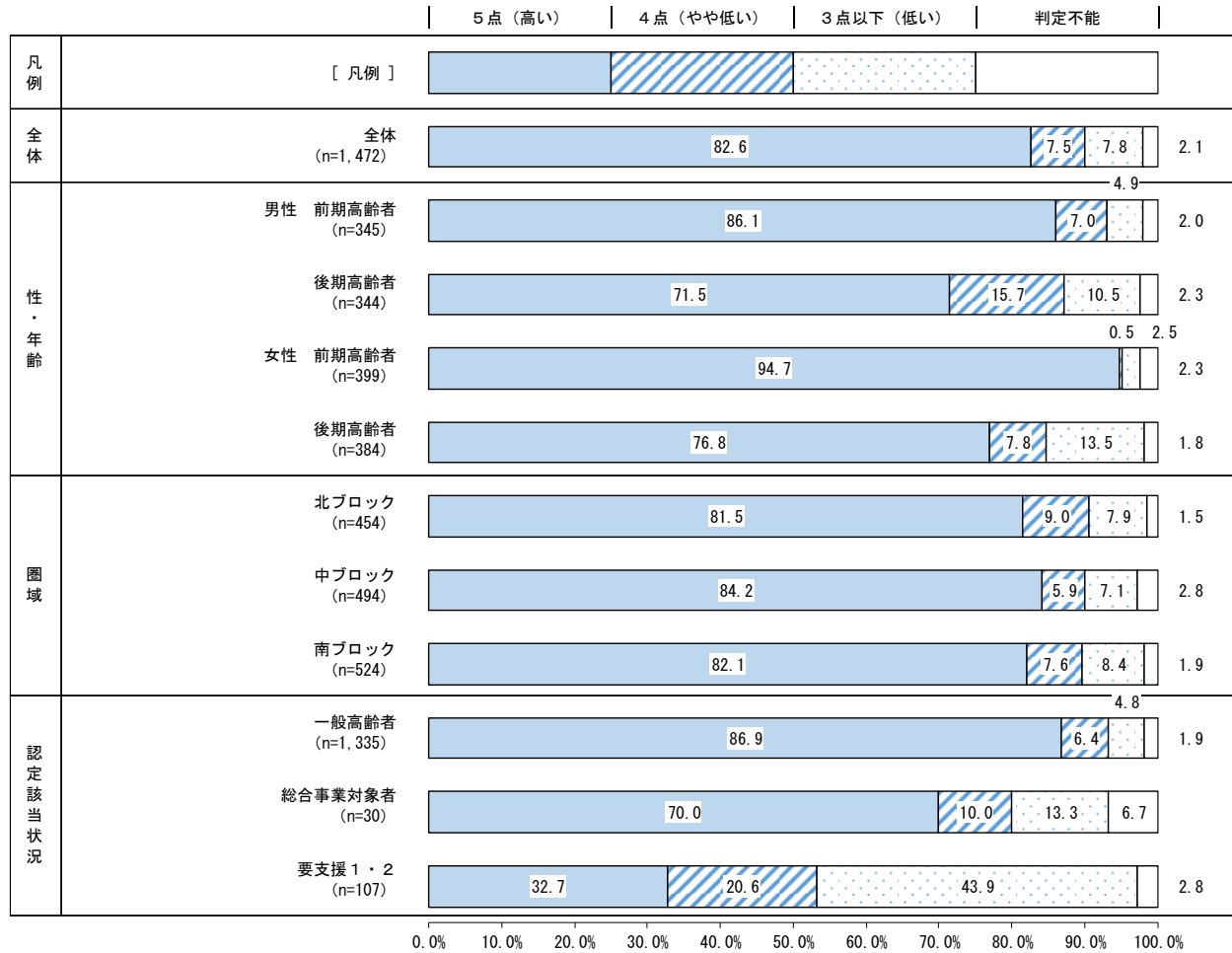


★ 各種判定結果

● IADL

【全体】
 ○ IADL について、「5点（高い）」が 82.6%で最も多く、次いで「3点以下（低い）」が 7.8%、「4点（やや低い）」が 7.5%となっています。

【IADL】

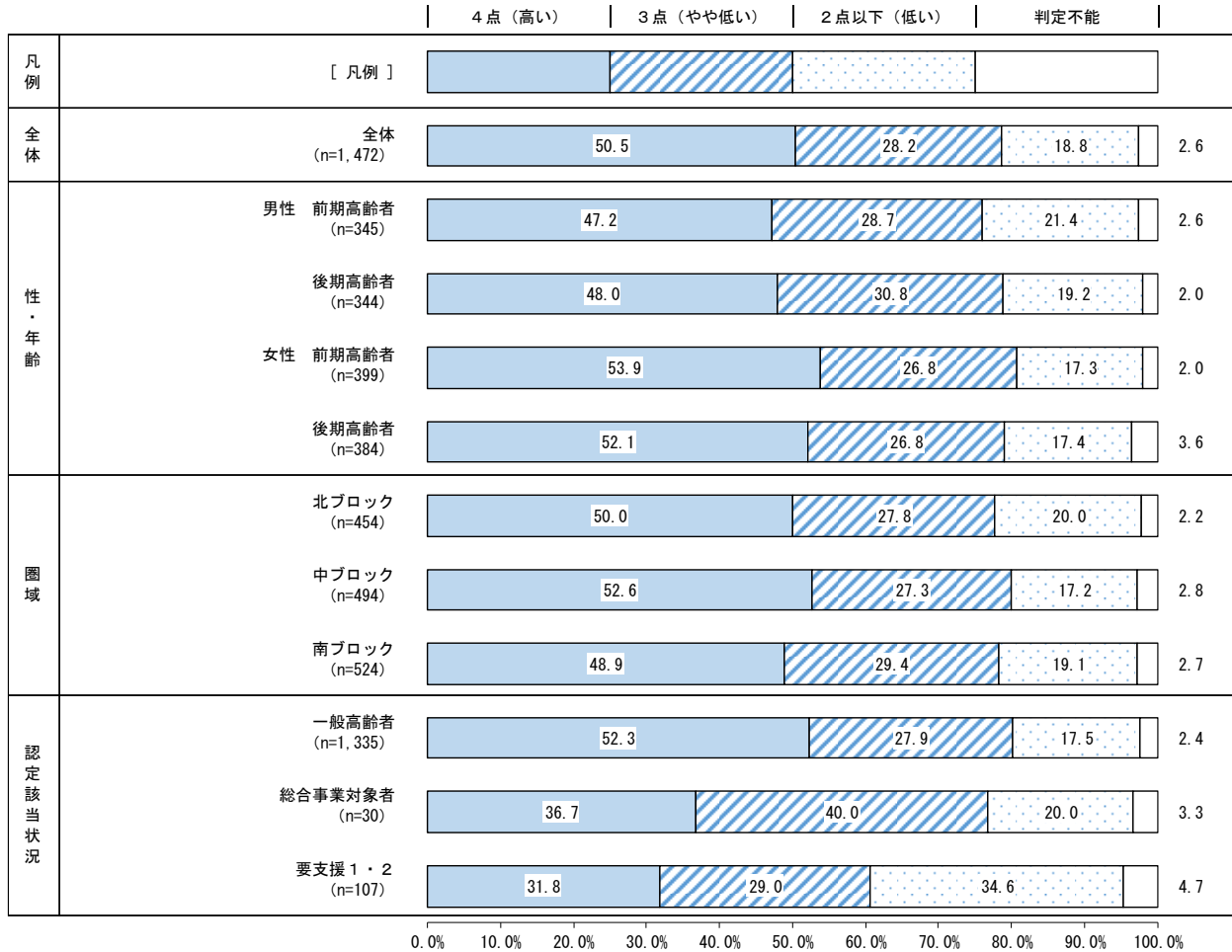


●知的能動性

【全体】

○ 知的能動性について、「4点（高い）」が50.5%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が28.2%、「2点以下（低い）」が18.8%となっています。

【知的能動性】

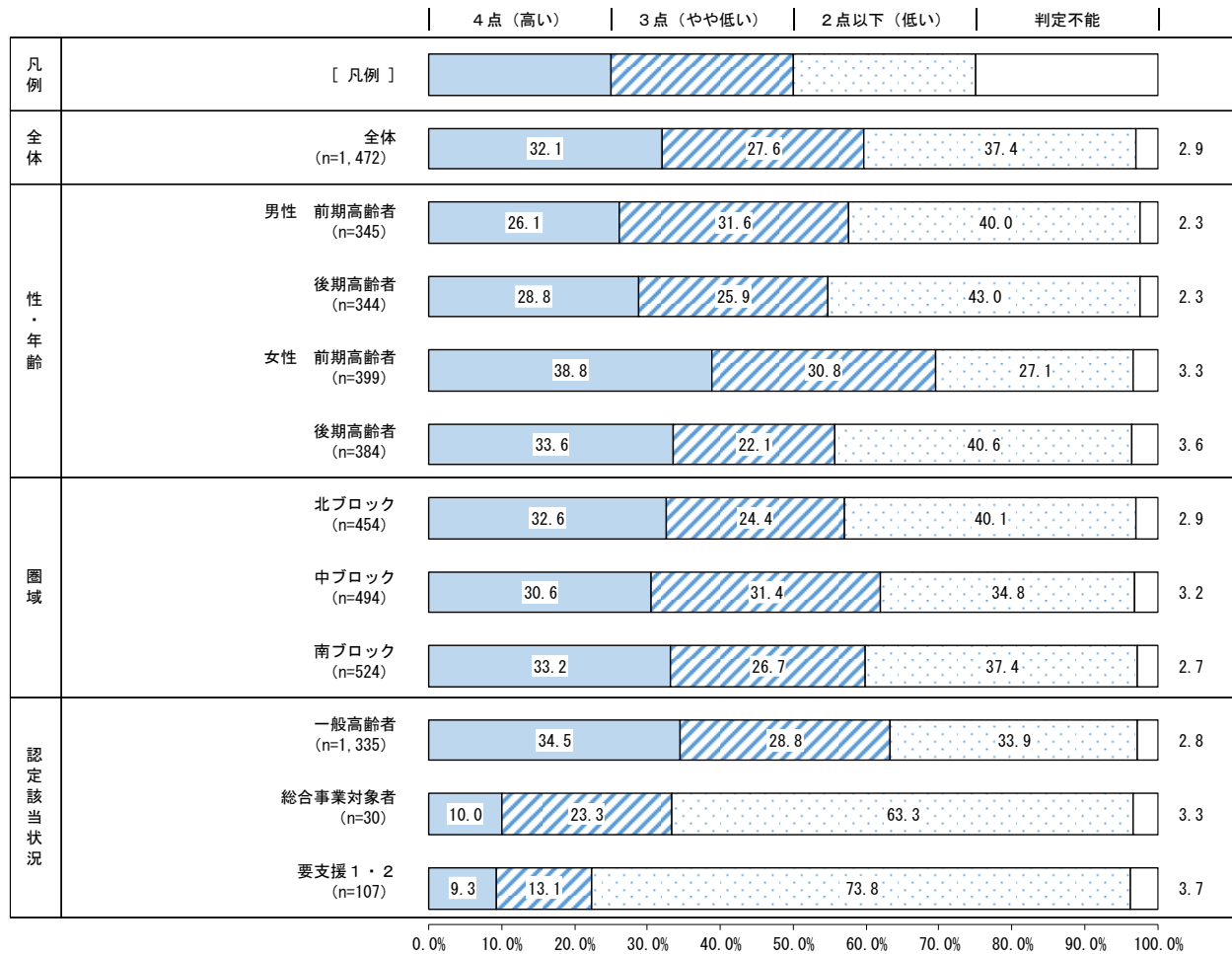


●社会的役割

【全体】

○ 社会的役割について、「2点以下（低い）」が37.4%で最も多く、次いで「4点（高い）」が32.1%、「3点（やや低い）」が27.6%となっています。

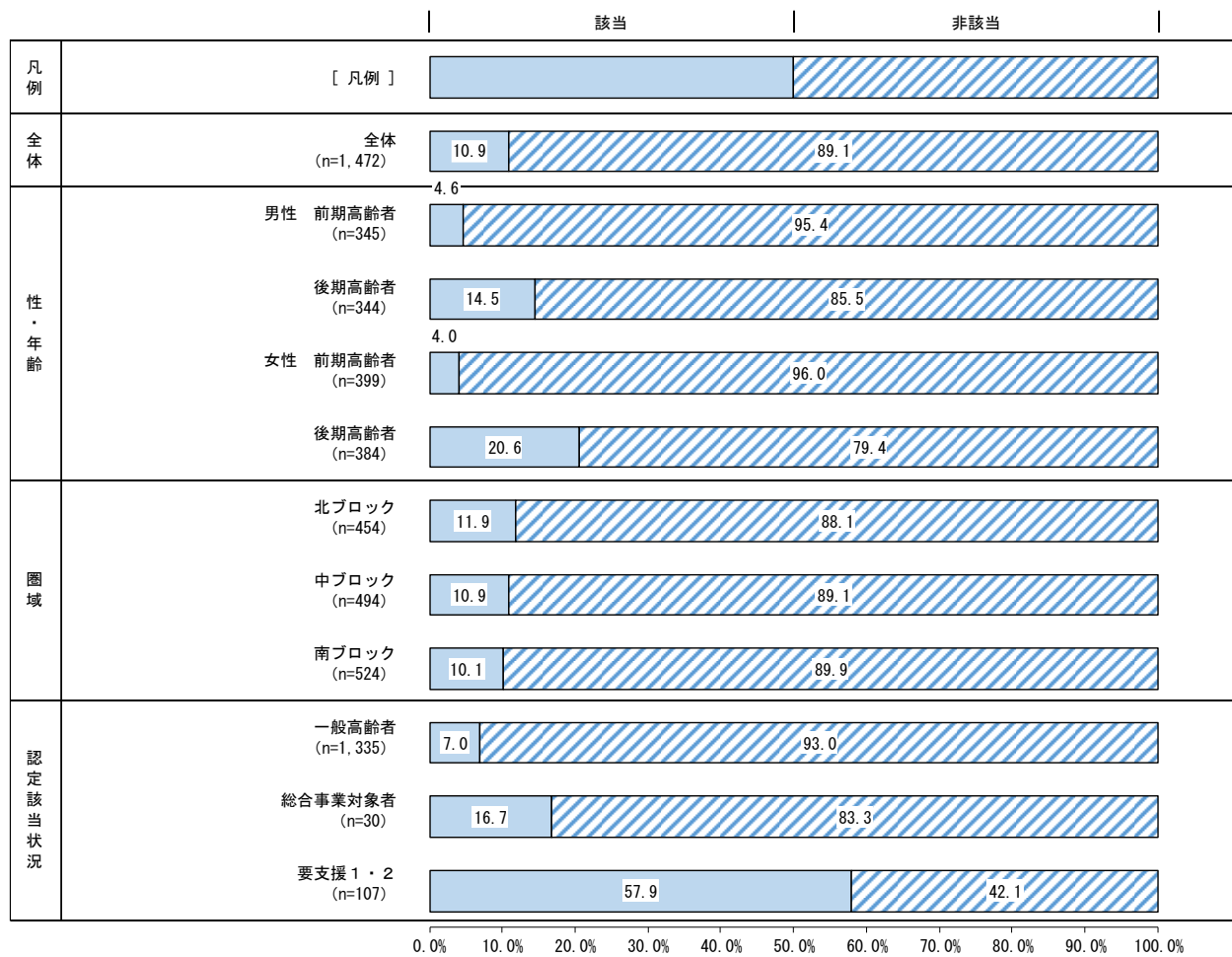
【社会的役割】



● 虚弱のリスク

【全体】
 ○ 虚弱のリスクについて、「該当」が10.9%、「非該当」が89.1%となっています。

【虚弱のリスク】



● 認知機能の低下リスク（3設問での判定）

【全体】

○ 認知機能の低下リスク（3設問での判定）について、「該当」が 58.7%、「非該当」が 41.3%となっています。

【認知機能の低下リスク（3設問での判定）】

